SONY

VGC-LB 3シリーズ

パーソナルコンピューター

VGC-LB 3シリーズ
取扱説明書

マニュアルの活用法

本機には、取扱説明書（本書）をはじめとして、次のマニュアルが付属しています。

紙のマニュアル

セットアップガイド

設置・接続からバイオを使うための準備までを、イラストを見ながら知ることができます。

画面で見るマニュアル

バイオ電子マニュアル

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［バイオ電子マニュアル］をクリックする。

バイオ使用上、必要な情報をすべて記載しています。検索機能を使って、取扱説明書（本書）よりもすばやく目的の操作を探せます。

VAIOナビ

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIOナビ］をクリックする。

目的の項目を一覧から選んでいくことで
最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

重要なお知らせ

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［重要なお知らせ］をクリックする。

バイオを使う上でご覧いただきたい情報です。

ヘルプ

見るには

各ソフトウェアの［ヘルプ］メニューからそれぞれのヘルプを起動する。

付属のソフトウェアの詳しい使いかたを説明します。

SONY

パーソナルコンピューター

VGC-LB 3シリーズ

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。

この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

はじめにお読みください

本機の仕様については、「主な仕様」(148ページ)をご確認ください。

VGC-LB93S・LB93HSをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品によって仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物をあわせてご覧ください。

このマニュアルで使われているイラストについて

このマニュアルで使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。特に記載のない場合、本体のイラストはVGC-LB53Bを使用しています。

画面のデザインについて

Windows Vistaの画面デザインには、「Windows Aero」や「Windows Vista ベーシック」などがあります。お客様の選択された商品や、Windows上での設定変更により画面のデザインが異なることがあります。

ソフトウェアについて

お客様が選択された商品や仕様によって、インストールされているソフトウェアが異なります。このマニュアルで説明されているソフトウェアが、お使いのモデルにインストールされていない場合があります。
「Windows Media Center」ソフトウェアは、Windows Vista Home PremiumおよびWindows Vista Ultimate搭載モデルにのみ、インストールされています。

このマニュアルで表記されている名称について

- **搭載モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ搭載されている機能について説明するとき、「搭載モデル」と表記しています。例えば「テレビチューナー搭載モデル」と書かれているときは、テレビチューナーが搭載されているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **付属モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ付属している付属品について説明するとき、「付属モデル」と表記しています。例えば「リモコン付属モデル」と書かれているときは、リモコンが付属しているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **プリインストールモデル**
  各項目で説明しているソフトウェアがプリインストールされているモデルです。
  本機にインストールされているソフトウェアを確認する場合は「本機に付属されているソフトウェア」(150ページ)をご覧ください。

目次

「バイオ電子マニュアル」には、取扱説明書（本書）よりさらに詳しい情報が掲載されています。

（スタート）ボタンー［すべてのプログラム］ー［バイオ電子マニュアル］をクリック！

本機をセットアップする

「バイオ電子マニュアル」には、取扱説明書（本書）よりさらに
詳しい情報が掲載されています。

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［バイオ電子マニュアル］をクリック！

ミュージック／フォト／DVD

インターネット

増設／バックアップ／リカバリ

困ったときは／サービス・サポート

各部名称／主な仕様／注意事項

パソコンの基本操作について

安全規制について

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。
認証機器名は次のとおりです。
認証機器名：PCG-271N

電波法に基づく認証について（ワイヤレスLAN機能搭載モデル）

本機内蔵のワイヤレスLANカードは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機内蔵のワイヤレスLANカードを分解／改造すること
- 本機内蔵のワイヤレスLANカードに貼られている証明ラベルをはがすこと

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA）のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。
しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）
ただし、バッテリ未搭載でACアダプタを使用している場合は、規定の耐力がないため、ご注意ください。

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準（JIS・C-6802）クラス1適合の光ディスクドライブが搭載されています。

高調波電流規制について

この装置は、JIS C 61000-3-2適合品です。

本機の内蔵モデムについて

日本国内で使用する際は、他の国や地域のモードをご使用になると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。お買い上げ時の設定は「日本国モード」となっておりますので、そのままご使用ください。

無線の周波数について

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

2.4DS/OF4

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40mです。

ワイヤレスLAN機能について

本機内蔵のワイヤレスLAN機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi（ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。

ワイヤレスLAN製品ご使用時におけるセキュリティについて

ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
詳細については、
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security_wirelesslan.html
をご覧ください。

FeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)について

- 本機(キーボード)内蔵のFeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)は、電波法に基づく型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。
- 使用周波数は、13.56 MHz帯です。
- 本機(キーボード)内蔵のFeliCaポートを分解、改造したり、型式番号を消すと、法律により罰せられることがあります。

周囲で複数のリーダー／ライターをご使用の場合、1m以上間隔をあけてお使いください。
また、他の同一周波数帯を使用中の無線機が近くにないことを確認してからお使いください。

著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

充電式電池の収集・リサイクルについて

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：有限責任中間法人JBRC
ホームページ：
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

使用済みコンピュータの回収について

リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。
詳細はソニーのホームページ
http://www.sony.co.jp/SonyInfo/pcrecycle/
をご参照ください。

使用済みコンピュータの回収についてのお問い合わせ

ソニーパソコンリサイクル受付センター
電話番号：(0570) 000-369(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。)
携帯電話やPHSでのご利用は：(03) 3447-9100
受付時間：10:00 ～ 17:00(土・日・祝日および当社指定の休日を除く)

個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
([サービスとサポート] − [お問い合わせ／アフターサービス] − [使用済みコンピュータの回収について]の順にクリックする。)

事業者のお客様へ

事業で(あるいは、事業者が)ご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、http://www.sony.co.jp/SonyInfo/pcrecycle/より、事業者向けのページをご覧ください。

この説明書の説明図や画面について

本書で使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
- 本機の保証条件については、同梱の当社所定の保証書をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書、または本機に付属のソフトウェアのヘルプ画面等に記載される機能の中には、本機および本機に付属のソフトウェアとの組み合わせ等から生じる制限により、実現できないものが含まれていることがございます。あらかじめご了承ください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

❶ 電源を切る

❷ 電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリを取りはずす

❸ VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスクなど、記録媒体の記録内容は、バックアップをとって保存してください。本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償については致しかねますのでご了承ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

接触禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

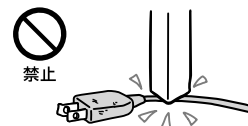
⚠警告

火災

感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁やラック(棚)などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

禁止

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水ぬれ禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いてください。

内部をむやみに開けない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、ケースやフロントカバーをむやみに開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。
- メモリを増設する場合など、コンピュータの内部を開ける必要があるときは、本機の電源コードを抜き、取扱説明書の「増設する」(65ページ)で指定された方法に従い、部品や基板などの角で手や指にけがをしないように注意深く作業してください。また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。

指定のACアダプタ以外は使用しない

禁止

火災や感電の原因となります。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

禁止

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐために電源プラグ、テレホンコード、ネットワーク(LAN)ケーブルを抜いてください。また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

本機は日本国内専用です

指示

- 交流100Vでお使いください。
  海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。
- 本機に内蔵されているモデムは国内専用です。海外などでモデムを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

内蔵モデムは一般電話回線以外に接続しない

禁止

本機の内蔵モデムをISDN(デジタル)対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機(PBX)へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

LANコネクタに指定以外のネットワーク(LAN)や電話回線を接続しない

禁止

本機のLANコネクタに次のネットワーク(LAN)や回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、発熱、火災の原因となります。
特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-Tと100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
- 一般電話回線
- ISDN(デジタル)対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX(デジタル式構内交換機)回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

通電中のディスプレイ画面や通風孔に長時間触れない

禁止

通電中のディスプレイ画面や通風孔に長時間皮膚が触れていると低温やけどの原因となることがあります。
通電中のディスプレイ画面や通風孔には長時間触れないでください。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤動作させるおそれがあり事故の原因となります。

満員電車の中など混雑した場所ではワイヤレス機能を使用しない

禁止

WLANスイッチを「OFF」に合わせてください。
付近に心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可能性のある場所では、電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内で使用しない

禁止

WLANスイッチを「OFF」に合わせてください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

WLANスイッチを「OFF」に合わせてください。
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機の離着陸時には、機内でワイヤレス機能を使用しない

WLANスイッチを「OFF」に合わせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
ワイヤレス機能の航空機内でのご利用については、ご利用の航空会社に使用条件などをご確認ください。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない

WLANスイッチを「OFF」に合わせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

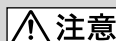
ディスプレイ画面を長時間継続して見ない

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードやマウスやタッチパッドなどを使いすぎない

キーボードやマウスやタッチパッドなどを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやマウスやタッチパッドなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

本体のランプの光を本体の上や横から直接見ない

本体のランプから発せられている光を本体の上や横から直接見ると、目を傷める場合がありますので、さけてください。

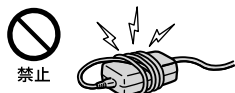
接続するときは電源を切る

ACアダプタや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない

禁止

断線の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
風通しを良くするために次の項目をお守りください。

- 壁から15cm以上離して設置する。
- 密閉されたせまい場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物(じゅうたんや布団など)の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

通電中の本機やACアダプタに長時間ふれない

禁止

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本機やACアダプタを布や布団などでおおった状態で使用しない

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

安定した場所に置く

注意

ぐらついた台の上や傾いたところに置いたり設置したりしないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度も充分にお確かめください。

運搬時は慎重に

注意

コンピュータを運搬するときは、キーボードを閉じ、本体の取っ手を持ち、安定した姿勢で運んでください。運搬中にバランスを崩すと落下により、けがの原因となることがあります。また、本体を設置する際、指などを挟まないようにご注意ください。

本機の上に乗らない、重いものを載せない

禁止

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

注意

接続したまま移動させると電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

コネクタはきちんと接続する

注意

- コネクタ(接続端子)の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート(短絡)して、火災の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

禁止

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

製品の設置や移動時に机の上でずらさない

コンピュータを設置したり、移動させるときに机の上でずらさないでください。机が傷つく原因となります。

液晶画面に衝撃を与えない

重い物をのせたり、落としたりしないでください。
液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

- 指定された充電方法以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。
  電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリに衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- バッテリから漏れた液が目に入った場合は、きれい水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。
- 本機に付属または指定された別売りのバッテリを使用ください。
- 以下のバッテリを使用した場合の安全性は保証できません。
  - 本機に付属、または指定された別売りのバッテリ以外を使用した。
  - 分解、改造を行ったバッテリを使用した。

⚠警告

バッテリを廃棄する場合は、次のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、リサイクル協力店へお持ちください。

本機の発熱についてのご注意

使用中に本機の表面やACアダプタ、バッテリが熱くなることがあります

CPUの動作や充電時の電流によって発熱していますが、故障ではありません。使用している拡張機器やソフトウェアによって発熱量は異なります。

本機やACアダプタが普段よりも異常に熱くなったときは

本機の電源を切り、ACアダプタの電源コードを抜き、バッテリを取りはずしてください。次に、VAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

VAIOを使うための8つの

VAIOを使い始める前に、まず8つの準備をしましょう。
このページから続く説明に従って、作業を進めてください。

まずハードウェアの設定です。

準備1 付属品を確かめる

▶ 付属品の確認

18ページ

準備2 設置する

▶ 適切な設置場所とは？

19ページ

準備3 接続する

▶ ネットワーク(LAN)ケーブル、電源コードなどの接続

23ページ

準備4 電源を入れる

▶ 電源の入れかた、切りかた

29ページ

準備

ここからはソフトウェアの設定です。

準備5
Windowsを準備する

▶ ユーザー名やパスワードなどの設定

31ページ

ここからの設定にはインターネットへの接続が必要です。

準備6
基本設定を行う

▶ バイオをはじめる前の準備

36ページ

準備7
カスタマー登録する

▶ カスタマー登録について

40ページ

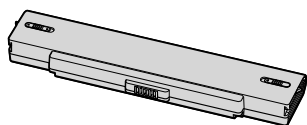
準備8
VAIOの最新情報を自動的に入手する

43ページ

付属品を確かめる

付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。
お使いの機種により、付属品が異なる場合があります。
本機の仕様については「主な仕様」(148ページ)をご覧ください。

❑ **コンピュータ本体**

❑ **バッテリ**

❑ **8cmディスクアダプター**

❑ **ACアダプタ**

❑ **電源コード**

説明書・その他

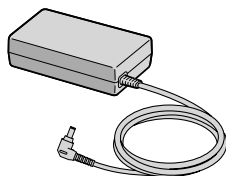
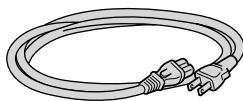
❑ **取扱説明書(本書)**

❑ **セットアップガイド**

❑ **保証書**

❑ **VAIOカルテ**

❑ **ご注意・お知らせ**

本機に関する大切な情報を、記載した紙が付属している場合があります。必ずご覧ください。

❑ **その他のパンフレット類**

大切な情報が記載されている場合があります。必ず、ご覧ください。

❑ **Microsoft® Office Personal 2007*1 プレインストールパッケージ**
(「Office Personal 2007」または「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属)

❑ **Microsoft® Office PowerPoint® 2007*2 プレインストールパッケージ**
(「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属)

❑ **Microsoft® Office Professional 2007*3 プレインストールパッケージ**
(「Office Professional 2007」プリインストールモデルに付属)

お買い上げ時にプリインストールされています。起動方法について詳しくは、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ワープロ・表計算」(136ページ)をご覧ください。

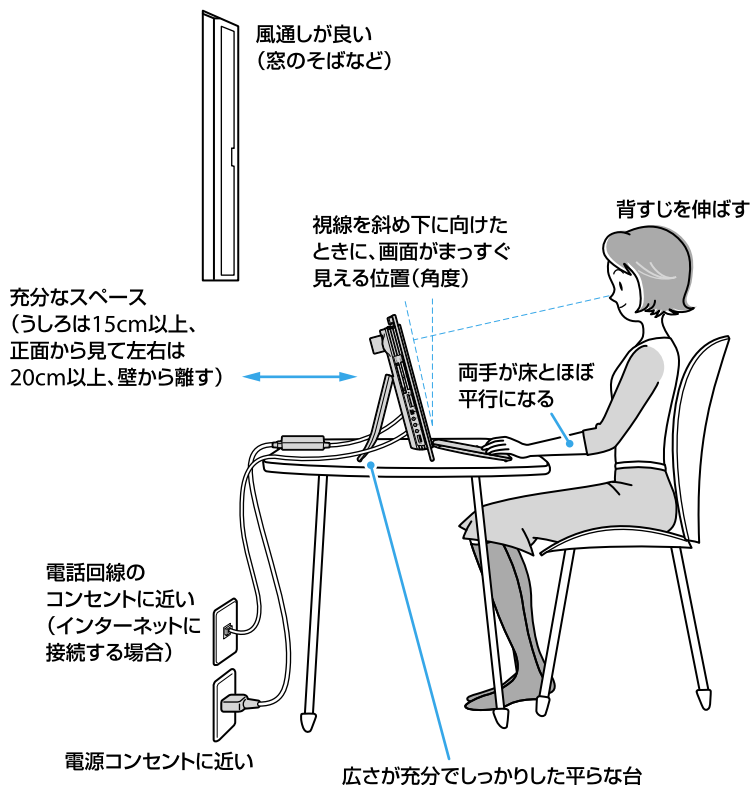
*1　この説明書では以降、Office Personal 2007と略します。
*2　この説明書では以降、Office PowerPoint 2007と略します。
*3　この説明書では以降、Office Professional 2007と略します。

ヒント

- 本機に付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(134ページ)をご覧ください。
- 本機はハードディスクからリカバリすることができるため、リカバリディスクは付属しておりません。
詳しくは、「リカバリする」(79ページ)をご覧ください。

設置する

設置場所

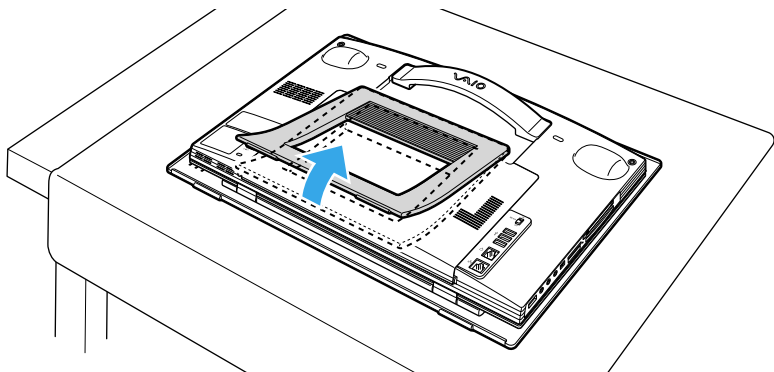
下の図を参考にして、設置場所を決め、本機を設置してください。

設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

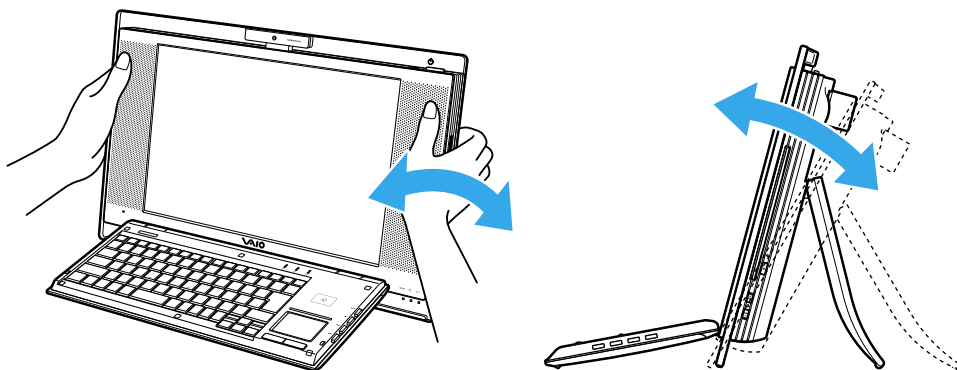
- 直射日光が当たる場所
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く
- 暖房器具の近くなど、温度が高い場所
- ほこりが多い場所
- 湿気が多い場所
- 風通しが悪い場所

スタンドを立てるには

本機を設置する場合は、下の図のようにスタンドを立てます。

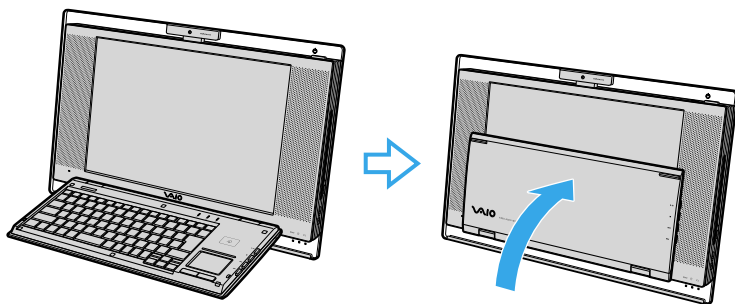
！ご注意

本機に傷がつかないように布などをしいてください。

ディスプレイの角度を調節するには

ディスプレイの上部を持ち、画面の角度を調整します。

！ご注意

角度を調整する際は、本体やスピーカーグリルの中央部分に、強い圧力をかけないようにご注意ください。強い圧力をかけすぎると、スピーカーグリルやスタンドが破損することがあります。

キーボードを開閉するには

キーボードは閉じることができます（オーディオポジション）。音楽の再生などを楽しむときに便利です。

- キーボードを閉じるときは、指などをはさまないようにしてください。
- キーボードを開閉するときに、キーボード全体がきちんと机の上にのるように設置してください。

スタンドをたたむには

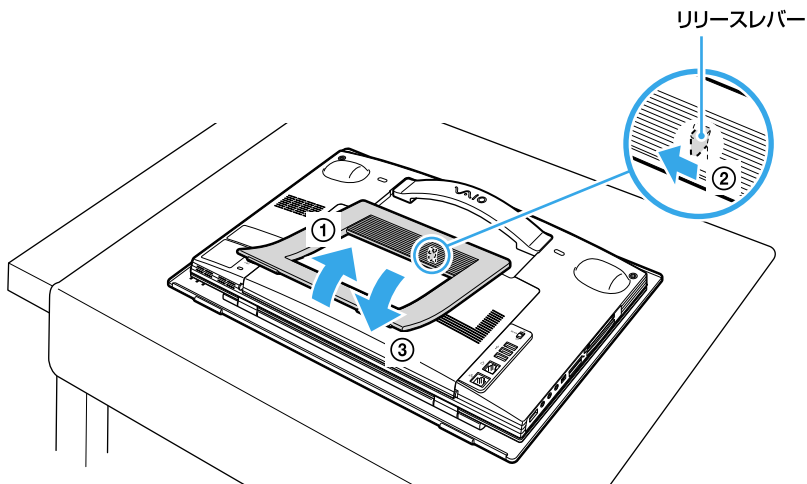
スタンドを購入時の状態に戻すと、運搬時や収納時に便利です。スタンドは、以下の方法でたたむことができます。

!ご注意

本機に傷がつかないように布などをしいてください。

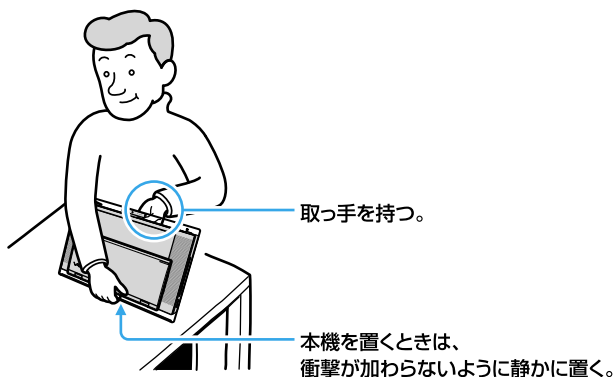
① スタンドを少し引き上げた状態にする。

② スタンドを引き上げたまま、リリースレバーをずらす。

③ リリースレバーをずらしたまま、スタンドをゆっくり下げる。

!ご注意

スタンドをたたむ場合は、指や手をはさまないようにしてください。

設置時のご注意

次のことをお守りください。

!ご注意

- スタンド部を持たないでください。破損のおそれがあります。
- 液晶ディスプレイ部を持って移動しないでください。
- 本機を持ち上げるとき、液晶ディスプレイのパネル部分へ衝撃を加えないようにご注意ください。
- 持ち運ぶときは、衣類やベルトなどで液晶ディスプレイなどにキズがつかないようにご注意ください。
- 持ちかたによっては、転倒するおそれがありますので、本体を持つときは、イラストと同じように、液晶ディスプレイ（キーボード）側に手をそえて持ってください。

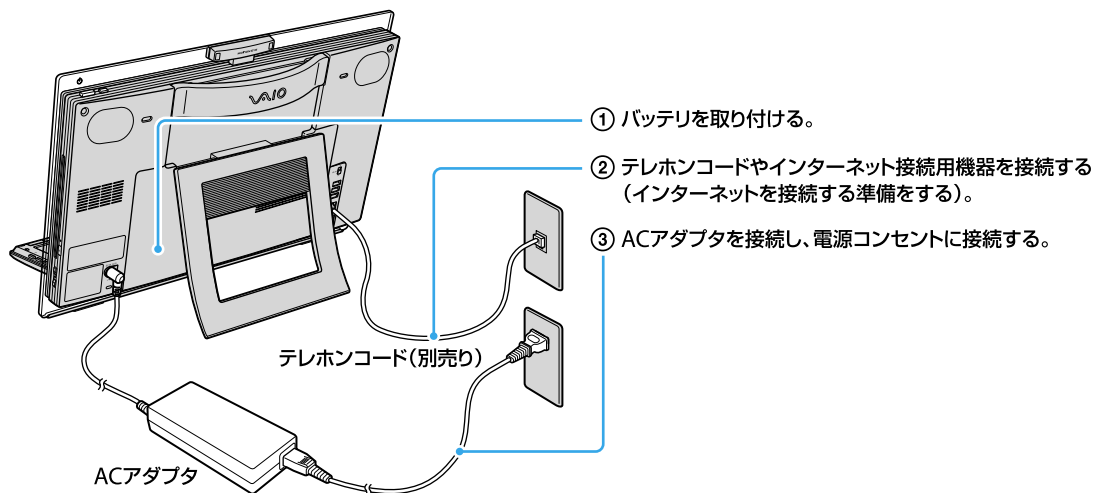
故障を避けるためにも、次のことをお守りください。

- 本機を倒したり、ぶつけたりしない。
  小さな衝撃や振動でもハードディスクの故障の原因となります。
- 不安定な場所に設置しない。

設置の際の安全上の注意事項もご覧ください（10ページ）。

接続する

本機の接続の流れ

本機の接続の流れは下図のとおりです。このあとの詳しい接続手順に従って、本機の接続を行ってください。

バッテリを取り付ける

停電や誤ってAC 電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、付属のバッテリを取り付けます。

！ご注意

バッテリの取り付け／取りはずしをする場合は、本機の電源を切り、キーボードを閉じてから行ってください。
また、あらかじめ「バッテリについてのご注意」（155ページ）をご覧ください。

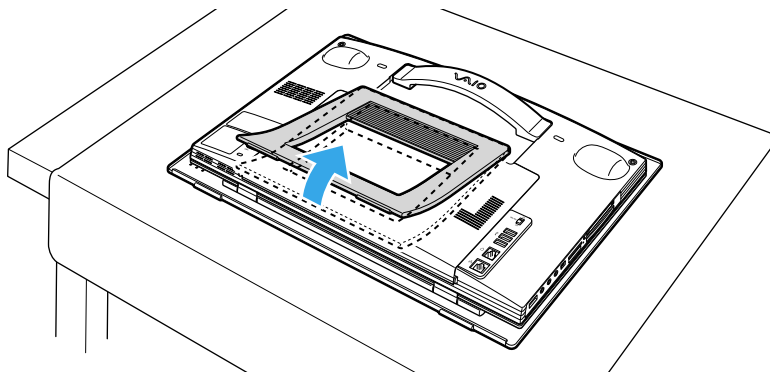
本機後面のバッテリ取り付け部にバッテリを取り付けます。

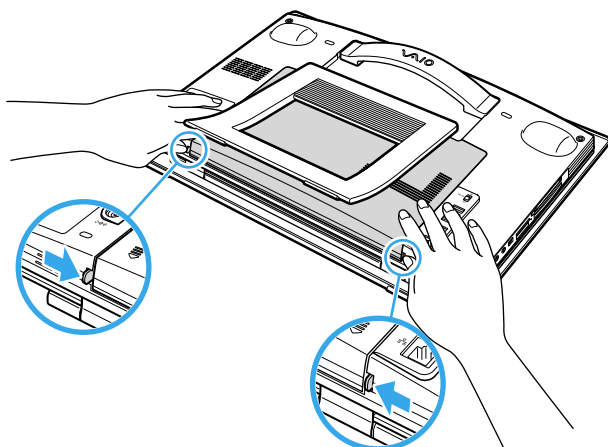
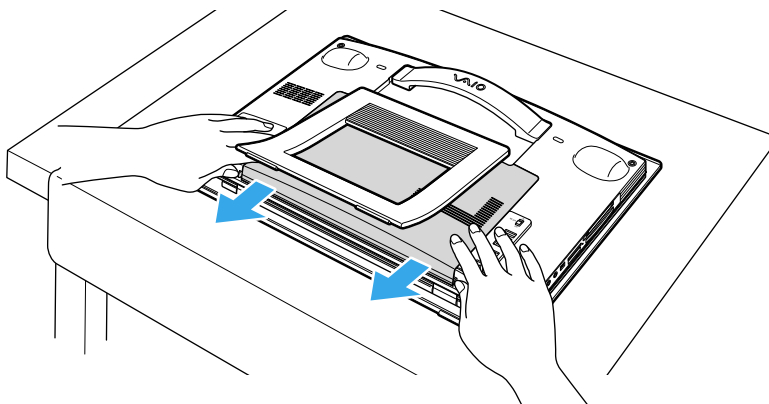
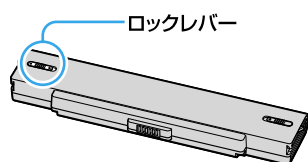
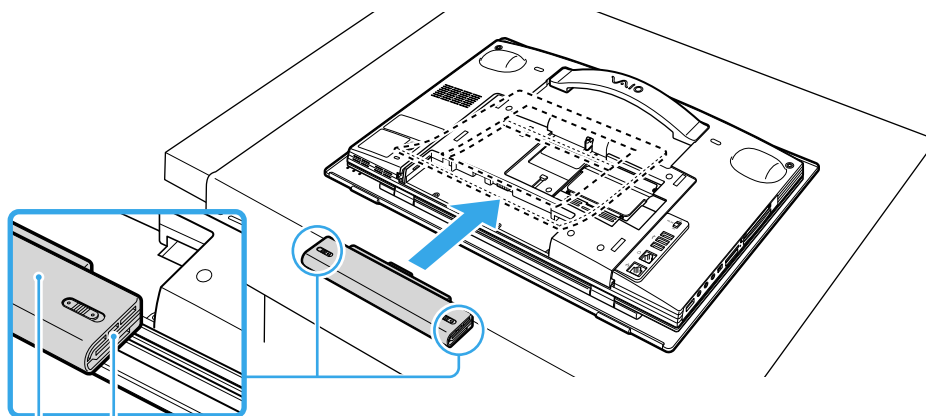
ヒント

AC電源につないでいるときは、本機の電源を切らなくてもバッテリの取り付け／取りはずしができます。

① スタンドを使用時の状態に立てる。

！ご注意

本機に傷がつかないように布などをしいてください。

② 後面のカバーを取りはずす。

1）本機下部のつまみを内側に押す。

2）つまみを押したまま、カバーを手前にずらして取りはずす。

③ バッテリのロックレバーを内側（UNLOCK側）にずらす。

④ バッテリ取り付け部とバッテリ両端の溝を合わせ、「カチッ」と音がするまでバッテリを差し込む。

⑤ ロックレバーを外側（LOCK側）にずらしてバッテリを固定し、後面のカバーを取り付ける。

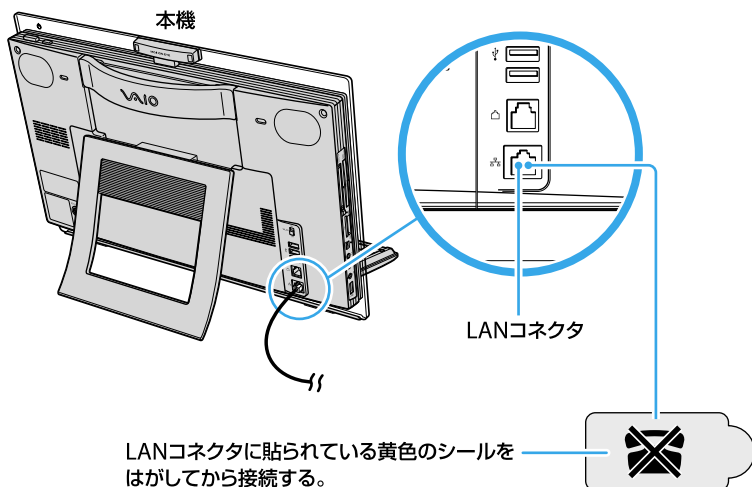
インターネット接続用機器につなぐ

インターネットに接続するには、一般の電話回線に接続する方法や、ADSL、FTTH（光）、CATVのインターネット回線などのインターネット接続サービスやISDN回線に接続する方法があります。

!ご注意

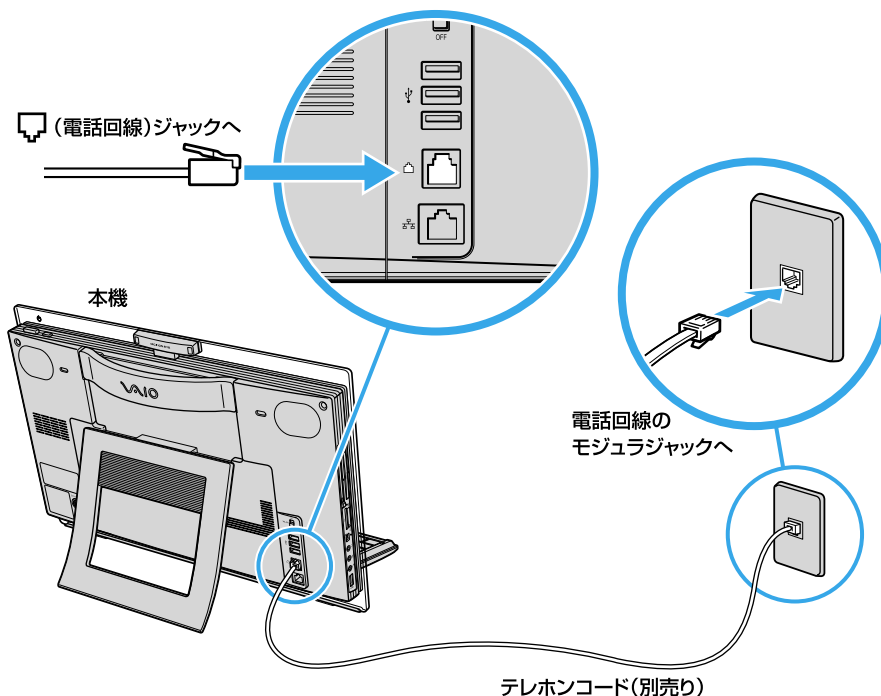
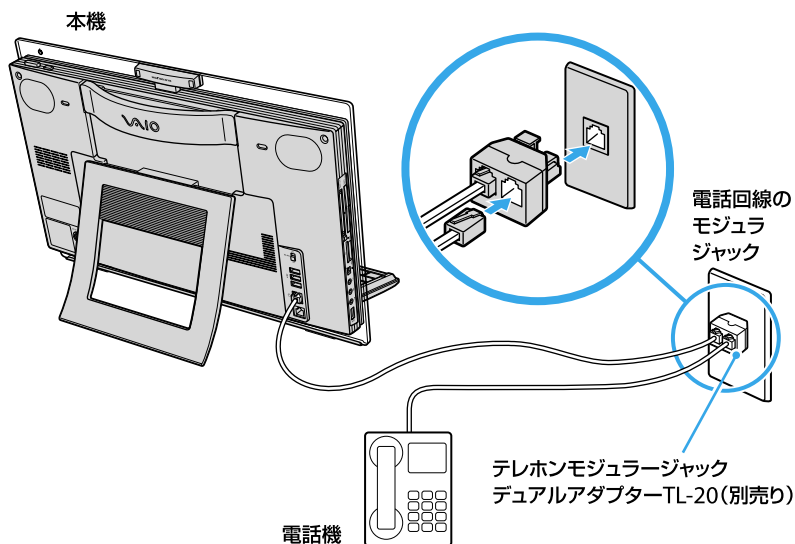
インターネット接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するインターネット接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときは

ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときはLANコネクタを使用します。

!ご注意

LANコネクタに接続するケーブルは、ネットワーク用、イーサネット（Ethernet）用などと表記されているものをご使用ください。

一般の電話回線につなぐときは

テレホンコード（別売り）の一方を本機の（電話回線）ジャックへ、もう一方を電話回線のモジュラジャックへ差し込みます。

電話機をつなぐときは、アダプター（テレホンモジュラージャックデュアルアダプター TL-20（別売り）など）を使って接続します。

！ご注意

テレホンコードは本機後面のLANコネクタに接続しないでください。

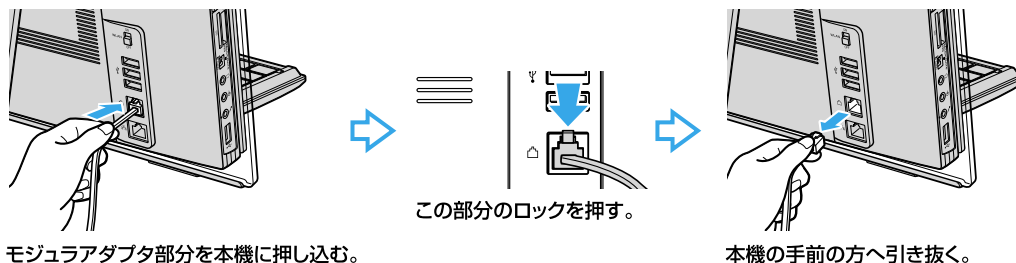
ヒント

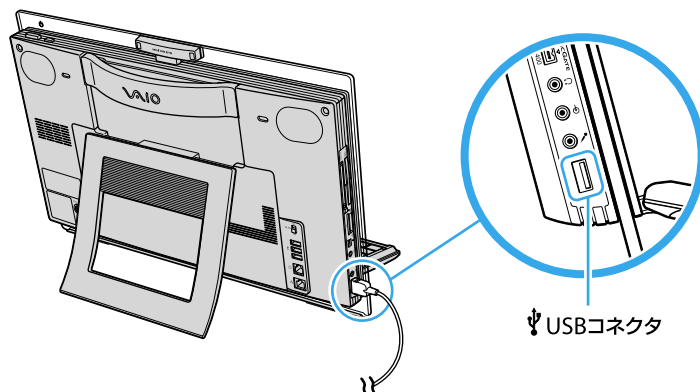
ビジネスホン、ホームテレホンなどの電話機やドアホン付きの電話機をお使いのときは、工事が必要となるものがあります。電話機を取り付けた業者にご相談ください。

本機からテレホンコードを取りはずすには

① (電話回線)ジャックにつながっているテレホンコードのモジュラアダプタ部分をいったん本機の奥に押し込む。

② モジュラアダプタのロックを押し、テレホンコード部分といっしょにつかむ。

③ ロックを押しながら、本機の手前の方へ引き抜く。

ISDN回線を利用するときは

ISDN回線を利用するときはUSBコネクタを使用します。

ヒント

本機後面のUSBコネクタにつなぐこともできます。

ACアダプタを接続する

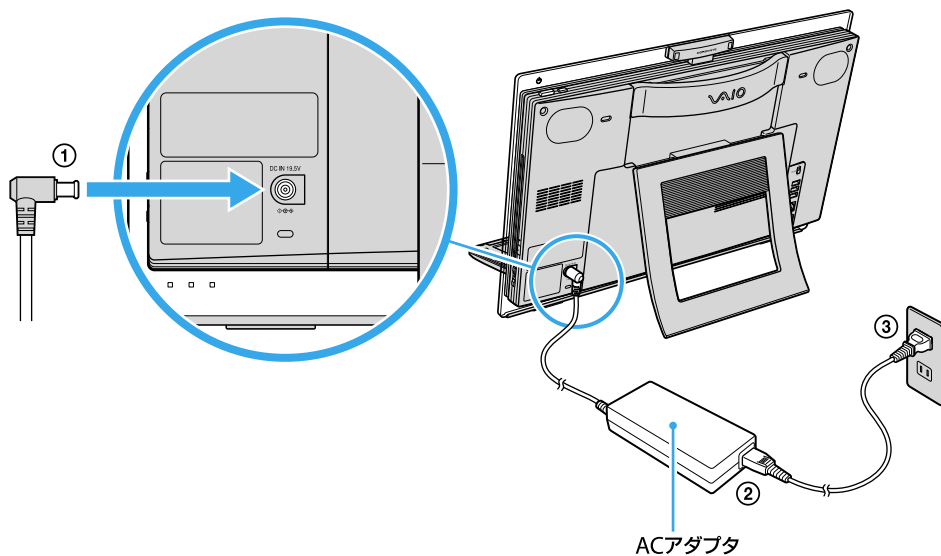
本機にACアダプタを接続し、電源コンセントに接続します。

！ご注意

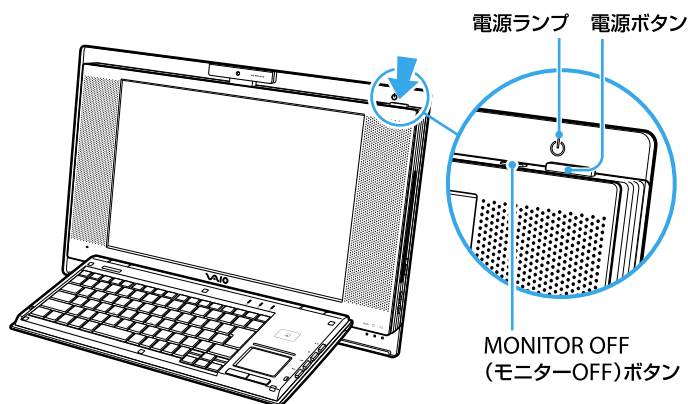
- 同じコンセントに複数の機器を同時につながないでください。
- 本機は国内専用です。交流100Vでお使いください。

① ACアダプタのプラグを本機に接続する。

② ACアダプタに電源コードのプラグを差し込む。

③ 壁の電源コンセントに差し込む。

電源を入れる

本機の電源を入れます。

1 本機の電源ボタンを押す。

本機の電源が入り、電源ランプが緑色に点灯し、Windowsが起動します。

！ご注意
4秒以上電源ボタンを押したままにすると、電源が入りません。電源ボタンは軽く押し、すぐに離してください。

本機の電源をはじめて入れる場合は、しばらくして「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。
「Windowsを準備する」（31ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

！ご注意
Windowsのセットアップ画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

ヒント
- 電源を入れたあと、コンピュータを操作せずにいると、省電力機能が働いて、画面の表示が消え、本機の電源ランプがオレンジ色で点灯します。
- MONITOR OFF（モニター OFF）ランプが点灯している場合は、画面が表示されません。画面を表示するには、MONITOR OFF（モニター OFF）ボタンを押してください。
- 本機はお買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します（スリープモード *1）。キーボードのいずれかのキーを押すか、電源ボタン *2を押すと、元の状態に戻ります。また、スリープモードへ以降後しばらくすると、自動的に本機の電源を切ります（休止状態 *1）。元の状態に復帰させるには、電源ボタン *2を押してください。

*1 詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［パソコン本体の使いかた］－［電源の管理／起動<VGC-LBシリーズ>］－［スリープモード／休止状態にする］をクリックする。

*2 電源ボタンを4秒以上押し続けると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

2回目以降に電源を入れるときは

本機の2回目の起動時か、「Norton Internet Security」ソフトウェアをはじめて起動したときは、「Norton Internet Security」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
ネットワークに接続した状態で「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォールを有効にした場合、セキュリティチェックのため本機が起動するまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。
「Norton Internet Security」ソフトウェアについて詳しくは、「「Norton Internet Security」ソフトウェアについて」（36ページ）をご覧ください。

バッテリを上手に使うには

本機をバッテリで使用しているときに、次のようなことに気をつけるとバッテリを長持ちさせることができます。

- 液晶ディスプレイの明るさを暗くする
  お買い上げ時の設定は明るくなっています。液晶ディスプレイは、明るくするより暗いままで使用するほうがバッテリを長持ちさせることができます。
- 液晶ディスプレイのバックライトを消す
  MONITOR OFF（モニター OFF）ボタンを押すと、液晶ディスプレイのバックライトが消えます。画面を消したまま音楽を再生できるので、バッテリの消費電力を節約します。
- 省電力の機能を使う
  こまめにスリープモードや休止状態にすることで、バッテリを長持ちさせることができます。また、休止状態の場合は、電源オフからの起動よりも早く復帰できます。詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[電源の管理／起動<VGC-LBシリーズ>]－[スリープモード／休止状態にする]をクリックする。）

電源を切るには

電源を切るときは、必ず次の手順に従って電源を切ってください。
次の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、作成中、編集中のファイルが使えなくなることがあります。

ヒント
デスクトップ画面のイラストは、実際のものと異なる場合があります。

1 （スタート）ボタンをクリックする。

スタートメニューが表示されます。

2 ボタン－[シャットダウン]をクリックする。

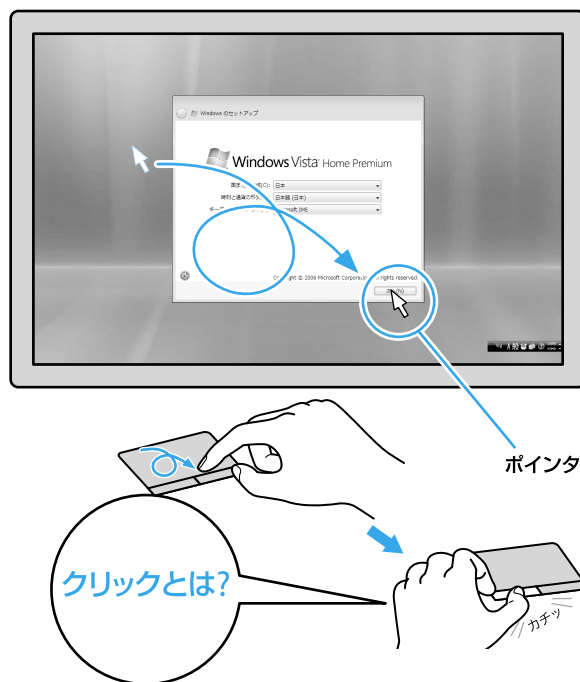
しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、電源ランプが消灯します。

！ご注意
本機の電源を切ったあと、30秒間は電源を入れないでください。

ヒント
お買い上げ時の設定では、ボタンをクリックするとスリープモードに移行します。
現在作業中の状態をメモリに保持したまま（お買い上げ時の設定）、最低限度必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約できます。詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[電源の管理／起動<VGC-LBシリーズ>]－[スリープモード／休止状態にする]をクリックする。）

Windowsを準備する

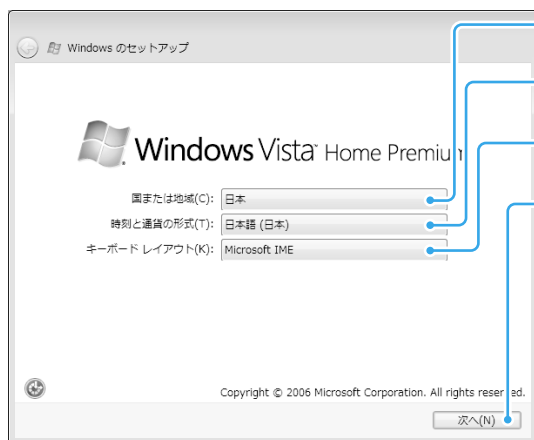
電源を初めて入れたら、まずWindowsの準備をしましょう。Windowsの準備が完了すると、付属のソフトウェアやいろいろな機能が使えるようになります。

タッチパッドの上で指を動かして、目的の場所の上までポインタを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。これを「クリックする」または「左クリックする」と言います。
タッチパッドの詳しい使いかたは「パソコンの基本操作について」の「タッチパッドの使いかた」(160ページ)をご覧ください。

ヒント
取扱説明書内の画面が実際と異なる場合は、表示される画面に従って操作してください。

1 電源を入れる。

電源ボタンを押し(29ページ)、「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで待ちます。

!ご注意
「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでに5 ～ 15分程度かかります。「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。表示前に電源を切ると故障の原因となります。

2 設定を開始する。

① [国または地域]で[日本]が選択されていることを確認する。
② [時刻と通貨の形式]で[日本語(日本)]が選択されていることを確認する。
③ [キーボードレイアウト]で[Microsoft IME]が選択されていることを確認する。
④ [次へ]をクリックする。

ヒント
ご使用いただいている機種によっては、OSの名称が異なることがあります。

!ご注意
英語キーボードを選択されている場合も、[Microsoft IME]を選択してください。
Windowsが起動してから、キーボードの変更を行います。

3 「ライセンス条項」の内容を確認する。

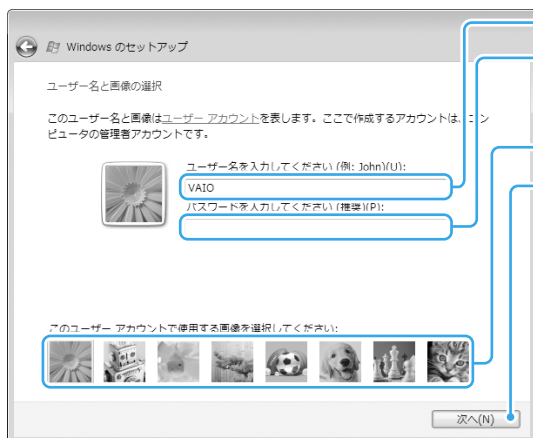
① 2か所の[ライセンス条項に同意します]をチェックする。

ここをクリックすると文章が上下します。

② 内容を確認したら[次へ]をクリックする。

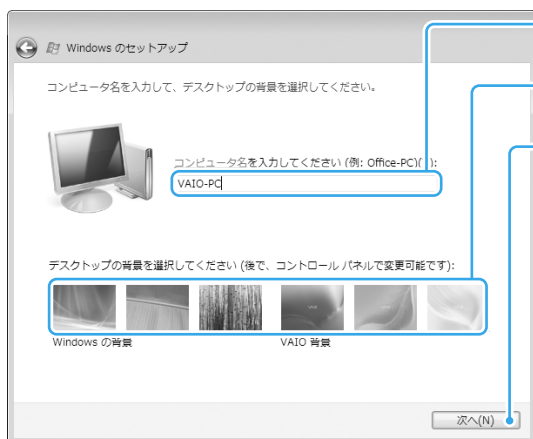
!ご注意
どちらか一方でもチェックをしないと、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェアはお使いになれません。

ヒント
画面左上の[戻る]ボタンをクリックすると前の画面に戻ることができます。

4 ユーザーアカウントの設定をする。

① お使いになる方の名前などをユーザー名として入力する。
② パスワードを設定する場合は、パスワードを入力する。
パスワードを入力すると、確認用にもう1度パスワードを入力する欄が表示されるので同じパスワードを入力する。
③ このユーザーアカウントで使用する画像をクリックする。
④ [次へ]をクリックする。

ヒント

- 文字の入力方法について詳しくは「パソコンの基本操作について」の「文字入力のしかた」(161ページ)を参照してください。
- ユーザー名やパスワードはWindowsのセットアップ完了後に設定することもできます。
- ユーザー名には、漢字・ひらがな・カタカナ・アルファベットなどの文字が使用できます(キーボードの半角/全角|漢字キーで入力を切り換えられます)。
  ユーザー名の例：
  VAIO太郎

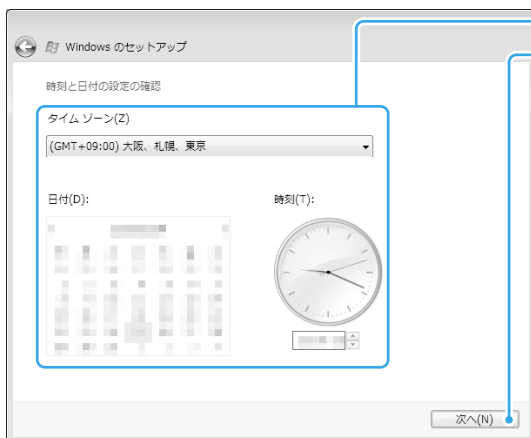
5 コンピュータの名前を確認する。

① 自動的に表示されますが、わかりやすい名前に変更することもできます。
② デスクトップの背景にしたい画像をクリックする。
クリックすると背景が変更されます。
③ [次へ]をクリックする。

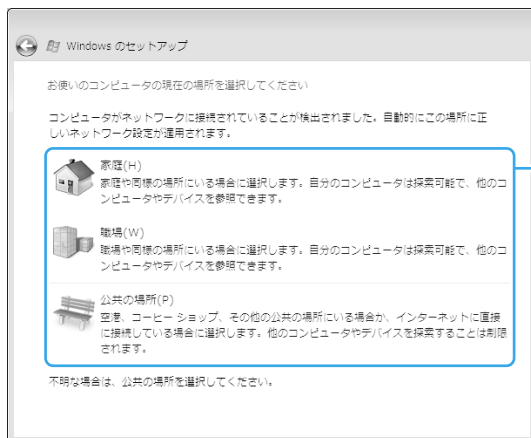
ヒント

コンピュータの名前やデスクトップの背景は、Windowsのセットアップ完了後に変更することができます。

コンピュータの保護の設定をする。

[推奨設定を使用します]をクリックする。

7 日付と時刻の設定を確認する。

① タイムゾーンおよび日付と時刻を確認する。
② [次へ]をクリックする。

コンピュータを使用する場所を選択する。

コンピュータを使用する環境に近いものをクリックする。

ヒント

- この画面は、ネットワークに接続されている場合に表示されます。
- コンピュータを使用する場所の設定は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。

この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

設定を完了する。

[いいえ、後で設定します]を選択して、[開始]をクリックする。

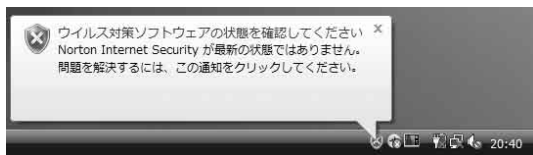
ヒント

Windowsのセットアップ完了後に設定することができます。

これでWindowsが使えるようになりました。

電源の切りかたについて詳しくは、「電源を切るには」(30ページ)をご覧ください。

!ご注意

- 本機にパスワードなどのセキュリティのための設定を行うことは、お客様の個人情報やデータを守るための有効な手段になります。設定したパスワードの種類によっては、パスワードを忘れると修理(有償)が必要になることがありますので、必ずメモをとるなどして忘れないようにしてください。また、パスワードを解除するための修理(有償)を行う場合には、お客様の本人確認をさせていただく場合があります。なお、パスワードの種類によっては修理(有償)でお預かりしても解除が不可能なものがありますのであらかじめご了承ください。
- 「ウイルス対策ソフトウェアの状態を確認してください」という警告が表示されることがあります。コンピュータを危険から守るために、Windowsのセットアップが完了したらすぐに「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行ってください。

基本設定を行う

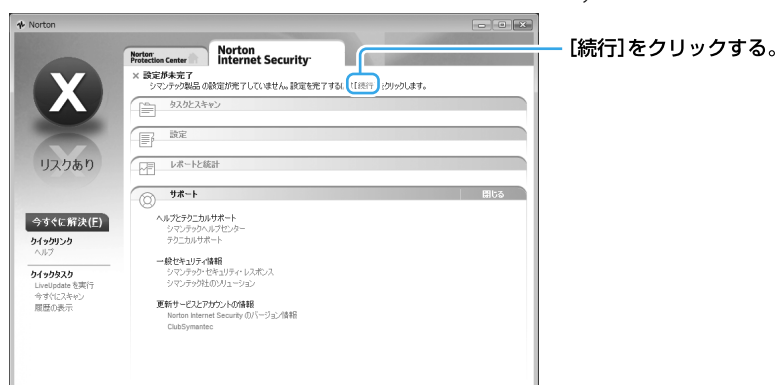
バイオを快適にお使いいただくための基本設定を行います。

ここから先の設定(セットアップ)は、インターネットに接続する必要があります。
インターネットの接続については「インターネット」の章(60ページ)をご覧ください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアについて

コンピュータウイルスやネットワークを通じた不正な接続などによる被害からコンピュータを守るためには、あらかじめきちんと対策しておく必要があります。本機には、「Norton Internet Security」ソフトウェアがインストールされており、前述の危険からコンピュータを適切に保護することができます。ただし、「Norton Internet Security」ソフトウェアは初期設定を行うまでは動作しないため、Windowsのセットアップの終了後にあわせて設定を行ってください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定は、(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Norton Internet Security]－[Norton Internet Security]をクリックし、「Norton Internet Security」画面上部に表示される[続行]をクリックして表示される「Norton Internet Security」設定画面にて行えます。

[続行]をクリックする。

ヒント

- 「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行う前に、あらかじめインターネットに接続してください。インターネットに接続されていない場合、最新のデータを利用することができません。
- 「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行っていない状態で本機の起動回数が2回目以降になると、起動直後に「Norton Internet Security」設定画面が表示されます。この画面が表示されたら、画面の指示に従って「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行ってください。

1 「Norton Internet Security」の設定をする。

［次へ］をクリックして、以降の手順は表示される画面の指示に従って進めてください。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。

画面の指示に従って操作すると、使用許諾契約や更新サービス有効期間の確認が行われます。
設定が終わると、「LiveUpdate」に進みます。

2 「LiveUpdate」で最新版に更新する。

インターネットに接続して「Norton Internet Security」ソフトウェアを更新します。
画面に表示される指示に従って操作してください。

！ご注意
「LiveUpdate」によって「Norton Internet Security」ソフトウェアを更新する場合、インターネットへの接続が必要です。インターネット接続サービスを提供する会社（インターネットサービスプロバイダ）との契約を行っていないなどの理由でインターネットに接続できない場合は、［キャンセル］をクリックしてください。［キャンセル］をクリックした場合、「Norton Internet Security」ソフトウェアが更新されないため、新種のコンピュータウイルスなどに対応することができません。

「Norton Internet Security」ソフトウェアの設定後に表示される警告について

「Norton Internet Security」ソフトウェアの設定後、いくつか警告が表示されます。警告の意味と対処方法は以下のとおりです。

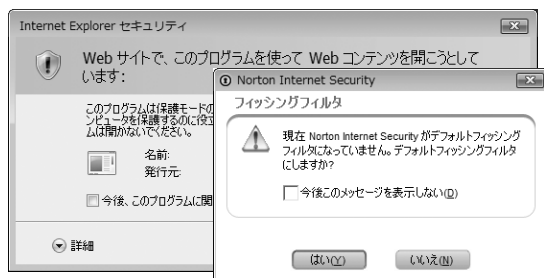
❑ 「要注意」画面、「リスクあり」画面

「Norton Internet Security」ソフトウェアの更新やコンピュータウイルスの詳細な検査が長期間行われていないときや、設定がセキュリティ上不適切なものになっていると表示されます。初期設定時以外で表示されたときは［今すぐに解決］をクリックして画面の指示に従ってください。

ヒント

初期設定時の「LiveUpdate」が終了すると「Norton Internet Security」画面が表示されます。画面左に表示されるセキュリティの状態が「要注意」または「リスクあり」になっている場合は、［今すぐに解決］をクリックして画面の指示に従ってください。

❑ 「Internet Explorer セキュリティ」画面、「フィッシングフィルタ」画面

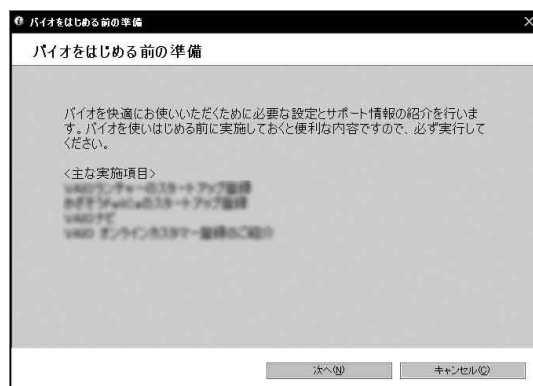
「Norton Internet Security」設定後、インターネットエクスプローラを起動するとメッセージが表示されます。メッセージに許可をし、フィッシング詐欺サイト対策機能を有効にします。

「Norton Internet Security」ソフトウェアについてのお問い合わせは以下となります。

シマンテック
SONYユーザ様用サービスページ（ユーザ登録・サポート登録・更新方法）
ホームページ：http://www.symantec.co.jp/region/jp/techsupp/regist/oem/sony/

バイオをはじめる前の準備を行う

「バイオをはじめる前の準備」では、バイオを快適にお使いいただくために必要な設定を行います。
以下の手順に従って、設定を行ってください。

1 デスクトップ画面上の[バイオをはじめる前の準備]をダブルクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「バイオをはじめる前の準備」画面が表示されます。

ヒント
「バイオをはじめる前の準備」は、1度実行すると次からは表示されません。

2 画面の指示に従って操作する。

最後に、再起動を促す画面が表示されますので、本機を再起動してください。

カスタマー登録する

VAIOカスタマー登録について

ソニーでは、「バイオ」をご所有のお客様へより充実したサービス・サポートをご提供するために、「VAIOカスタマー登録」をおすすめしています。
ご登録いただくと、「My Sony ID」が発行(あるいは、お持ちの「My Sony ID」に製品の登録情報を追加)され、下記の登録特典が得られます。
登録はこちら(http://www.vaio.sony.co.jp/regist)からお願いいたします。

❑ My Sony ID

「ソニー共通体系のお客様ID」です。
ソニーグループが提供するさまざまなWebサイトやサービスを、ひとつのIDとパスワードでお客様ご本人の認証に利用できます。また、すでに他のIDをご所有の場合も、それらのIDと「IDリンク(ひも付け)」設定を行うことでマスターキーのように使えます。
My Sony IDについて詳しくはMy Sonyホームページ(http://www.sony.co.jp/mysony/)をご覧ください。

!ご注意
- VAIOカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをした後などに再び行う必要はありません。
- 住所などの登録内容の変更手続きは、My Sony ホームページ(http://www.mysony.sony.co.jp/)で行うことができます。

VAIOカスタマー登録に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」(123ページ)までご連絡ください。

VAIOカスタマー登録を行っていただくと…

① **セキュリティーや品質などに関する重要な情報をご提供**
お客様のバイオに関する重要な情報をご連絡いたします。

② **ご登録カスタマー専用のサービス・サポートメニューをご用意**
VAIO延長保証などのサービスから、コールバック予約などのサポートまで多彩な専用メニューをご利用いただけます。

③ **優待プログラム「My VAIO Pass」(http://www.vaio.sony.co.jp/Pass/)(130ページ)をご提供**
ソフトウェアの優待販売や期間限定の特別キャンペーンに加え、ソニーグループ内で広く使えるソニーポイントの連動を強化した優待プログラムをご利用いただけます。

④ **お客様専用のページをご用意**
カスタマー登録の際に発行されるMy Sony IDでログインしていただくと、お客様専用ページをご覧いただけます。

⑤ **電話サポートがよりスムーズに**
ご登録いただいたお客様情報に基づき迅速に対応いたします。

⑥ **バイオに関する最新情報をご提供**
メールニュースなどバイオに関するさまざまな最新情報をお届けします。

❑ ご利用いただける有料サービス

- VAIO延長保証サービス
  http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/Service/Guarantee/
  大切なバイオを安心してお使いいただくためのサービスです。
- VAIO Overseas Service(海外現地修理サービス)
  http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/Service/Overseas/
  海外で安心してお使いいただくためのサービスです。
- ソフトウェア・ダウンロード販売サイト、「VAIOソフトウェアセレクション」
  http://www.vaio.sony.co.jp/Service/Software/

❑ ご利用いただけるサポート

お客様ひとりひとりにあわせたサポート情報をご提供する「マイサポーター」をご利用いただけます。マイサポーターでは下記のサポートなどをご提供しています。

- **「テクニカルWebサポート」**
  https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/mysupporter/
  バイオに関する技術的な質問をインターネット経由で受け付け、電子メールでご返信いたします。
- **「VAIOコールバック予約サービス」**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/callback.html
  ホームページから、電話サポートのご予約をしていただけます。
- **「VAIOリモートサービス」**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/
  オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、使いかたなどのご案内をさせていただきます。
- **「VAIO Hot Street(情報交換サイト)」**
  http://hotstreet.vaio.sony.co.jp/
  バイオユーザーの皆様どうしでバイオに関する「投稿」、「質問」、「回答」などのやりとりを行う情報交換サイトをご利用いただけます。

※2007年2月現在

ご利用いただける有料サービスやサポートについて詳しくは、110ページ以降をご覧ください。

VAIOカスタマー登録の方法

VAIOカスタマー登録は、お客様のバイオから2通りの方法で行うことができます。

！ご注意

- VAIOオンラインカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをしたあとなどに再び行う必要はありません。
  住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ(http://www.sony.co.jp/mysony/)で行うことができます。

❑ プログラムから登録

1 **(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIOオンラインカスタマー登録]をクリックする。**

「VAIOオンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

2 内容をよく読み、[ご登録ページへ]をクリックする。

登録画面が表示されます。

ヒント
カスタマー登録をしない、またはあとでするときは、画面を閉じてください。

3 以降、画面の指示に従って登録する。

登録が完了すると、「My Sony ID」が表示されます。

!ご注意
- 表示された番号は、メモをとるなどして忘れないようにしてください。
- VAIOカスタマーリンクへのお問い合わせの際に、「My Sony ID」が必要になる場合があります。

ヒント
「My Sony ID」は登録メールアドレスに送信されます。

❑「My VAIO」から登録

1 「MyVAIO」(http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO)の「MyVAIO メニュー」から「カスタマー登録」をクリックします。

「VAIOオンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

2 以降、画面の指示に従って登録する。

登録が完了すると、「My Sony ID」が表示されます。

VAIOの最新情報を自動的に入手する

「VAIO Update」とは

「VAIO Update」は、ソニーがご提供するお客様への「重要なお知らせ」や「アップデートプログラム」の情報を、定期的にお知らせするソフトウェアです。
ソニーがご提供する情報が更新されると、「VAIO Update」はタスクバーの通知領域からバルーンでお知らせします。

ヒント
VAIO Updateは、無料でご利用いただけます（インターネットご利用時にかかる通信費はお客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください）。

！ご注意
VAIO Updateを利用するには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。

VAIO Updateでの個人情報の取り扱いについて

ソニーはお客様のプライバシー保護に努めています。

- VAIO Updateでは、お客様がお使いのバイオのシリアル番号やOSおよびインストールソフトウェアなどの情報、ならびにお客様の個人情報をサーバーに送信しません 。
  お客様の個人情報を送信することなくサービスをご提供しておりますので、安心してご利用いただけます。
- VAIO Updateからサーバーへ新着情報を確認するときに、ご使用のバイオのIPアドレスがサーバー上に記録されることがあります。これは、サーバーの履歴情報やアクセス統計のためで、ここから個人情報への結びつけは行いません。

「VAIO Update」の設定を行う

VAIO Updateを利用するには、事前に動作設定をする必要があります。

1 「VAIO Updateへようこそ」バルーンが表示された際にバルーンをクリックするか、または(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO Update 3]－[VAIO Updateの設定]をクリックする。

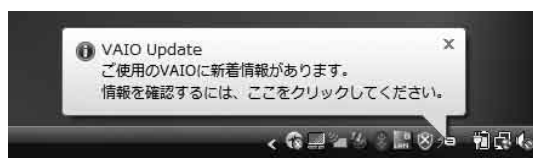
「VAIO Updateの設定」画面が表示されます。

2 「VAIO Updateへようこそ」の内容をスクロールして最後まで読む。

画面表示が下記に変わります。

3 「定期的にサーバーと通信を行い、新着情報を確認する」および「タスクバーにアイコンを表示する」のチェックボックスにチェックがあることを確認し、[OK]をクリックする。

「VAIO Update」を利用する

1 VAIO Updateのバルーン画面をクリックする。

（実際の画面とは異なる場合があります。）

VAIO Updateのバルーン画面は、タスクバーの通知領域に表示されます。

2 重要なお知らせの確認やアップデートを行う。

① **重要なお知らせ**
セキュリティ関連情報などソニーがお客様へご提供する「重要なお知らせ」を確認することができます。
件名をクリックすることにより、詳細な内容の確認ができます。

② **アップデートプログラム**
お客様がご使用のバイオを最新の状態にできるアップデートプログラムを確認できます。アップデートプログラムには自動でアップデートできるプログラムと手動でアップデートするプログラムがあります。それぞれ、プログラムの左にあるチェックボックスにチェック（複数選択可）を入れ、[アップデート開始]をクリックすることで、アップデートを開始します。
自動アップデートの場合には、ダウンロードとインストールを行います。
手動アップデートの場合には、ダウンロードまで行いますので、ダウンロード後はプログラムの件名をクリックすると表示される内容に従ってインストールしてください。

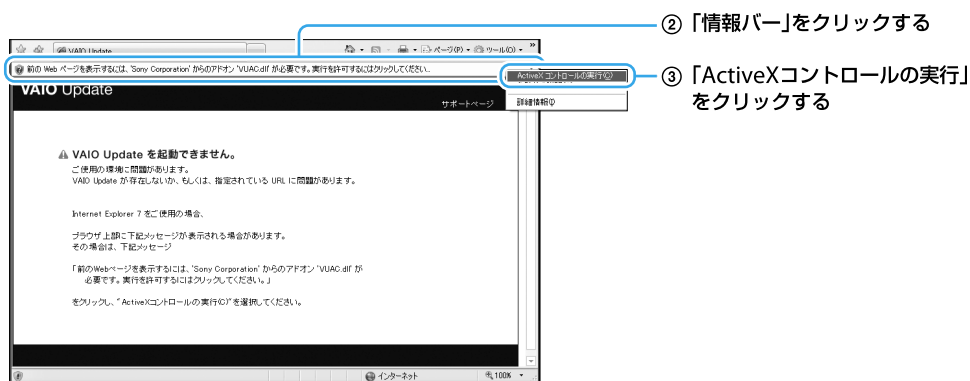
＊ アップデートを行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

ヒント
VAIO Updateで表示される内容は、お客様がご使用のバイオに必要な情報が表示されています。
アップデートプログラムは、セキュリティ対策などで重要度の高いものには、プログラム名の横に（!）のアイコンが表示されます。
この重要度の高いものについては、アップデートを強くおすすめします。

「VAIO Update」が起動しないときは

VAIO Updateのバルーン表示をクリックすると、下記の画面が表示される場合があります。
表示された場合は、「閉じる」をクリックしてください。

（実際の画面とは異なる場合があります。）

画面上部の「情報バー」をクリックし、「ActiveXコントロールの実行」をクリックします。
*　ActiveXコントロールの実行により、ご使用のバイオに影響を及ぼすことはありません。

（実際の画面とは異なる場合があります。）

VAIO Update画面が表示されます。

以上でセットアップが終わりました。

ここまでで本機を使う上で必要な準備と操作は、ひと通り終わりました。更にいろいろな作業をするためには、引き続きこのあとのページや「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

❑ リカバリディスクの作成方法を知りたい。

→70ページをご覧ください。

❑ 電子メールをやりとりしたい。

→「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。(48ページ)
([インターネット／ネットワーク]－[ホームページ／電子メール]－[電子メールをやりとりする]をクリックする。)

❑ Windowsの基本操作を知りたい。

→「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。(48ページ)
([できるWindows for VAIO]をクリックする。)

Windows Updateについて

より安定した状態でバイオをお使いいただくために、Windows Updateを実行してください。
(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Update]をクリックする。

画面で見るマニュアルの使いかた

本書の次ページ以降で、本機の使いかたや困ったときの解決方法を紹介しています。「バイオ電子マニュアル」や「VAIOナビ」では、さらに詳しく紹介していますので、ぜひご活用ください。

バイオ電子マニュアルの使いかた

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[バイオ電子マニュアル]をクリックする。

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。
画面の各項目の詳しい説明は、「「バイオ電子マニュアル」を見る」(107ページ)をご覧ください。

VAIOナビの使いかた

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIOナビ]をクリックする。

「VAIOナビ」が表示されます。

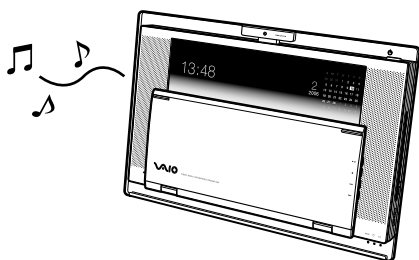
ミュージック

SoundFLOWとは

より気軽に音楽コンテンツを楽しむことができます。

「オーディオポジション」にしてSoundFLOWが起動すると、時計やカレンダーを表示したり、音楽を楽しむことができます。また、ウェイクアップタイマーによって指定した時刻に音楽を再生したり、スリープタイマーによって一定時間経過後にスリープモードに設定することもできます。
ここでは「オーディオポジション」にしたときに自動的に起動するSoundFLOWの操作について簡単にご紹介します。詳しい説明については、SoundFLOWのヘルプをご覧ください。

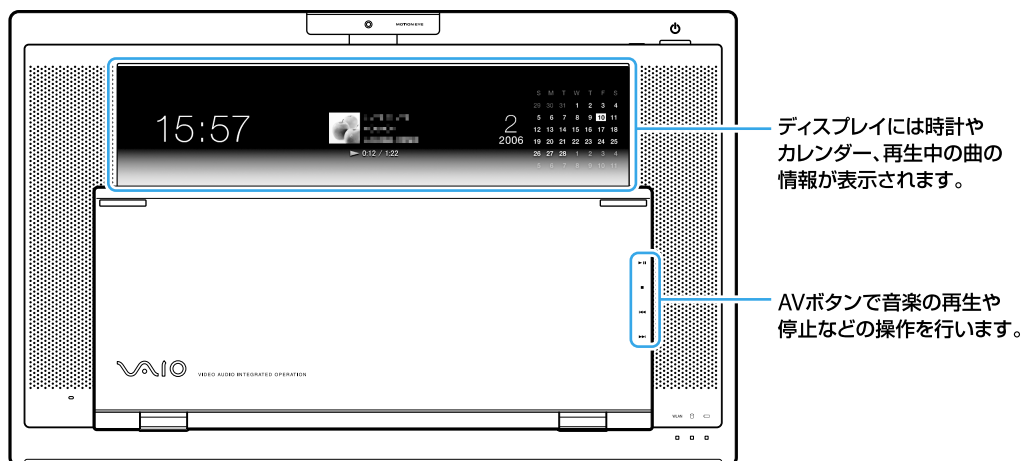
「オーディオポジション」とは

「オーディオポジション」とは、キーボードを閉じている状態のことです。キーボードを閉じるとSoundFLOWが起動して、簡単に音楽を再生できます。

!ご注意

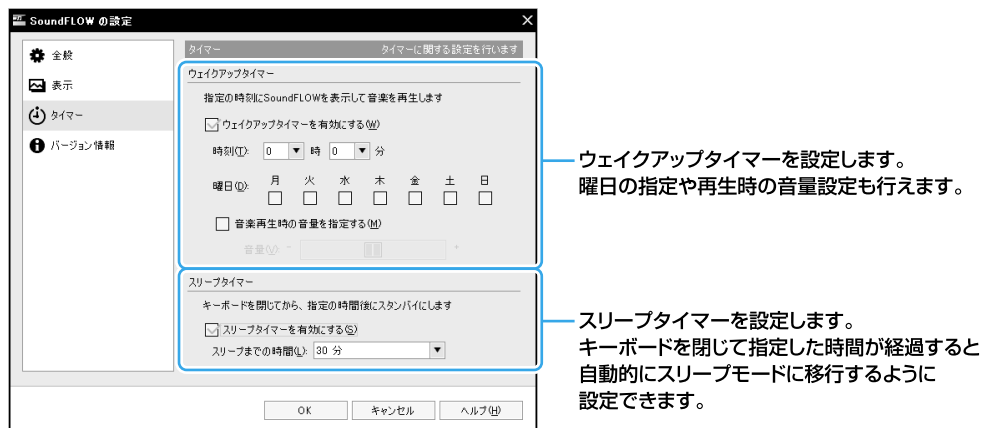
- 同時に他のソフトウェアを起動していると、SoundFLOWの動作が重くなったり、起動に時間がかかる場合があります。
また、起動中のソフトウェアでCPU負荷の高い作業をしている場合は、SoundFLOWの起動によって、動作に影響を与える場合もあります。その場合は、キーボードを閉じる前にソフトウェアを終了してください。
- キーボードを開閉するときに、キーボード全体がきちんと机の上にのるように設置してください。
- キーボードを閉じるときは、指などをはさまないようにしてください。

SoundFLOWで音楽を聞く

キーボードを閉じると、SoundFLOWが起動します。

音楽の再生や操作はキーボードのAVボタンで行います。

タイマーを設定する

スリープタイマーやウェイクアップタイマーが設定できます。

スリープタイマーの設定をすれば、一定時間後に音楽再生を終了し本機をスリープモードにできます。また、ウェイクアップタイマーの設定をすると、指定した時間に音楽再生を始めることができます。
タイマーの設定は、（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［SoundFLOW］－［Sound FLOW設定］をクリックすると表示される「SoundFLOWの設定」画面で行います。

音楽を取り込む

お気に入りの音楽CDをバイオに録音できます。
自分だけの音楽ライブラリができあがります。

！ご注意
操作中に「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[SonicStage]－[SonicStage]をクリックする。

「SonicStage」ソフトウェアが起動します。

2 取り込みたい音楽CDをドライブに入れる。

ヒント
「SonicStage」ソフトウェアではじめて音楽CDを利用するときは、ドライブのチェックや、音楽CDを入れたときに自動的に録音するかどうかを設定します。表示される画面の指示に従って操作してください。

3 [音楽を取り込む]にポインタをあわせ、メニューから[CDを録音する]をクリックする。

ヒント
インターネット上の音楽配信サービスを利用するときは、[ミュージックダウンロード]をクリックしてください。

4 をクリックする。

音楽の取り込みがはじまり、「マイ ライブラリ」に保存されます。

ここをクリックする。

ヒント

- 画面右下の［CD 情報取得］をクリックすると、インターネット上のCD情報サービスを利用して、音楽CDのアルバム名や曲名などの情報を自動的に取り込むことができます。また、アルバム名、アーティスト名およびタイトルは、画面上で直接入力することもできます。ただし、録音中はこれらの操作はできません。
  詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- 取り込みたくない曲がある場合は、をクリックする前に、CDトラック番号の をクリックして にします。

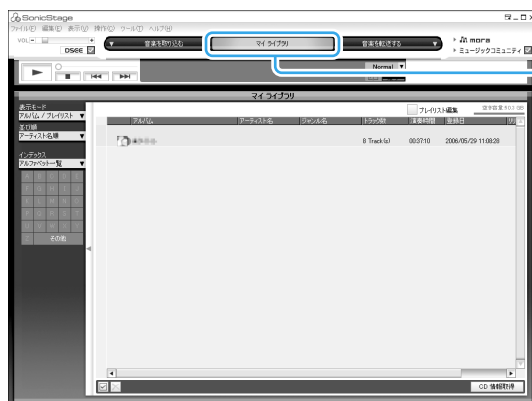
音楽を聞く

取り込んだ音楽コンテンツをジュークボックス感覚で楽しむことができます。
音楽CDを交換する手間はありません。

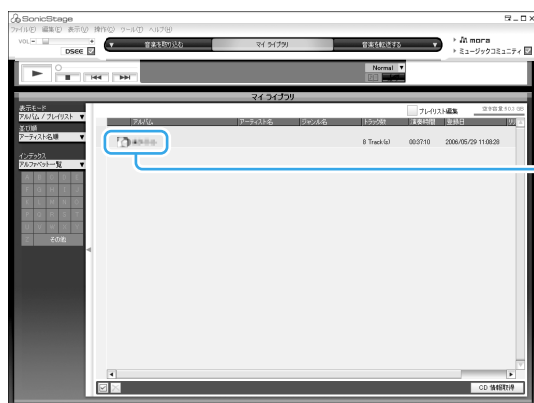
！ご注意

操作中に「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

1 （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[SonicStage]ー[SonicStage]をクリックする。

「SonicStage」ソフトウェアが起動します。

2 [マイ ライブラリ]をクリックする。

「マイ ライブラリ」画面が表示されます。

3 再生したい曲を含むアルバムをダブルクリックする。

アルバムに収められている曲の一覧が表示されます。

ヒント
- 「マイ ライブラリ」を「すべての曲一覧」モードで表示している場合は、この操作は不要です。
- アルバムを選択して画面右下の［CD 情報取得］をクリックすると、インターネット上のCD情報サービスを利用して、音楽CDのアルバム名や曲名などの情報を自動的に取り込むことができます。ただし、複数のアルバムを指定して情報を検索することはできません。
  詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

4 聞きたい曲をクリックして選択し、をクリックする。

音楽が再生されます。

ヒント
曲をダブルクリックして再生することもできます。

音楽CDを作る

曲やアルバムを選んでお好みの音楽CDを作れます。

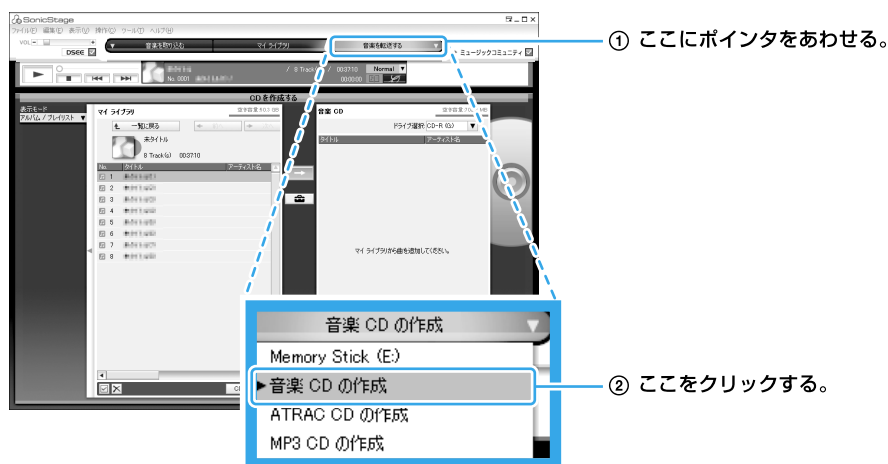
！ご注意

- 音楽CDを作成する場合は、あらかじめ「使用できるディスクとご注意」(158ページ)をご覧ください。
- 操作中に「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[SonicStage]－[SonicStage]をクリックする。

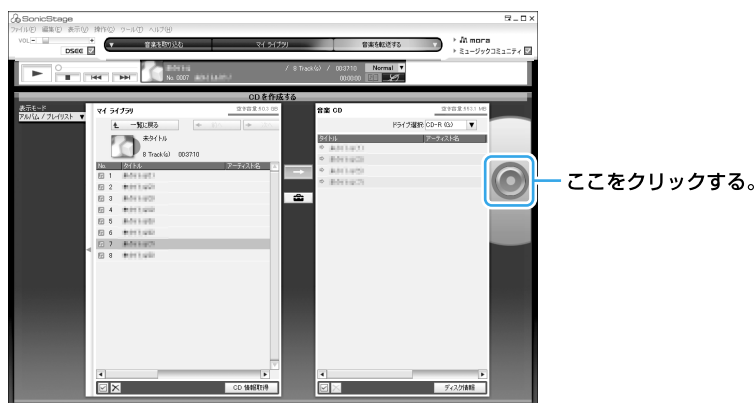
「SonicStage」ソフトウェアが起動します。

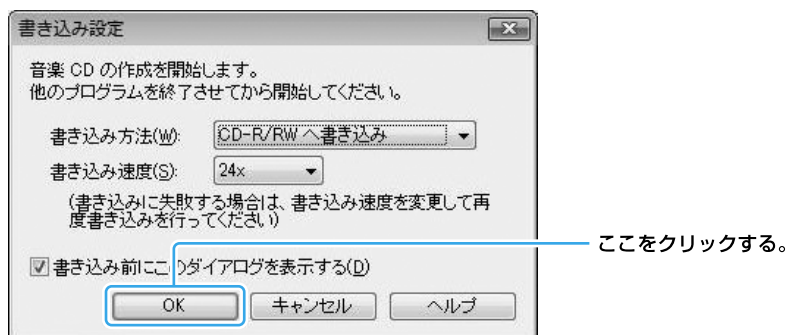
2 ブランクメディア(データの書き込まれていないCD-R、CD-RW)をドライブに入れる。

3 [音楽を転送する]にポインタをあわせ、[音楽CDの作成]をクリックする。

4 CDにしたい曲やアルバムを選択し、[→] をクリックする。

ヒント

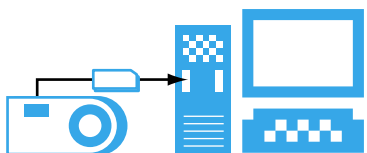
- 曲の一覧は、アルバムをダブルクリックすると表示されます。
- マイ ライブラリの曲をCD-R／CD-RWに書き込む場合は、書き込みたい曲をあらかじめ「プレイリスト」などにまとめておくと便利です。

5 CDにしたい曲やアルバムをすべて選択したら、[ボタン] をクリックする。

「書き込み設定」画面が表示されます。

6 [OK]をクリックする。

書き込みが始まります。

写真を取り込む

デジタルスチルカメラの写真を取り込んで
バイオで管理できます。

1 USBコネクタにデジタルスチルカメラを接続するか、“メモリースティック”などのメモリーカードをスロットに入れる。

Windowsが実行する動作を指定する画面が表示されます。

ヒント

- デジタルスチルカメラやメモリカードなどのメディアをコンピュータに接続する方法については、お使いの機器やメディアの取扱説明書をご覧ください。
- コンピュータの設定によっては、Windowsが実行する動作を指定する画面が表示されないことがあります。この場合は(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows フォト ギャラリー]をクリックして「Windows フォト ギャラリー」ソフトウェアを起動し、[ファイル]メニュー－[ギャラリーへのフォルダの追加]をクリックします。
  「ギャラリーへのフォルダの追加」画面で取り込みたいメディアやカメラを選択して[OK]をクリックすると、画像とビデオの読み込みが開始されます。

2 [画像の取り込み - Windows使用]をクリックする。

3 「画像とビデオを読み込んでいます」画面が表示されたら、「これらの画像をマーク」を設定する。

マーク欄にマークを直接入力するか、ドロップダウンリストからマークを選択します。

ヒント
- マークは設定しなくても構いません。
- マークを設定すると、画像にタグを付加して、タグを元に検索や整理ができます。タグについては、［オプション］をクリックして表示された画面で設定できます。詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

4 ［読み込み］をクリックする。

画像の読み込みが開始されます。

これで画像の取り込みは完了です。

写真を見る

取り込んだ写真をWindows フォト ギャラリーで表示します。

1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Windows フォト ギャラリー］をクリックする。

「Windows フォト ギャラリー」画面が表示されます。

画面左側の一覧から見たい項目をクリックすると、その項目に該当する写真が表示されます。
- ［すべての画像とビデオ］をクリックすると、「Windows フォト ギャラリー」ソフトウェアに取り込まれているすべての写真が表示されます。
- 「タグ」「撮影日」「評価」をクリックして、条件による写真の検索を行うことができます。

DVDを見る

WinDVDでDVDを再生します。

!ご注意

本機でDVDを再生するときは、映像を扱う他のソフトウェアをすべて終了させてください。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[InterVideo WinDVD]ー[InterVideo WinDVD for VAIO]または[InterVideo WinDVD BD for VAIO]をクリックする。

「WinDVD」ソフトウェアが起動します。

2 再生したいDVDをドライブに入れる。

3 再生する。

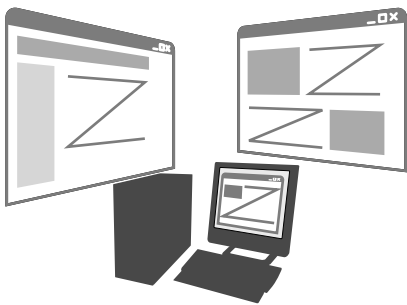
「WinDVD」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「WinDVD」のヘルプをご覧ください。

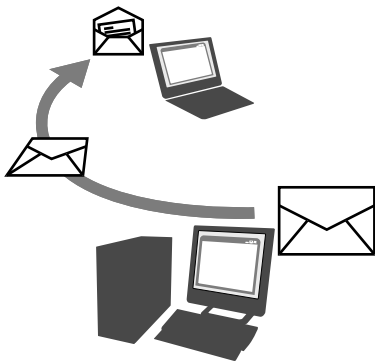
インターネットを始める

インターネットとは

インターネットとは、世界中のコンピュータがつながって構成されている地球規模のネットワークのことです。
インターネットを利用するには、インターネット接続サービスを提供する会社(プロバイダ、インターネットサービスプロバイダ(ISP)などと呼びます)と契約し、接続のための設定を行います。
この章では、インターネットを利用したことがない方や、プロバイダと契約していない方を対象に、インターネットの基本的な利用方法を解説します。

インターネットでできること

ホームページを見る

ホームページは、文章や画像、映像、音声などで構成された情報媒体です。ニュースや読み物を読んだり、天気予報やテレビ番組表のような情報を調べたり、買い物を楽しんだりすることができます。

電子メールをやりとりする

インターネットの利用者同士で手紙をやりとりすることができます。画面上で手軽に送ったり受けたりすることができます。

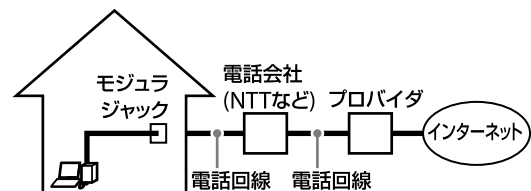
こんなこともできます

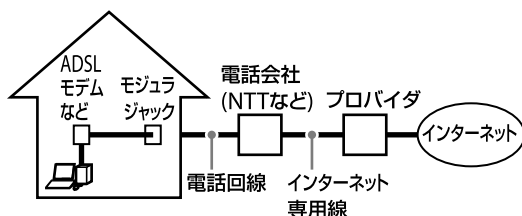
- 無料の電話サービス
  インスタントメッセンジャー(IM)というソフトウェアを利用すれば、利用者同士で無料の音声通話やビデオ通話、チャット(文字による会話)などを楽しむことができます。
- インターネットオークション
  不要になったものなどを個人間で売買することができます。
- 音楽や動画の視聴
  音楽や動画を購入してコンピュータ上で再生し、楽しむことができます。
- 銀行取引・株取引
  銀行や証券会社のホームページで取引することができます。
- ホームページの公開
  ほとんどのプロバイダでは、利用者がホームページを公開するためのサービスを提供しています。ホームページを作ってほかのインターネット利用者と知識を共有したり、自分が作ったものを公開して他の人に見てもらえるようにすることができます。

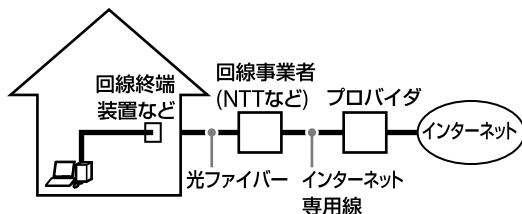
インターネット接続サービスの種類

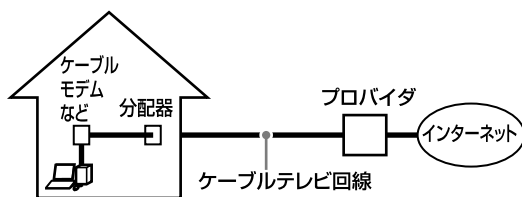
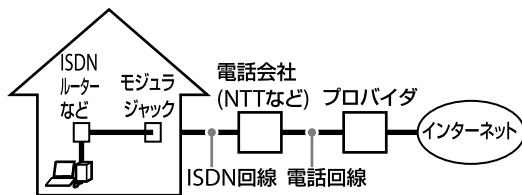
インターネットへの接続手段は複数あり、利用形態に応じて選ぶことができます。一般的には、通信速度や料金などで選択します。各種接続サービスについて詳しくは、プロバイダにお問い合わせください。

❑ 一般電話回線

一般の電話回線を使ってインターネットに接続します。モデム内蔵のコンピュータならほかに機器を必要としないので、手軽にインターネットを始められます。
通信速度は低いため、電子メールしか使わないような場合に適しています。

❑ ADSL

一般の電話回線で高速通信・常時接続が可能な接続方法です。
光(FTTH)ほどの通信速度はありませんが、料金は比較的安いため、コストと通信速度のバランスが取れた接続方法といえます。

❑ 光(FTTH)

光ファイバーケーブルの回線を使ってインターネットに接続します。
ビデオ配信サービスなど、高い通信速度を求められるサービスを利用する場合に適しています。

❑ その他の接続サービス

- CATVインターネット
  ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は事業者によって異なり、ADSLあるいは光(FTTH)と同程度で接続ができます。
  すでにケーブルテレビを利用している場合や、利用を検討している場合に適しています。

- ISDN
  NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。
  一般電話回線よりも高速ですが、一般電話回線からISDN回線への切り替えが必要です。

その他、インターネット回線が用意されているマンションや、無線による接続など、特殊な接続方法もあります。詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

❑ 各接続サービスの特徴

回線の種類	接続可能エリア	高速通信	常時接続
一般電話回線	◎	△	△
ADSL	○	○	◎
光(FTTH)	△	◎	◎
CATVインターネット	△	○/◎	◎
ISDN	○	△	△

◎:最適　○:適している　△:あまり適さない

プロバイダと契約する

インターネットに接続するには、インターネット接続サービスを提供する会社「プロバイダ」と契約する必要があります。数多くのプロバイダがありますので、料金やサービスの内容をご検討の上、ご自分に合ったプロバイダと契約してください。
プロバイダについて詳しくは、「バイオ電子マニュアル」の[ソフトウェアの使いかた]-[ソフト紹介/問い合わせ先]-[本機に付属されているソフトウェア]をクリックして表示される「ISPサインアップ」の項目をご覧ください。

!ご注意

- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダもあります。
- 接続料金はプロバイダにより異なります。

プロバイダのマニュアルに従って機器の接続や設定を行う

契約が完了すると、プロバイダからインターネットの接続に使用するマニュアルや資料、機器などが郵送されてきます。
接続方法や設定方法、使用する機器は接続サービスによって異なります。必ずプロバイダから送られてきたマニュアルをお読みになり、指示に従って設定を行ってください。

インターネットに接続できないときは

インターネット接続ができないときは、次の項目を確認してください。

❑ プロバイダとの契約を確認する

インターネット接続するには、プロバイダと契約する必要があります（61ページ）。

❑ 機器の接続や設定を確認する

契約したプロバイダにより、機器の接続や設定方法が異なります。プロバイダから支給されるマニュアルをよくお読みになり、機器の接続や設定を行ってください。本機とLANケーブルやテレホンコードの接続は25ページをご覧ください。

❑ 「バイオ電子マニュアル」で解決方法を探す

「バイオ電子マニュアル」には、インターネットに関する情報が記載されています。
「バイオ電子マニュアル」は、（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［バイオ電子マニュアル］をクリックすると起動することができます。

- 使いかたについては
［インターネット／ネットワーク］－［ホームページ／電子メール］をクリックして表示された情報をご覧ください。
- モデムがダイヤルしないなど、困ったときは
［Q&A集］－［インターネット／ネットワーク］－［インターネット接続］の各項目や［ホームページ／電子メール］をクリックして表示された情報をご覧ください。

ワイヤレスLANで接続できないときは

ワイヤレスLANを使ってインターネットに接続することもできます。（ワイヤレスLAN搭載モデル）

ワイヤレスLANを使って接続できないときは、次の項目を確認してください。

❑ 「バイオ電子マニュアル」で解決方法を探す

「バイオ電子マニュアル」には、ワイヤレスLANに関する情報が記載されています。
「バイオ電子マニュアル」は、（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［バイオ電子マニュアル］をクリックすると起動することができます。

- ワイヤレス機能を有効にしたいときは
［インターネット／ネットワーク］－［LAN ／ワイヤレスLAN］－［ワイヤレスLANで通信する］をクリックして表示された情報をご覧ください。
- アクセスポイントが使用できないときは
［Q&A集］－［インターネット／ネットワーク］－［LAN／ワイヤレスLAN］をクリックして表示された情報から「ワイヤレスLANが使えない。」や「本機とワイヤレスLANアクセスポイントの通信ができない（インターネットにアクセスできない）。」の項目をご覧ください。
- ネットワーク キーについて知りたいときは
［インターネット／ネットワーク］－［LAN ／ワイヤレスLAN］－［ワイヤレスLANで通信する］をクリックして表示された情報をご覧ください。
- 暗号化について知りたいときは
［インターネット／ネットワーク］－［LAN ／ワイヤレスLAN］－［ワイヤレスLANで通信する］をクリックして表示された情報をご覧ください。
- 通信速度が遅いときは
［Q&A集］－［インターネット／ネットワーク］－［LAN／ワイヤレスLAN］をクリックして表示された情報から「ワイヤレスLAN経由で受信した映像や音声が、再生できなかったり途切れたりする。また、通信速度が遅い。」の項目をご覧ください。

セキュリティについて

コンピュータを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピュータを守るためのセキュリティについてご紹介いたします。

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータに被害を与えるソフトウェアの総称です。何らかの原因でコンピュータウイルスが実行される(これを感染と呼びます。)と、以下のような被害にあってしまいます。

被害の例

- ファイルが勝手に消去されたり、内容が改変されたりする。
- ウイルスの作成者などに、コンピュータ上に保存された個人情報(電子メールのデータやアドレス帳のデータ、WordやExcelなどで作成したデータなど)がインターネットを通じて勝手に送信される。
- ウイルスの作成者などに、違法な広告メールの発信元として利用される。
- コンピュータ上に保存された電子メールアドレスあてに、勝手にウイルス付きの電子メールが送られる。

コンピュータウイルスに感染する経路

- **コンピュータウイルスに感染した文書(WordやExcelなど)を開く**
  WordやExcelでは、処理を自動化するためのマクロと呼ばれる機能があります。この機能を悪用して、コンピュータウイルスとして作られたものが添付されている可能性があります。このような文書を開くと、コンピュータ内の他の文書にもコンピュータウイルスを添付されてしまいます。
- **コンピュータウイルスが添付された電子メールの実行ファイルを開く**
  知っている人からの電子メールだと思って画像ファイルを開いたつもりが、実は画像ファイルに偽装したコンピュータウイルスだったということがあります。コンピュータウイルスに感染すると、勝手にコンピュータウイルス付きの電子メールを送るようになってしまう場合があるため、ファイルを開くときは細心の注意が必要です。
- **ホームページで入手した実行ファイルを開く**
  インターネットでは、無料のソフトウェアが公開されていることがあります。そのソフトウェアの作成者のコンピュータがコンピュータウイルスに感染していたなどの理由で、公開されているソフトウェアそのものがウイルスになってしまっている場合があります。
- **インターネットにつないでいると勝手に感染する**
  非常にまれですが、Windowsに大きな欠陥が発見されるとその欠陥を悪用したコンピュータウイルスが作成され、何もしていなくてもコンピュータがコンピュータウイルスに感染するという状況になる場合があります。しかし、後述するファイアウォール機能が動作していれば防ぐことが可能です。また、このような重大な欠陥はすぐに後述するWindows Updateで対策用のソフトウェアが配布されるため、きちんと対策しておけば問題ありません。

コンピュータウイルスへの対策方法

以下の対策をきちんと行うことで、コンピュータウイルスに感染することはほとんどなくなります。

❑ コンピュータウイルス対策用のソフトウェアを使用する

コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、コンピュータ内にコンピュータウイルスが存在していないか検査して問題があれば処理したり、開こうとしているファイルが安全かどうかを検査して危険な場合は開くのを阻止したりするソフトウェアです。
本機には、コンピュータウイルス対策用ソフトウェアとして、「Norton Internet Security」ソフトウェアがあらかじめ搭載されています。
コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、過去に発見されたコンピュータウイルスの情報をウイルス定義ファイルという形で保持しており、この情報を元に、コンピュータにコンピュータウイルスが存在していないか、開こうとしているファイルは安全かどうかを検査しています。コンピュータウイルスは毎日新しいものが発見されているため、ウイルス定義ファイルは定期的に更新する必要があります。本機に搭載されている「Norton Internet Security」ソフトウェアでは、90日間無料でウイルス定義ファイルを更新することができます。
「Norton Internet Security」ソフトウェアについて詳しくは、36ページをご覧ください。

!ご注意

- 本機の2回目の起動時か、「Norton Internet Security」ソフトウェアをはじめて起動したときは、「Norton Internet Security」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- ネットワークに接続した状態で「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォールを有効にした場合、セキュリティチェックのため本機が起動するまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。
- 本機をウイルスから守るために、定期的に「LiveUpdate」を実行して、ウイルス定義ファイルを最新の状態にしてください。

❑ Windows Updateを使ってWindowsを更新する

Windows Updateでは、新たに発見された欠陥を修正するためのソフトウェアが配布されています。Windowsの欠陥を悪用するコンピュータウイルスは、コンピュータウイルス対策ソフトウェアを使っても対処できないことがあるため、Windows Updateで最新の状態を保つようにしてください。

「Windowsを準備する」(31ページ)の手順に従ってセットアップすると、自動更新機能が有効になります。この状態でインターネットに接続していると、Windows Updateにて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。

また、(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Update]をクリックすると、Windows Updateのホームページが表示されます。こちらでプログラムの更新を確認することもできます。

!ご注意

Windows Updateにて提供されるドライバの更新はおすすめしません。ドライバの更新をすることにより、本機のプリインストール状態の動作に不具合が生じる場合があります。ドライバを更新する場合は、VAIOカスタマーリンクのホームページ上で提供されるドライバを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、次のVAIOカスタマーリンクのホームページをご覧ください。

Windows Update関連情報

http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winupdate/index.html

ファイアウォール機能について

ファイアウォール機能は、インターネットに接続しているときに第三者が不正な方法でお使いのコンピュータに接続することを阻止する機能です。本機は、Windowsに搭載されているファイアウォール機能に加え、「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォール機能を搭載しています。

!ご注意

ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

詐欺について

インターネット特有の詐欺には以下のようなものがあります。

- **架空請求詐欺**

  ホームページを開くと、突然「ご登録いただきましてありがとうございました」などと表示するとともに利用料を請求されることがあります。これは架空請求詐欺ですので、利用料を支払う必要はありません。

  画面上にはお使いのプロバイダ名などが表示され、一見すると個人情報が登録されてしまっているように見えますが、表示されている以上のことは相手にわかりません。不安な場合は、表示されているアドレスや連絡先をメモしたうえで、国民生活センターなどにお問い合わせください。

- **フィッシング詐欺**

  銀行などを装って電子メールを送りつけてきて、カード番号や接続ID、パスワードなどを偽のホームページで入力させる詐欺です。

  電子メール上のアドレスをクリックすると、本物と同じデザインのホームページが表示されますが、偽のホームページなのでカード番号などは一切入力しないでください。このような情報を入力するときは、電子メール上のアドレスをクリックしてホームページを開くのではなく、銀行など対象のホームページを自分で開き、そこで入力してください。

個人情報の管理について

インターネットを利用していると、ユーザー登録などを行うために名前や住所、あるいはクレジットカードの番号や銀行の口座番号などといった個人情報の入力を求められることがあります。このような情報を入力するときは、サービス提供者の個人情報管理方針や信用度などを確認してください。少しでも不審な点があれば入力をやめるなどの対応を取り、個人情報の公開には細心の注意を払ってください。

その他セキュリティについて

セキュリティやコンピュータウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。

ソニーでは、セキュリティやウイルスに関する最新情報を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。

VAIOカスタマーリンク ホームページ ウイルス・セキュリティ情報

http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html

また、セキュリティに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。

VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口

電話番号:（0466）30-3016

受付時間:

平日 10:00 ～ 21:00

土・日・祝日 10:00 ～ 17:00

増設する

メモリを取り付ける／はずす

メモリを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。

本機にはメモリモジュールを取り付けるスロットが2か所あり、最大2Gバイトまで増設することができます。
別売りのメモリモジュールを取り付けることにより、メモリを増設します。
2か所のスロットに同じ容量のメモリモジュールを装着すると、デュアルチャンネル転送モードになり、パフォーマンスが向上します。*

* デュアルチャンネル転送モード対応モデルのみ。対応モデルについては、「主な仕様」(148ページ)をご覧ください。

本機に搭載されているメモリの構成については、「主な仕様」(148ページ)をご覧ください。

メモリを増設するときのご注意

- メモリの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。
- ご自分でメモリの増設を行った場合には、内部コネクタの挿し忘れ、メモリの逆挿し、半挿しなどにより故障や事故を起こすことがあります。この場合の修理はすべて有償となります。
- メモリ増設の際は、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- メモリ増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- メモリ増設の際には、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリ増設の際に水などの液体や異物(ネジなどの金属物など)が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- 市販のメモリモジュールについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点はメモリモジュールの販売元にご相談ください。

ヒント

- メモリの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンク修理窓口までご連絡ください。
- 取り付けるメモリモジュールは、以下のサービスにて提供しています。以下のサービスのご利用にはMy Sony IDもしくはVAIOカスタマー IDが必要となります。

  VAIO カスタマイズサービス
  http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/Customize/
  本機をお預かりし、ソニーでメモリモジュールを増設したあとに返却するサービスです。

メモリを取り付けるには

!ご注意

- メモリモジュールの取り付けは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリモジュールを取り付けると、メモリモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。
- 静電気でメモリモジュールが破損しないように、メモリモジュールを取り付けるときは、次のことをお守りください。
  - 静電気の起こりやすい場所(じゅうたんの上など)では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
  - メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを持つときは半導体やコネクタに触れないようにしてください。
- メモリモジュールには、向きがあります。メモリモジュールのエッジコネクタの切り欠き部分とスロットのコネクタ(溝の内側)部分の突起の位置を正しく合わせてください。無理に逆向きにメモリモジュールをスロットに押し込むと、メモリモジュールやスロットの破損や基板からの発煙の原因となりますので特にご注意ください。

1 本機と周辺機器の電源を切り、ACアダプタおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずす。

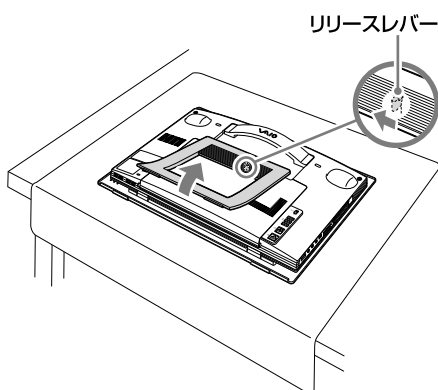
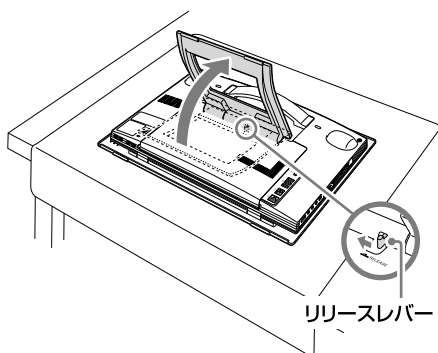
!ご注意

本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があります。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。

2 本機後面のカバーを取りはずす。

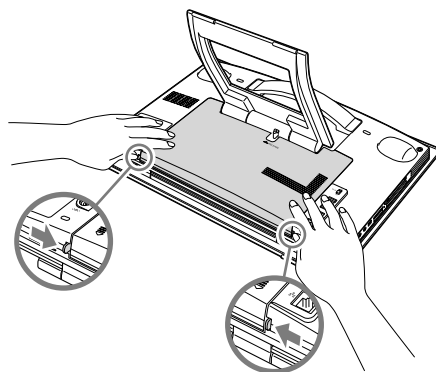
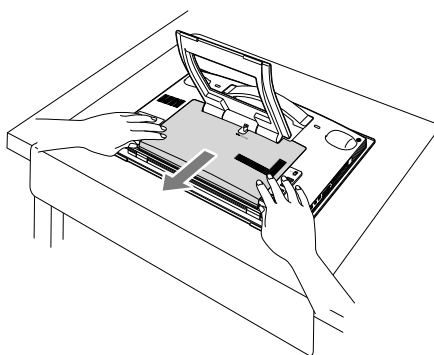
① ディスプレイ側を下に向けて寝かせ、スタンドを少し上げながらリリースレバーをずらす。

!ご注意

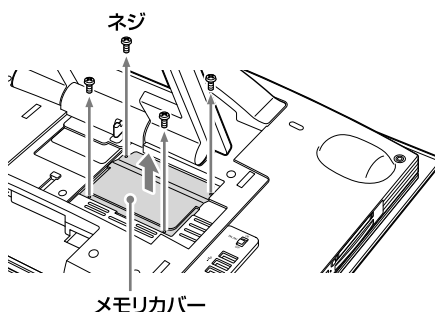
本機に傷がつかないように布などをしいてください。

② リリースレバーをずらした状態を維持しながらスタンドをほぼ垂直になる位置まで引き上げ、リリースレバーを放す。

③ リリースレバーがもとの位置に戻ったことを確認してスタンドを放す。

ヒント

リリースレバーがもとの位置に戻らない場合は、もう少しスタンドを引き上げて、リリースレバーがもとの位置に戻るかどうか確認してください。

④ 本機下部のつまみを内側に押す。

⑤ つまみを押したまま、カバーを手前にずらして取りはずす。

⑥ バッテリのロックレバーを内側（UNLOCK側）にずらしてバッテリを取りはずす。

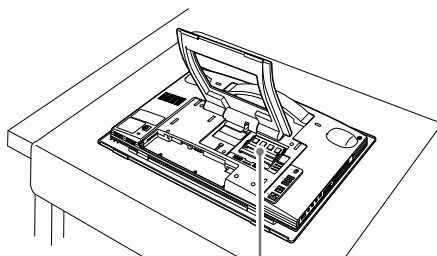
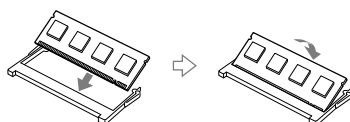
3 メモリカバーを取りはずす。

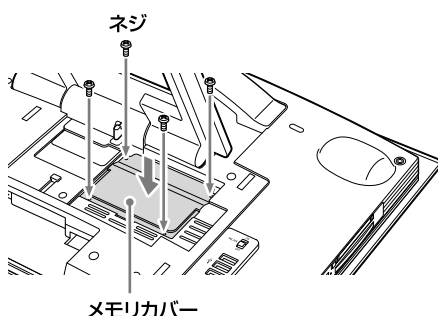
ネジをはずして、メモリカバーを取りはずします。

4 メモリモジュールを取り付ける。

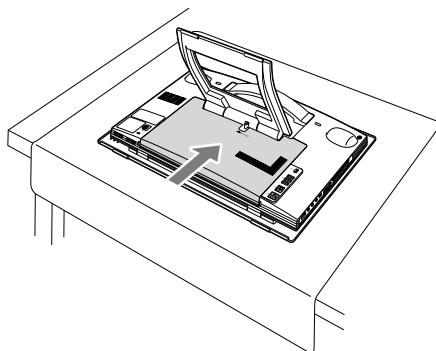
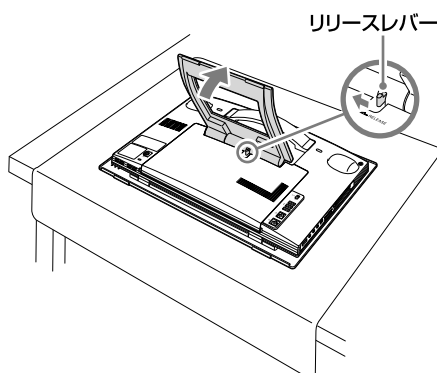
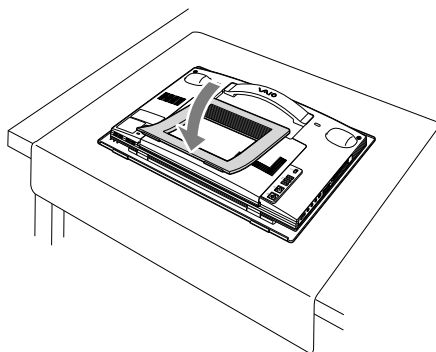
メモリモジュールにはエッジコネクタ部分の中央より右側に切り欠きがあります。

① メモリモジュールのエッジコネクタ部分を下にむけ、切り欠き部分をスロットの溝に合わせて、奥までしっかりと差し込む。

！ご注意
エッジコネクタ部分を傷つけないようにご注意ください。

② 「カチッ」と音がするまで、矢印の方向にメモリモジュールを倒す。
メモリモジュールの両端が固定されます。

！ご注意
メモリを取り付ける際は、内部に異物を落とさないようにしてください。故障の原因となります。

5 メモリカバーを元に戻し、ネジを留める。

6 本機後面のカバーを、取りはずしたときの逆の手順で取り付け、スタンドを元の位置に戻す。

① バッテリを取り付ける。
② カバーを取り付ける。

③ スタンドを少し引き上げながらリリースレバーをずらす。

④ リリースレバーをずらしたまま、スタンドをゆっくり下げる。

！ご注意
スタンドを元に戻すときは、リリースレバーを必ずずらしてください。

7 手順1で取りはずしたACアダプタと周辺機器を接続し、本機の電源を入れる。

メモリ容量を確認するには

メモリモジュールを取り付けた際は、以下の手順に従ってメモリ容量を確認してください。

1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[バイオの設定]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「バイオの設定」画面が表示されます。

2 [システム情報]をダブルクリックする。

3 [システム情報]をダブルクリックする。

「システム情報」画面が表示されます。

4 「システムメモリ」の項目が増設後のメモリ容量になっていることを確認する。

メモリの容量が正しければ、メモリの増設は完了しました。
メモリの容量が増えていないときは、本機の電源を切っていったんメモリモジュールを取りはずし、もう1度正しく増設の手順を繰り返してください。

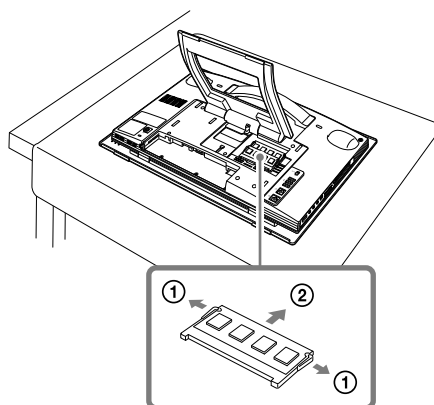
ここを確認する。

メモリを取りはずすには

次の手順でメモリモジュールをはずし、スロットからゆっくり抜き取ります。

！ご注意
本機に傷がつかないように布などをしいてください。

① メモリモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。

② メモリモジュールを矢印の方向に引き抜く。

！ご注意

- メモリモジュールの取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリモジュールを取りはずすと、メモリモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。
- 静電気でメモリモジュールが破損しないように、メモリモジュールを取りはずすときは、次のことをお守りください。
  - 静電気の起こりやすい場所（じゅうたんの上など）では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。
  - メモリモジュールを持つときは半導体やコネクタに触れないようにしてください。
  - メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

バックアップについて

バックアップとは

バックアップの必要性

バックアップとは、コンピュータに保存されたデータをコピーし、元のデータとは別の場所に保存することです。
本機を使用しているうちに、作成した文書ファイルやデジタルスチルカメラで撮った写真など様々なデータが保存されていきますが、予想外のトラブルやコンピュータウイルスの感染などによって保存されたデータが壊れてしまう可能性があります。
このような場合に、大切なデータを元に戻すことができるよう、日常的にデータをバックアップすることをおすすめします。

バックアップ方法

データのバックアップは「バックアップと復元センター」で行います。(72ページ)
バックアップ方法には用途に応じて以下の種類があります。

- **Windowsバックアップ**
  本機に保存したメールや写真などのデータをCDやDVD、外付けハードディスクなどにバックアップすることができます。
  Windowsバックアップの操作方法について詳しくは、「バックアップするには」(72ページ)をご覧ください。

- **Complete PC バックアップ(Windows Vista Ultimate ／ Business搭載モデル)**
  コンピュータ全体のバックアップをすることができます。Complete PC バックアップを使ってバックアップしておくとハードディスクや本機の調子が悪くなった場合に、バックアップ時の状態に復元することができます。
  Complete PC バックアップの操作方法について詳しくは、「Complete PC バックアップでバックアップするには」(73ページ)をご覧ください。

- **復元ポイント**
  新しいソフトウェアをインストールしたり、Windowsの設定を変更したりすると、本機の調子が悪くなる(反応が遅くなる、ソフトウェアが起動しなくなる)場合があります。
  そのような作業をする前に復元ポイントを設定しておくと、本機の調子が悪くなった場合に元に戻すことができます。復元ポイントについて詳しくは、「システムの復元ポイントを作成するには」(74ページ)をご覧ください。

ヒント

CD ／ DVDドライブが搭載されていない機種をお使いの場合、バックアップする際に外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブを用意するか、またはC:ドライブのパーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成する必要があります。

!ご注意

お買い上げ後はすぐにリカバリディスクを作成してください。
本機に不具合が生じ、Windows上の操作でデータをバックアップできない場合に、リカバリディスクにあるバックアップツールを使ってバックアップすることができます。
リカバリディスクの作成方法については、「リカバリディスクを作成する」(70ページ)をご覧ください。

リカバリディスクを作成する

リカバリディスクについて

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

リカバリには、リカバリディスクを使用する場合があります。リカバリディスクは本機に付属していないため、本機をお買い上げ後、必ず作成してください。
詳しくは、「リカバリする」(79ページ)をご覧ください。

!ご注意

下記のような操作を行った場合に、ハードディスクのリカバリ領域の情報を書き替えてしまい、リカバリ領域からリカバリができなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- VAIO リカバリユーティリティを使用しないでハードディスクをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリディスクによるリカバリが必要となりますが、リカバリディスクを作成していないと、リカバリディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリディスクを作成することをおすすめします。

リカバリディスクのご提供について(有償)

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。
「マイサポーター」からお申し込みいただけます。詳しくは下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/rdisc.html
*マイサポーターからお申し込みいただくにはVAIOカスタマー登録が必要です。(40ページ)

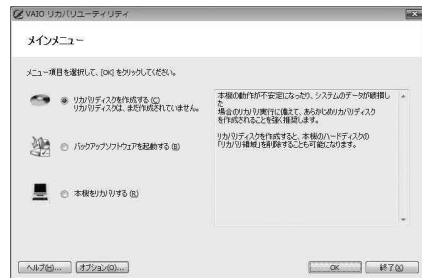
!ご注意

- 本機で作成したリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。
- 本機で作成したリカバリディスクを使うと、暗号化していないハードディスク上のデータを自由に操作することができます。ハードディスクのデータを保護したい場合は、パスワードを登録したり、ハードディスクの暗号化機能を使うなどして保護してください。

リカバリディスクを作成するには

本機を使用する準備ができたら、はじめに以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリツール]－[VAIO リカバリユーティリティ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「メインメニュー」画面が表示されます。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

2 [リカバリディスクを作成する]を選んでクリックし、[OK]をクリックする。

3 「リカバリディスク作成ウィザード」画面が表示されるので、内容をよく読んでから[次へ]をクリックする。

「ディスクの確認」画面が表示されます。
CD-RW/DVD-ROMドライブ搭載モデルをお使いの場合は、手順5へ進んでください。

4 使用するディスクを選択する。

ディスクの種類と必要なディスクの枚数は、「ディスクの確認」画面で確認できます。

!ご注意

- CD-Rではリカバリディスクを作成できない機種もあります。その場合はDVDをお使いください。
- Blu-ray Disc ／ DVD+RW ／ DVD-RW ／ DVD-RAMまたはCD-RWはリカバリディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。
  使用できるディスクについて詳しくは、「使用できるディスクとご注意」（158ページ）をご覧ください。

5 ［次へ］をクリックする。

「リカバリディスクの作成」画面が表示されます。

6 ［作成開始］をクリックする。

未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示され、リカバリディスクの作成が始まります。

ヒント

リカバリディスクの作成が2回目以降の場合は、ここでリカバリディスクを選択し、希望するリカバリディスクのみ作成することができます。

7 指示されたディスクをドライブに挿入し［OK］をクリックする。

「リカバリディスクの作成」画面に現在の作成状況が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。
ディスクへの書き込みが完了すると、ドライブからトレイが自動的に引き出されます。

8 ディスク作成完了のメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面（データが記録されていない面）に書き込み、［OK］をクリックする。

はじめてリカバリディスクを作成しているときは、すべてのリカバリディスクを作成するまで手順7、8を繰り返します。
リカバリディスクの作成がすべて完了すると、リカバリディスク作成が終了したメッセージが表示されます。

9 ［OK］をクリックする。

これでリカバリディスクの作成は終了です。

「バックアップと復元センター」を使う

「バックアップと復元センター」について

「バックアップと復元センター」を使うと、データのバックアップやバックアップデータの復元、復元ポイントの設定をすることができます。
「バックアップと復元センター」は次の手順で起動します。

1 （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[メンテナンス]ー[バックアップと復元センター]をクリックする。

「バックアップと復元センター」画面が表示されます。

（Windows Vista Ultimate ／ Business搭載モデルをお使いの場合）

（Windows Vista Home Premium ／ Home Basic搭載モデルをお使いの場合）

バックアップするには

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 [ファイルのバックアップ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「ファイルのバックアップ」画面が表示されます。

ヒント
「ファイルのバックアップ」画面が表示されない場合は、画面右下の通知領域に表示される[ファイル バックアップを実行中です]というメッセージをクリックしてください。

3 バックアップデータの保存先を選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント
バックアップデータの保存先は、以下の3種類から選択します。

- 外付けハードディスクドライブ（推奨）
- CDまたはDVD
- C:ドライブ以外のドライブ*

* 本機はお買い上げ時の設定では、1つのパーティション（C:ドライブ）のみになっています。別のパーティション（D:ドライブなど）に保存する場合は、C:ドライブのパーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成してください。（86ページ）
ただし、万一ハードディスクが故障した場合ドライブのデータは失われるので注意してください。

4 バックアップしたいファイルの種類にチェックをつけ、[次へ]をクリックする。

5 ［設定を保存しバックアップを開始］をクリックする。

バックアップが開始されます。

ヒント
スケジュールを設定すると設定した日時で自動的にファイルをバックアップすることができます。必要に応じてスケジュールを設定してください。

スケジュールを設定しない場合は、表示された状態のまま［設定を保存しバックアップを開始］をクリックし、次の手順に進んでください。

6 「バックアップと復元センター」画面で「ファイルのバックアップ」の下にある［設定の変更］をクリックする。

7 「自動バックアップは現在有効になっています。」の右側にある［無効にする］をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。

これで自動バックアップの機能が無効になります。バックアップの保存先と作成するファイルの種類の設定はそのまま保持されています。
以降、「バックアップと復元センター」画面で［ファイルのバックアップ］をクリックするだけでバックアップすることができます。

!ご注意
「SonicStage」ソフトウェアで管理している曲や、画像・情報などのデータは「バックアップと復元センター」ではバックアップできません。「SonicStage バックアップツール」を使ってバックアップしてください。
「SonicStage バックアップツール」の使いかたについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

バックアップからデータを復元するには

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 ［ファイルの復元］をクリックする。

「ファイルの復元」画面が表示されます。

3 復元したいバックアップデータの作成日を選択し、［次へ］をクリックする。

「古いバックアップのファイル」を選択した場合は、表示された画面の「日付と時刻」欄から復元したいバックアップファイルの日付を選択して、［次へ］をクリックしてください。

4 復元するバックアップデータを選択し、［次へ］をクリックする。

5 復元するバックアップデータの保存先を選択し、［復元の開始］をクリックする。

6 「ファイルは正常に復元されました。」と表示されたら、［完了］をクリックする。

Complete PC バックアップでバックアップするには

Complete PC バックアップはWindows Vista Ultimate ／ Business搭載モデルのみお使いになれます。
Complete PC バックアップを使うと、コンピュータ全体のバックアップをすることができます。
ハードディスクや本機の調子が悪くなった場合に、バックアップ時の状態に復元することができます。

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 ［コンピュータのバックアップ］をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。
「Windows Complete PC バックアップ」画面が表示されます。

3 バックアップの保存先を選択し、［次へ］をクリックする。

確認画面が表示されます。

4 内容をよく確認してから、[バックアップの開始]をクリックする。

バックアップが開始されます。

5 「バックアップは正常に完了しました。」と表示されたら[閉じる]をクリックする。

!ご注意

Complete PC バックアップはコンピュータ上のすべてのデータをバックアップするため、復元する際にファイルを選択することはできません。
また、Complete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更したファイルは復元されません。

Complete PC バックアップからデータを復元するには

Complete PC バックアップはWindows Vista Ultimate／Business搭載モデルのみお使いになれます。

!ご注意

- バックアップデータを外付けハードディスクドライブやCD／DVDドライブに保存した場合は、復元する前に再度外付けドライブを接続してください。
- データを復元する前に、Windowsバックアップを使って必要なファイルをバックアップしてください。
  システムの復元を行うと、システムファイルの変更が行われるため、ソフトウェアが正常に起動しないなど不具合が生じる可能性があります。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

ヒント

以下の手順でも行えます。

① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF8キーを押す。
③ 「詳細ブート オプション」画面が表示されるので、一番上の「コンピュータの修復」が選択されていることを確認して、Enterキーを押す。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント

F8キーから起動した場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを入力し、手順4へ進んでください。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

4 [Windows Complete PC 復元]をクリックする。

「Windows Complete PC Restore」画面が表示されます。
バックアップデータをCDやDVDに保存している場合は、ディスクをドライブに挿入してください。

5 復元するバックアップデータを選択し、[次へ]をクリックする。

6 表示された内容をよく読んでから、[完了]をクリックする。

7 確認画面が表示されるので、復元を実行する場合はチェックボックスにチェックを付け、[OK]をクリックする。

復元が完了すると自動的に再起動し、「システム回復オプション」のキーボード レイアウトの選択画面に戻ります。

システムの復元ポイントを作成するには

システムの復元とは

新しいソフトウェアをインストールしたり、Windowsの設定を変更したりすると、本機の調子が悪くなる（反応が遅くなる、ソフトウェアが起動しなくなる）場合があります。
そのような作業をする前に復元ポイントを設定しておくと、本機の調子が悪くなった場合に元に戻すことができます。

ヒント

復元ポイントは自動的に作成されますが、手動で作成することもできます。
ソフトウェアやドライバをインストールするときは、念のためインストールする前に手動で復元ポイントを作成することをおすすめします。

システムの復元ポイントを手動で作成する

1 **「バックアップと復元センター」を起動する。**

2 **画面左側の「タスク」から[復元ポイントの作成または設定の変更]をクリックする。**

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

3 **[システムの保護]タブをクリックする。**

4 **「自動復元ポイント」で復元ポイントを作成したいドライブのチェックボックスにチェックを付け、[作成]をクリックする。**

復元ポイントの作成画面が表示されます。

5 **復元ポイントを識別するための説明を入力し、[作成]をクリックする。**

6 **「復元ポイントは正常に作成されました」と表示されたら、[OK]をクリックする。**

「自動復元ポイント」の「最新の復元ポイント」の日時が更新されます。

システムの復元ポイントから復元するには

!ご注意

「SonicStage」ソフトウェアを使用している場合、大切な曲データの消失を防ぐために、システムの復元をする前にあらかじめ「SonicStage バックアップツール」を使って曲データをバックアップしてください。
システムの復元をすると、曲のデータベースの管理情報に不整合が生じ、それまでに録音あるいは取り込んだ曲データのすべてが再生できなくなる場合があります。
システムの復元をしたあとに「SonicStage バックアップツール」で曲データを復元することで、保存した曲データが再生できるようになります。
「SonicStage バックアップツール」の使いかたについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

❑ Windowsが起動する場合は

1 **「バックアップと復元センター」を起動する。**

2 **画面左側「タスク」から[復元ポイントの作成または設定の変更]をクリックする。**

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

3 **[システムの保護]タブをクリックする。**

4 **[システムの復元]をクリックする。**

「システムの復元」画面が表示されます。

5 **復元させたい日時の復元ポイントを選択して、[次へ]をクリックする。**

復元ポイントの確認画面が表示されます。

6 **内容をよく確認して[完了]をクリックする。**

7 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。

システムの復元が行われ、本機が再起動します。

8 完了画面が表示されるので、[閉じる]をクリックする。

❑ Windowsが起動しない場合は

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

ヒント

以下の手順でも行えます。

① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF8キーを押す。
③「詳細ブート オプション」画面が表示されるので、一番上の「コンピュータの修復」が選択されていることを確認して、Enterキーを押す。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント

F8キーから起動した場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを入力し、手順4へ進んでください。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

ヒント

Windowsバックアップを使ってバックアップをした後に変更されたファイルについては、VAIO データレスキューツールを使ってバックアップしてください。(83ページ)

4 [システムの復元]をクリックする。

「システムの復元」画面が表示されます。
あとの操作は「Windowsが起動する場合は」の手順5以降の操作と同じです。

リカバリ（再セットアップ）

本機の動作が不安定になったり、反応が遅くなったりした場合は、以下のような原因が考えられます。

- コンピュータウイルスに感染した
- Windowsの設定を変更した
- 本機で動作の保証がされていないソフトウェアやドライバをインストールした

このような場合には、次の流れに従って本機の復旧を試みてください。

本機の調子が悪くなったときは

Windowsが起動する場合

Windowsが起動しない場合は「Windowsが起動しない場合」をご覧ください。（78ページ）

手順1
リカバリディスクを作成していない場合は、作成する。（70ページ）

手順2
必要なファイルのバックアップをとる。（72ページ）

手順3
以下のいずれかを実行してみる。

- システムの復元をする。（75ページ）
  本機の調子が悪くなる前の最新の復元ポイントを使って、システムの復元をしてください。
- ソフトウェアやドライバをインストール後に本機の調子が悪くなった場合は、インストールしたソフトウェアやドライバをアンインストールする。
- 以前にCompletePC バックアップを使ってバックアップをしていた場合は、バックアップデータを復元する。（Windows Vista Ultimate ／ Business搭載モデル）（74ページ）

  Complete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更されたファイルは復元されません。

手順4
それでも本機の調子が悪い場合は、リカバリする。（80ページ）

！ご注意
リカバリすると、ハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいますのでご注意ください。

Windowsが起動しない場合

Windowsが起動しないときは、次の流れに従って操作します。

手順1
以下のどちらかを実行してみる。

- システムの復元をする。（75ページ）
  本機の調子が悪くなる前の最新の復元ポイントを使ってシステムの復元をしてください。
- 以前にCompletePC バックアップを使ってバックアップしていた場合は、バックアップデータを復元する。（Windows Vista Ultimate ／ Business搭載モデル）（74ページ）
  Complete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更されたファイルは復元されません。最後にComplete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更または作成されたファイルについては、VAIO データレスキューツールでバックアップしてください。（83ページ）

それでもWindowsが起動しない場合は、さらに次の流れに従ってリカバリする必要があります。

手順2
データをバックアップしていなかった場合は、VAIO データレスキューツールで必要なファイルをバックアップする。（83ページ）
本機の調子が悪くなる前にWindowsバックアップを使ってバックアップをしていて、その後に変更または作成されたファイルで必要なファイルがある場合は、VAIO データレスキューツールでバックアップしてください。

手順3
「VAIO ハードウェア診断ツール」でハードウェアを検査する。
「VAIO ハードウェア診断ツール」は、リカバリを行う前にハードウェア（CPU、メモリ、ハードディスクドライブ）の検査を行い、交換が必要かどうかを確認するソフトウェアです。
詳しくは「VAIO ハードウェア診断ツール」をご覧ください。

手順4
リカバリする。（82ページ）

リカバリする

リカバリとは

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

本機は、リカバリディスクを使用しなくても、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリすることができます。

リカバリ領域とは

リカバリ領域とは、リカバリを行うための「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」に必要なデータがおさめられているハードディスク内の領域のことです。
通常のご使用ではリカバリ領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリ領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリできなくなる場合があります。

!ご注意

- リカバリで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです(一部のソフトウェアを除く)。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
  付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
  ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。
- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクのリカバリ領域を使ってリカバリしたり、リカバリディスクの作成が行えなくなることがあります。
  そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらすぐにリカバリディスクを作成してください。(70ページ)

リカバリ前に確認してください

- 本機をリカバリした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。
- 本機に接続しているすべての周辺機器をはずし、ACアダプタのみを接続してから、作業を行ってください。周辺機器は、リカバリが終わったあとに再び接続してください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリ後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリ後に、もう一度設定し直してください。
- リカバリする際は、必ず「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」の両方のリカバリを行ってください。
  「アプリケーションリカバリ」を行わずにリカバリを完了すると、本機の動作が不安定になる場合があります。
- パスワードを登録している場合、パスワードを忘れるとリカバリができなくなります。パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
  万一パスワードを忘れてしまったときは、修理(有償)が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

Windowsからリカバリするには

Windowsからリカバリするには、以下の手順で操作します。

Windowsが起動しない場合には「Windowsが起動しない状態でリカバリするには」(82ページ)をご覧ください。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO リカバリツール]ー[VAIO リカバリユーティリティ]をクリックする。

「メインメニュー」画面が表示されます。

2 [本機をリカバリする]を選んでクリックし、[OK]をクリックする。

ヒント

Windowsバックアップを使ってバックアップする場合は、[バックアップソフトウェアを起動する]を選択し、[OK]をクリックしてください。

3 [はい]をクリックする。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

4 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

5 [C: ドライブをリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

ヒント

- C:ドライブ以外にご自分で新しくドライブを作成している場合、C:ドライブ以外に保存されているデータは残ります。(86ページ)
- [パーティションサイズを変更してリカバリする]を選択する場合は、「パーティションを作成する」(86ページ)をご覧ください。
- [お買い上げ時の状態にリカバリする]を選択すると、現在のパーティションとその中のデータをすべて消去し、本機のハードディスクをお買い上げ時の状態に戻します。リカバリ領域を復元したい場合や、パーティションの構成を元に戻したい場合に選択してください。

6 内容をよく読んでから、[リカバリ開始]をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

7 [はい]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。

リカバリを中止するときは、リカバリ開始確認画面で[いいえ]をクリックし、続いて「リカバリ設定の確認」画面で[キャンセル]をクリックします。

ヒント

リカバリ作業には、数十分かかる場合があります。

8 「「システムリカバリ」が完了しました。」と表示されたら[OK]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示されます。

9 [再起動]をクリックする。

本機が再起動し、「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。

!ご注意

「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

10 「本機をセットアップする」内「Windowsを準備する」（31ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

11 「「アプリケーションリカバリ」を行います」画面が表示されたら、[OK]をクリックする。

自動的にアプリケーションソフトウェアのリカバリが始まります。
リカバリ実行中、ディスクを入れ替えるメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。

Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007がプリインストールされていないモデルをお使いの場合は、アプリケーションソフトウェアのリカバリが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動してください。

Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合は引き続き、次の手順を行ってください。

12 インストール開始画面が表示されるので、Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007をインストールする。

① Office Personal 2007 CDまたはOffice Professional 2007 CDをドライブに入れる。
② 表示される「自動再生」の画面で[SETUP.EXEの実行]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
③ 画面の指示に従って進み、「インストールの種類を選択してください」画面が表示されたら、[ユーザー設定]をクリックする。
「Microsoft Office プログラムの実行方法を設定してください」画面が表示されます。
④ 「Microsoft Office」の左側にあるアイコンをクリックし、表示されたメニューから[マイ コンピュータからすべて実行]をクリックする。
⑤ [今すぐインストール]をクリックする。
インストールが開始されます。
⑥ インストールが完了したら、[閉じる]をクリックする。

ヒント

Office Personal 2007 with PowerPoint 2007プリインストールモデルをお使いの場合は、Office Personal 2007のインストール完了後ドライブからディスクを取り出し、インストール開始画面の[OK]をクリックしてください。Office PowerPoint 2007のインストール開始画面が表示されるので、Office PowerPoint 2007 CDをドライブに入れ、上記と同じ手順でインストールしてください。

13 インストール開始画面の[OK]をクリックする。

引き続き、自動的に残りのアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。

14 アプリケーションソフトウェアのリカバリが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動する。

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
バックアップデータの復元方法について詳しくは、「バックアップからデータを復元するには」（73ページ）をご覧ください。

Windowsが起動しない状態でリカバリするには

Windowsが完全に起動しないときは、以下の手順に従って本機をリカバリします。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

ヒント
リカバリディスクを作成していない場合は、以下の手順で行ってください。
① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。
「Edit Boot Options」画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
③ 手順5に進む。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

4 [VAIOリカバリユーティリティ]をクリックする。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

5 [次へ]をクリックする。

リカバリを行う前の確認画面が表示されます。

ヒント
バックアップしたいデータがある場合は、[VAIO データレスキューツール]をクリックし、バックアップしてください。(83ページ)

！ご注意
[VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスクドライブ)の検査を行うことができます。
ハードウェアの検査を行わない場合は、[VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックせず、[次へ]をクリックしてください。
詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([ソフトウェアの使いかた]－[ソフト紹介／問い合わせ先]－[本機に付属されているソフトウェア]－[VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックする。)

6 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

7 「Windowsからリカバリするには」(80ページ)の手順4以降の操作を行う。

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
VAIO データレスキューツールでバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする」の復元方法をご覧ください。(84ページ)

VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする

VAIO データレスキューツールとは

VAIO データレスキューツールは、Windowsが起動しなくなった場合にも、データのバックアップができるツールです。
データのレスキュー方法には以下の2種類があります。

- かんたんデータレスキュー
  ハードディスク上のレスキュー可能なデータをすべてレスキューし、外付けハードディスクに保存します。
- カスタムデータレスキュー
  指定したファイルのみをレスキューし、ハードディスクやリムーバルメディア、CD ／ DVDなどのディスクに保存します。

VAIO データレスキューツール使用時のご注意

- レスキューデータの保管・管理には十分注意してください。
- VAIO データレスキューツールは、ハードディスク上のすべてのデータのバックアップを保障するものではありません。データの損失について弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ハードディスクの暗号化機能を使用している場合は、暗号化機能を解除して使用してください。
- VAIO データレスキューツールを使用する場合は、必ず電源に接続して使用してください。

レスキュー(バックアップ)するには

!ご注意

- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブでデータをレスキューする場合は、VAIO データレスキューツールを起動する前にドライブを接続してください。
- レスキューデータをCDやDVDに保存する場合は、あらかじめフォーマットされているディスクを使用してください。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

ヒント

以下の手順でも行えます。

① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF8キーを押す。
③ 「詳細ブート オプション」画面が表示されるので、一番上の「コンピュータの修復」が選択されていることを確認して、Enterキーを押す。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント

F8キーから起動した場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを入力し、手順4へ進んでください。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

4 [VAIOリカバリユーティリティ]をクリックする。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

5 [VAIO データレスキューツール]をクリックする。

以降、表示される画面の指示に従って操作してください。

ヒント

レスキュー方法で、[カスタムデータレスキュー]を選択した場合、データの保存先として外付けハードディスクを選択することをおすすめします。

!ご注意

- VAIO データレスキューツールを使用中に64時間が経過すると、自動的に書き込みが中断され、本機が再起動します。
  中断された作業を再開するには、再起動後再び上記の手順2から5の操作を行い、「中断した作業を再開する」チェックボックスにチェックを付けて、[次へ]をクリックしてください。
- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブは、データのレスキューが完了するまで取りはずさないでください。
- “メモリースティック”やSDメモリーカード、フラッシュメモリなどのメディアにデータを保存する場合、ドライバの読み込みが必要になります。ドライバはリカバリディスクの「VAIO」フォルダに保存されています。データの保存先の選択画面で[ドライバのインストール]をクリックし、ドライバの読み込みを行ってください。
- データをレスキューした場合、選択されたデータの保存先によって、ファイルが分割されたりリネームされている場合があるので、VAIO データレスキューツールを使ってバックアップしたデータは、VAIO データリストアツールを使って復元してください。
- VAIO データレスキューツールでは、データの保存先としてDVD-R DLはお使いになれません。
- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブはUSBまたはi.LINK接続のものをお使いください。

復元するには

レスキューデータを復元するにはVAIO データリストアツールを使います。
VAIO データリストアツールとレスキューデータの復元方法について詳しくは、VAIO データリストアツールのヘルプをご覧ください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO データリストアツール]－[VAIO データリストアツール]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「VAIO データリストアツール」画面が表示されます。

2 内容を確認したら、[次へ]をクリックする。

レスキューデータの検索画面が表示されます。

3 レスキューデータの検索先を選択し、[次へ]をクリックする。

レスキューデータが検索されます。

4 表示された一覧から復元するデータを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント

[内容の確認]をクリックすると、選択しているデータに含まれるフォルダやファイルの一覧を確認することができます。

5 復元先のフォルダを確認し、[次へ]をクリックする。

「復元方法の選択」画面が表示されます。

6 復元方法を選択して[次へ]をクリックする。

復元方法には以下の2種類があります。

- おまかせリストア
  メールデータや文書データなど、データの種類を選択して、まとめて復元します。
- ファイルを指定してリストア
  ファイルを個別に指定して復元します。

7 [開始]をクリックする。

復元作業が開始されます。
作業が完了すると、完了画面が表示されます。

8 続けて別のレスキューデータの復元をするには[最初の画面に戻る]を、復元を終了するには[終了]をクリックする。

!ご注意

「SonicStage」ソフトウェアで取り込んだ音楽ファイルや、ワンセグデータ、デジタル放送のデータなど、著作権保護されているデータを復元するには、そのデータを取り込んだときに使用したソフトウェアの専用バックアップツールをお使いください。専用バックアップツールをお使いにならない場合は、著作権保護されているデータの動作保障はいたしません。

ヒント

復元したデータは、必要に応じて復元先フォルダから移動してお使いください。

Windows メールをバックアップする／復元するには

ここではVAIO データレスキューツールの使用例として、Windows メールのメールデータのバックアップと復元方法を紹介します。

Windows メールのメールデータをバックアップする

1 VAIO データレスキューツールを起動させる。(83ページ)

2 画面の指示に従って、「レスキューデータの選択」画面まで進む。

ヒント

データレスキュー方法は、「カスタムデータレスキュー」を選んでください。

3 [Users]－[VAIO(ユーザー名)]－[AppData]－[Local]－[Microsoft]－[Windows Mail]をクリックし、[Local Folders]チェックボックスをクリックしてチェックする。

4 [次へ]をクリックする。

以降、画面の指示に従ってバックアップしてください。

Windows メールのバックアップを復元する

1 (スタート)ボタン−[すべてのプログラム]−[Windows メール]をクリックする。

Windows メールが起動します。
メールアカウントの設定をしていない場合は、設定してください。

2 [ファイル]−[インポート]−[メッセージ]をクリックする。

「プログラムの選択」画面が表示されます。

3 「インポート元の電子メールの形式を選択してください」から、[Microsoft Windows メール 7]を選択し、[次へ]をクリックする。

「メッセージの場所」画面が表示されます。

4 [参照]をクリックすると「フォルダの参照」画面が表示されるので、電子メールのデータが保存されているフォルダを選択して[OK]をクリックし、[次へ]をクリックする。

「フォルダの選択」画面が表示されます。

ヒント
VAIO データレスキューツールでメールデータをバックアップしていた場合は、[参照]をクリックして[Local Folders]を選択してください。

5 [すべてのフォルダ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「インポートの完了」画面が表示されます。

6 [完了]をクリックする。

「Windows メール」画面の左側に「インポートされたフォルダ」が作成されるので、フォルダ内のメールを元の状態に振り分けてください。

パーティションサイズの変更

パーティションサイズの変更について

パーティションとはハードディスクの領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクが複数台のハードディスクと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。

本機はお買い上げ時の設定では、1つのパーティション(C:ドライブ)のみになっています。別のパーティション(D:ドライブなど)にデータを保存したい場合は、パーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成してください。

パーティションを作成する

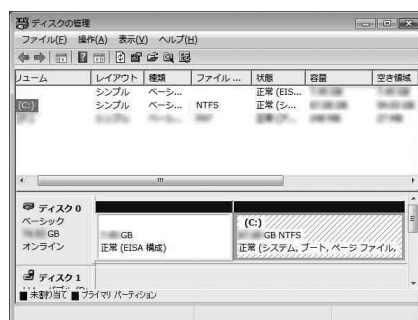
パーティションの作成方法には、以下の2種類があります。

- Windows上の操作で作成する
- リカバリディスクを使って作成する

!ご注意
リカバリディスクを使ってパーティションの作成を行うには、本機をリカバリする必要があります。
リカバリすると、ハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいますのでご注意ください。

❑ Windows上の操作で作成する

1 (スタート)ボタン−[コントロール パネル]−[システムとメンテナンス]−「管理ツール」の[ハードディスク パーティションの作成とフォーマット]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「ディスクの管理」画面が表示されます。

2　C:ドライブを右クリックして、[ボリュームの圧縮]をクリックする。

「C: の圧縮:」画面が表示されます。

3　圧縮する領域のサイズを設定して、[圧縮]をクリックする。

「ディスクの管理」画面で、「ディスク」に「未割り当て」が追加されます。

ヒント

本機をある程度の期間ご使用の場合は、ハードディスク上のデータが分散しているため「未割り当て」の空き領域が小さくなります。その際は、デフラグすることをおすすめします。（(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[システム ツール]－[ディスク デフラグ ツール]をクリックする。）

4　「未割り当て」を右クリックし、[新しいシンプル ボリューム]をクリックする。

「新しいシンプル ボリューム ウィザード」画面が表示されます。

5　画面に従ってサイズやドライブ名の設定を行い、ウィザードを完了させる。

ウィザードを完了させるとフォーマットが始まり、新しくパーティションが作成されます。

❑ リカバリディスクを使って作成する

1　本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

2　キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

3　オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

4　[VAIOリカバリユーティリティ]をクリックする。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

5　[次へ]をクリックする。

6　[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

7　[パーティションサイズを変更してリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

ハードディスクのデータを完全に消去する

本機ではVAIO データ消去ツールを使ってハードディスクのデータを完全に消去することができます。

!ご注意

- VAIO データ消去ツールはハードディスク上のすべてのデータを消去します。本機を廃棄あるいは第三者に譲渡する場合のみお使いください。
- VAIO データ消去ツールを使うには、リカバリディスクの作成が必要です。
  リカバリディスクを作成していない場合は、リカバリディスクを作成してください。（70ページ）
- VAIO データ消去ツールを使用中に71時間が経過すると自動的にコンピュータが再起動します。データの消去中に71時間が経過した場合は、自動的に作業が中断され本機が再起動します。本機が再起動したあとに、再びツールを起動すれば中断されたところから作業が再開できます。
- VAIO データ消去ツールを使用する場合は、必ず電源に接続して使用してください。

1 必要なファイルをバックアップする。

ヒント

- Windowsが起動する場合は、Windowsバックアップを使ってバックアップしてください。（72ページ）
- Windowsが起動しない場合は、リカバリディスクからVAIO データレスキューツールを起動してバックアップを行い（83ページ）、バックアップ完了後に［終了］をクリックして本機が再起動したら、手順3へ進んでください。

2 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

3 キーボード レイアウトを選択し、［次へ］をクリックする。

4 オペレーティング システムを選択し、［次へ］をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

5 ［VAIOリカバリユーティリティ］をクリックする。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

6 ［VAIO データ消去ツール］をクリックする。

VAIO データ消去ツールの説明画面が表示されます。

7 内容をよく読んでから、［次へ］をクリックする。

8 制限事項や準備の説明内容をよく読んだら、［次へ］をクリックする。

9 内蔵ハードディスク一覧からデータ消去するハードディスクにチェックをつけ、［次へ］をクリックする。

10 データの消去方式を選択し、［次へ］をクリックする。

11 データ消去するハードディスクを確認し［はい、一覧に表示されている内蔵ハードディスクのデータを消去します。］のチェックボックスをクリックしてチェックし、［次へ］をクリックする。

12 再度、［はい、一覧に表示されている内蔵ハードディスクのデータを消去します。］のチェックボックスをクリックしてチェックし、［消去開始］をクリックする。

ハードディスクのデータの消去が開始されます。

13 消去終了の確認画面が表示されたら、［OK］をクリックする。

本機の電源が切れます。

困ったときはどうすればいいの？

本機操作中に困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次のいずれかの方法で解決方法をご確認ください。また、メッセージなどが表示されている場合は、お問い合わせ時のために、書き留めておいてください。

1 取扱説明書（本書）で調べる

「よくあるトラブルと解決方法」（92ページ）をご覧ください。

パソコンが動作しないときは、まず取扱説明書（本書）をご覧ください。
パソコンが動作するときは、「バイオ電子マニュアル」からも調べられます。

2 電子マニュアルで調べる

「バイオ電子マニュアル」の[Q&A集]をご覧ください。

見るには

（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[バイオ電子マニュアル]をクリックしてください。

ハードウェアの簡易診断について

ハードウェア診断ツールでも、ハードウェアをチェックできます。起動するには、（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[ハードウェア診断ツール]－[ハードウェア診断ツール]をクリックしてください。

Windowsの使いかたや疑問について

「Windows ヘルプとサポートを見る」（109ページ）をご覧ください。

3 インターネットで調べる

「VAIOカスタマーリンクホームページ」で確認できます。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

インターネットに接続できるときは、「VAIOカスタマーリンク」で、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ最新の情報やサービスを調べられます。
詳しくは、「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」（110ページ）をご覧ください。

4 電話で問い合わせる

1 ～ 3の方法でも問題が解決しない場合は、下記のいずれかにお問い合わせください。

VAIOカスタマーリンク
（0466）30-3000

初心者ダイヤル
（0466）30-4323
※2008年6月末日まで有効

平日：10時～ 21時、
土、日、祝日：10時～ 17時

初心者ダイヤルは、初心者が理解しやすいよう、専任オペレータがやさしい用語で丁寧に説明する窓口です。
バイオカスタマー登録済みのお客様で、登録された電話番号の発信者番号通知を有効に設定している場合、直接オペレータにつながります。
詳しくは、「電話で問い合わせる」（123ページ）をご覧ください。

ソフトウェアの使いかたや疑問について

本機に付属のソフトウェアの場合、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」（134ページ）をご覧のうえ、各ソフトウェアのお問い合わせ先に問い合わせてください。
本機に付属していないソフトウェアの場合、それぞれのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発およびサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

よくあるトラブルと解決方法

Q&A一覧

この説明書に掲載されているQ&Aは以下になります。

❑ 電源／起動（95ページ）

- 電源が入らない（本機の電源ランプが点灯しないとき）
- 電源を入れると、本機の電源ランプは点灯するが、画面に何も表示されない
- 電源が入らない、または電源ボタンが効かない（（バッテリ）ランプがすばやく点滅している）
- 電源が切れない
- 電源が勝手に切れた
- 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう
- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない
- ドライバをインストール、バージョンアップしたらWindowsが起動しなくなった
- スリープモードに移行できない

❑ パスワード（98ページ）

- Windowsのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった
- パワーオン・パスワード（BIOSセットアップ画面で設定した起動時のパスワード）を忘れてしまった

❑ 画面／ディスプレイ（99ページ）

- 画面に何も表示されない
- 画面の色がきれいに表示されない
- 画面が固まって動かない
- 画面が暗い
- 画像が乱れる
- 画面に輝点・滅点（黒点）がある

❑ 文字入力／キーボード（100ページ）

- 文字の入力方法がわからない
- キーボードを押したとおりに文字が入力できない
- Caps Lock、NumLkなどのキーが有効になっているかどうか知りたい

❑ タッチパッド（101ページ）

- タッチパッドが使えない
- タッチパッドを無効にしたい
- タッチパッドに触れただけでクリックしてしまう
- タッチパッドをなぞっただけで、ウィンドウが閉じてしまう
- タッチパッドをなぞっただけで、Webブラウザなどを使用中に別のページに移動してしまう
- タッチパッドを動かしてもポインタが動かない
- 画面上のすべてのものが動かない

❑ ハードディスク(103ページ)

- 誤ってハードディスクを初期化してしまった
- ハードディスクの内容を誤って消してしまった
- ハードディスクから異音がする

❑ CD ／ DVDドライブ(104ページ)

- CD ／ DVD メディアの読み込み・再生ができない、ドライブがメディアを認識しない

❑ 外部機器からの録画(104ページ)

- DV(デジタルビデオ)機器の映像を録画する方法がわからない
- HDV機器からキャプチャされたファイルがシーンの途中で分割されてしまう
- HDV機器へ出力した映像が途切れたり、乱れたりする

❑ FeliCaポート(FeliCa対応リーダー／ライター)(105ページ)

- FeliCa機能が使えない

❑ 内蔵カメラ(MOTION EYE)(106ページ)

- 内蔵カメラ(MOTION EYE)を使用中にスリープモードに移行すると、本機の動作が不安定になる

❑ エラーメッセージ(106ページ)

電源投入時のエラーメッセージ

- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

その他のQ&A

ここに紹介した以外にも多くのQ&Aが記載されている「バイオ電子マニュアル」もあわせてご覧ください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[バイオ電子マニュアル]をクリックする。

「バイオ電子マニュアル」画面が表示されます。

2 [Q&A集]をクリックする。

表示されたメニューから見たい項目をクリックして、各項目の情報をご覧ください。

電源／起動

Q 電源が入らない（本機の電源ランプが点灯しないとき）

次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A 本機の電源コードがしっかり電源コンセントに差し込まれているか確認してください。
接続について詳しくは、「接続する」（28ページ）をご覧ください。

A すべてのケーブルがしっかり接続されているか確認してください。
接続について詳しくは、「接続する」（23ページ）をご覧ください。

A スイッチ付きテーブルタップなどに本機の電源コードをつないでいるときは、スイッチが入っているかどうか、また、テーブルタップのコードが壁の電源コンセントにしっかり差し込まれているか確認してください。

A 電源コードやLANケーブルなど本機に接続されているケーブルやバッテリをすべてはずし、5分以上たってから再び接続し、電源を入れてください。

A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 電源を入れると、本機の電源ランプは点灯するが、画面に何も表示されない

A キーボードが閉じている状態で、前回使用時にSoundFLOWが起動していた場合は、SoundFLOWが起動されるまでの間は画面が表示されません。
故障ではないので、しばらくお待ちください。または、キーボードを開いてみてください。

A MONITOR OFF（モニター OFF）ランプがオレンジ色に点灯している場合は、MONITOR OFF（モニター OFF）ボタンを押して画面を表示させてください。
MONITOR OFF（モニター OFF）ランプが点灯してる間は画面は表示されません。MONITOR OFF（モニター OFF）ボタンを押し、ランプが消えていることを確認してください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の電源ボタンを4秒以上押したままにし、電源ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押したままにし、電源ランプが消灯するのを確認したあと、電源コードやLANケーブルなど本機に接続されているケーブルやバッテリなどをすべてはずし、5分以上たってから再び接続し、再度電源を入れ直す。

Q 電源が入らない、または電源ボタンが効かない（ （バッテリ）ランプがすばやく点滅している）

A バッテリが正しく装着されていない可能性があります。
いったんバッテリを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。

A 上記の操作を行っても電源が入らない、または電源ボタンが効かない場合は、装着されているバッテリは本機では使用できません。
バッテリを取りはずしてください。

Q 電源が切れない

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A 使用中のソフトウェアをすべて終了してから、再び電源を切る操作をしてください。

A PCカードをお使いの場合は、PCカードを取り出してから、再び電源を切る操作をしてください。

A プリンタやUSB機器などの周辺機器を接続している場合やネットワークを使用している場合には、それらを使用しない状態にしてから電源を切る操作を行ってください。
Windowsは、周辺機器やネットワークと通信を行っている間は、電源が切れないしくみになっています。

A 新しくインストールしたソフトウェアやデータ、その操作などを確認してください。

A （スタート）ボタン－ ボタン－［シャットダウン］をクリックしても電源が切れない場合は、Altキーを押しながらF4キーを数回押して「Windowsのシャットダウン」画面を表示させ、リストから［シャットダウン］を選択して［OK］をクリックしてください。

A 画面が固まったり、動かなくなった場合は、Ctrlキーと Altキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の （シャットダウン）ボタンをクリックしてください。
詳しくは、「画面が固まって動かない」（99ページ）をご覧ください。

A 「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作をしてください。

① Enterキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。
② それでも電源が切れない場合は、Ctrlキーと Altキーを押しながらDeleteキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。
③ それでも電源が切れない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押したままにして、電源ランプが消灯するか確認する。

Q 電源が勝手に切れた

A バッテリで本機を使用中にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。
ACアダプタで使用するか、バッテリを充電してください。

Q 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう

A バッテリが正しく装着されていない可能性があります。
本機の電源が切れたあと、いったんバッテリを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。

A 上記の操作を行っても同様のメッセージが表示される場合は、装着されているバッテリは本機では使用できません。
本機の電源が切れたあと、バッテリを取りはずしてください。

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

A 「Non-System disk or disk error. Replace and strike any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「BOOTMGR is missing. Press Ctrl+Alt+Del to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。
フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 「Operating System not found」と表示される場合、フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。
起動ディスク以外のフロッピーディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してからCtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動してください。
再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリしてください（86ページ）。

A 「CMOS Checksum Bad」と表示される場合、本機内のバッテリが消耗しているため、バッテリを交換する必要があります。
バッテリの交換については、VAIOカスタマーリンク修理窓口へお問い合わせください。

A 「CMOS Checksum Error」と表示される場合、BIOSの設定内容が壊れている可能性があります。
次の手順でBIOSをお買い上げ時の設定に戻してください。

1. 本機の電源ボタンを押し、画面に「VAIO」のロゴが表示されたら、キーボードのF2キーを押す。
   BIOSセットアップメニューが起動し、「PhoenixBIOS Setup Utility」画面が表示されます。
2. F9キーを押す。
   「Load default configration now?」というメッセージが表示されます。
3. ←または→キーを押して［Yes］を選び、Enterキーを押す。
4. F10（Save and Exit）キーを押す。
   「Save configration changes and exit now?」というメッセージが表示されます。
5. ←または→キーを押して［Yes］を選び、Enterキーを押す。
   変更された設定が保存され、BIOSセットアップメニューが終了し、Windowsが起動します。

Q ドライバをインストール、バージョンアップしたらWindowsが起動しなくなった

A 次の手順に従ってSafe（セーフ）モードで起動し、ドライバを再インストールしてください。

1. 本機の電源ボタンを押し、画面に「VAIO」のロゴが表示されたら、キーボードのF8キーを押す。
2. 「Windows拡張オプションメニュー」が表示されたら、↑／PgUpキーまたは↓／PgDnキーを押して［セーフモード］を選択し、Enterキーを押す。
3. Windowsが起動したら、（スタート）ボタン－［コントロールパネル］－［システムとメンテナンス］－［デバイスマネージャ］をクリックする。
4. 「デバイスマネージャ」画面で、インストールやアップデートをしたデバイスを選択し、右クリックすると表示されるリストの［プロパティ］をクリックしてプロパティ画面を表示し、［ドライバ］タブをクリックする。
5. ［ドライバを元に戻す］をクリックし、正常に起動していたときのドライバをインストールする。
6. 本機を通常の起動方法で再起動する。

Q スリープモードに移行できない

A SoundFLOWの起動中は、「電源オプション」画面の「プラン設定の編集」画面で設定したタイマーでのスリープモードへの移行はできません。

A モデム通信やプリンタユーティリティなどが使用中の場合は、終了するか一時的に使用不可にしてください。

A スクリーンセーバーの種類によっては、表示中はスリープモードに移行できないことがあります。

パスワード

Q Windowsのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった

A パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力し直してください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー（Administratorsに属するユーザー）が作成されている場合、別の「コンピュータの管理者」アカウントからパスワードの変更を行ってください。

Q パワーオン・パスワード（BIOSセットアップ画面で設定した起動時のパスワード）を忘れてしまった

A パスワードを忘れると、起動することができなくなります。

- ユーザーパスワードの場合
  マシンパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
- マシンパスワードの場合
  パスワード設定を解除することはできません。修理（有償）が必要となります。
  VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

画面／ディスプレイ

Q 画面に何も表示されない

A 次の点をお確かめください。

- 本機の電源コードがしっかり電源コンセントに差し込まれているか確認してください。接続について詳しくは「接続する」（28ページ）をご覧ください。
- 本機の電源スイッチが入っているか確認してください。
- MONITOR OFF（モニター OFF）ボタンが有効になっていないか確認してください。
- キーボードを閉じている場合は、開いてください。

Q 画面の色がきれいに表示されない

A いったん電源を切り、再び本機を起動してください。

（スタート）ボタン－ ボタン－[シャットダウン]をクリックして電源を切り、本機の電源ボタンを押して起動し直してください。

Q 画面が固まって動かない

A 次の手順で本機を再起動させてください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、[タスクマネージャの起動]をクリックする。
「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されます。
「Windowsタスクマネージャ」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、[タスクの終了]をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

② CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の （シャットダウン）ボタンをクリックする。
本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の電源ボタンを押して、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。電源が切れると電源ランプが消灯します。電源ランプがオレンジ色に点灯した場合は、いったん手を離し、再び電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

!ご注意
上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

Q 画面が暗い

A キーボードのFnキーを押しながらF5キーまたはF6キーを押して調節してください。

A キーボードを開いてください。

Q 画像が乱れる

A ラジオなど、近くに磁気を発生するものや磁気を帯びているものがある場合は、ディスプレイから離してください。

Q 画面に輝点・滅点(黒点)がある

A 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006%未満です)。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

文字入力/キーボード

Q 文字の入力方法がわからない

A 「バイオ電子マニュアル」画面左上の[目次]をクリックし、もっとも下に表示される[できるWindows for VAIO]内の「文字を入力しよう」をご覧ください。

Q キーボードを押したとおりに文字が入力できない

A キーボード右上の「Num Lock」ランプが点灯していないか確認してください。
点灯しているときは、一部のキーがテンキーとして動作します。

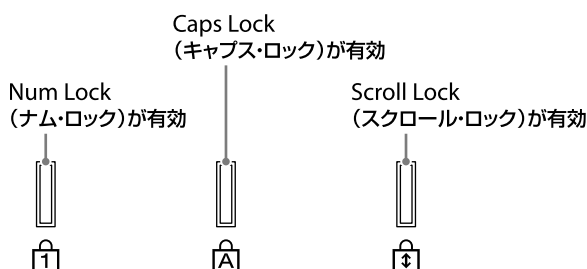
A 入力モードを確認してください。
日本語入力モードと英字入力モードがあります。
言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」に、

英字入力モードのときは「A」になっています。

日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角|漢字キーで切り換えられます。

A 「Caps Lock」ランプが点灯していないか確認してください。
「Caps Lock」ランプが点灯していると、Shiftキーを押していないときでも大文字が入力されます。
Shiftキーを押しながらCaps Lockキーを押して、「Caps Lock」ランプが消えているのを確認してください。

Q Caps Lock、NumLkなどのキーが有効になっているかどうか知りたい

A キーボード上部のランプで確認できます。

タッチパッド

Q タッチパッドが使えない

A タッチパッドが無効になっています。
タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを有効にしてください。
上記の操作を行ってもタッチパッドが有効にならない場合は本機を再起動してください。

Q タッチパッドを無効にしたい

A タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを無効にしてください。
それでもタッチパッドが無効にならないときは、本機を再起動してください。

Q タッチパッドに触れただけでクリックしてしまう

A タッチパッドの設定を変更し、タッピング機能を無効にしてください。

Q タッチパッドをなぞっただけで、ウィンドウが閉じてしまう

A スマートアクションの機能を無効にしてください。
次の手順で操作してください。

① （スタート）ボタン－［コントロールパネル］をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② ［ハードウェアとサウンド］をクリックする。
③ ［マウス］をクリックする。
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。
④ ［機能］タブをクリックする。
⑤ 「左コーナーの設定」を「なし」にする。
⑥ ［OK］をクリックする。

Q タッチパッドをなぞっただけで、Webブラウザなどを使用中に別のページに移動してしまう

A Webアシストの機能を無効にしてください。
次の手順で操作してください。

① （スタート）ボタンー［コントロールパネル］をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② ［ハードウェアとサウンド］をクリックする。
③ ［マウス］をクリックする。
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。
④ ［機能］タブをクリックする。
⑤ ［Webアシスト機能を使用する］のチェックをはずす。
⑥ ［OK］をクリックする。
設定が有効になります。

Q タッチパッドを動かしてもポインタが動かない

A 使用しているソフトウェアによっては、一時的にポインタが動きにくくなる場合があります。
しばらく待ってから、もう1度ポインタを動かしてください。
それでもポインタが動かない場合は、次の手順で本機の電源を切ってください。

① キーを押してスタートメニューを表示させ、→キーを押して ボタンー［シャットダウン］を選んでEnterキーを押す。
② 電源が切れたあと、約30秒後に本機の電源ボタンを押す。

それでも電源が切れないまたは再起動しない場合は、次の手順で操作してください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、↓キーや→キーを押して （シャットダウン）ボタンを選び、Enterキーを押す。

本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の電源ボタンを押して、再び電源を入れてください。
上記の操作でも何も起こらないときは、本機の電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

A CD-ROMなどのディスクを再生しているときなどに、ポインタが動かなくなってしまった場合は、本機を再起動してください。
CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、CD-ROMなどのディスクを再生しているソフトウェアを強制的に終わらせ、本機を再起動させてください。

A 「画面が固まって動かない」（99ページ）をご覧ください。

Q 画面上のすべてのものが動かない

A 次の手順で本機を再起動してください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、［タスクマネージャの起動］をクリックする。
「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されます。
「Windowsタスクマネージャ」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、［タスクの終了］をクリックしてソフトウェアを終了させてください。
② CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の （シャットダウン）ボタンをクリックして［再起動］を選択する。

上記の操作でも何も起こらないときは、本機の電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

ハードディスク

Q 誤ってハードディスクを初期化してしまった

A ハードディスクにあったファイルは、復元できません。
ハードディスク内のリカバリ機能や、ご自分で作成したリカバリディスクを使って、本機をリカバリする必要があります（79ページ）。

Q ハードディスクの内容を誤って消してしまった

A 削除したファイルが、「ごみ箱」の中に残っていないか確かめてください。
「ごみ箱」の中にない場合は、ファイルを復元できません。

A Windowsが正常に動作しなくなった場合は、本機をリカバリする必要があります（79ページ）。

Q ハードディスクから異音がする

A OSの処理などにより、何も操作していない場合でもハードディスクの読み書きが行われ、動作音がすることがあります。
これは正常な処理であり、故障ではありません。
ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを行ってください。
ディスクデフラグは次の手順で行ってください。

① （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［システムツール］－［ディスクデフラグツール］をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください
「ディスクデフラグツール」画面が表示されます。

② ［今すぐ最適化］をクリックする。
最適化（デフラグ）が開始されます。

A ハードディスクからまれに「カチャン」という音がする場合があります。
これはハードディスク内にあるヘッドが動作するときに発する音であり、異常ではありません。

CD ／ DVDドライブ

Q CD ／ DVDメディアの読み込み・再生ができない、ドライブがメディアを認識しない

A ご使用のディスクがバイオで使用可能なディスクか確認してください。
使用できるディスクについて詳しくは、「使用できるディスクとご注意」（158ページ）をご覧ください。

A ディスクの挿入方法が正しいか確認してください。
ディスクの裏表を、逆にセットしていないか、またはレーベル面が見える向きでドライブにセットしたか確認してください。
ディスクの挿入方法について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた] − [CD ／ DVD ／ Blu-ray] − [ディスクを入れる／取り出す]をクリックする。）

A ディスクに汚れや傷がないか確認してください。

A バイオでの動作を保証しているドライブかどうか確認してください。
バイオでの動作を保証しているドライブは、以下になります。

- お買い上げ時に搭載されているドライブ
- 別売りのVAIO専用ドライブ

外部機器からの録画

Q DV（デジタルビデオ）機器の映像を録画する方法がわからない

A 「VAIO Content Importer」ソフトウェアで録画できます。

A 「Click to DVD」ソフトウェアを使って、DV機器の映像から直接DVDを作成することもできます。
「Click to DVD」ソフトウェアでのDVDの作成方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[ソフトウェアの使いかた] − [Click to DVD] − [ビデオモードでDVDおまかせ作成]をクリックする。）

Q HDV機器からキャプチャされたファイルがシーンの途中で分割されてしまう

A シーンの途中に録画の開始点、終了点がないことを確認してください。

A HDV機器のヘッドが汚れています。
クリーニングテープを使ってHDV機器のヘッドのクリーニングを行ってください。

A コンピュータの設定を確認してください。
お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Q HDV機器へ出力した映像が途切れたり、乱れたりする

A HDV機器のヘッドが汚れています。
クリーニングテープを使ってHDV機器のヘッドのクリーニングを行ってください。

A コンピュータの設定を確認してください。
お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

FeliCaポート(FeliCa対応リーダー/ライター)

Q FeliCa機能が使えない

A FeliCaカード/携帯電話の位置を確認してください。
キーボードの (FeliCaプラットフォームマーク)に合わせて置いてください。

!ご注意
携帯電話の形状によっては、FeliCa通信できないことがあります。

A FeliCaポート(FeliCa対応リーダー/ライター)などに不具合がある可能性があります。
「FeliCaポート自己診断」ツールを使用して不具合があるかどうか確認します。

1. 通知領域にある (オン)を右クリックして表示されたメニューの[ポーリングの状態]から[オフ]を選択する。
2. (スタート)ボタン-[すべてのプログラム]-[FeliCaポート]-[FeliCaポート自己診断]をクリックする。
3. 画面に表示された内容を確認し、[次へ]をクリックする。
   診断が開始され、結果が表示されます。
   FeliCaポートに不具合があった場合は、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。
   また、お手持ちのFeliCaカードに不具合があった場合は、FeliCaカード発行者にお問い合わせください。

A 通知領域のアイコンが (オン)になっているか確認してください。
(オン)になっていない場合は、(オフ)を右クリックして表示されたメニューの[ポーリングの状態]から[オン]を選択ください。
または、(オフ)をクリックしてもオンにすることができます。

内蔵カメラ（MOTION EYE）

Q 内蔵カメラ（MOTION EYE）を使用中にスリープモードに移行すると、本機の動作が不安定になる

A 内蔵カメラ（MOTION EYE）または外付けUSBカメラの使用中には、スリープモードに移行させないでください。

A 自動的にスリープモードに移行してしまう場合は、設定を変更してください。詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた] – [電源の管理／起動<VGC-LBシリーズ>] – [電源オプションを変更する] をクリックする。）

エラーメッセージ

電源投入時のエラーメッセージ

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

A 97ページをご覧ください。

バイオ内の情報を調べる

本機には、本機の使いかたを手軽に検索できる「バイオ電子マニュアル」が付属しています。「バイオ電子マニュアル」を使って、解決方法を検索したり、自分のやりたいことの操作方法を調べることができます。困ったときはまず「バイオ電子マニュアル」を起動してみましょう。
「Windows ヘルプとサポート」では、Windowsのヘルプの検索、サポートツールの実行、最新情報の入手など、おもにWindowsのサポートに関する機能をご利用になれます。
また、Windowsのヘルプ、ソフトウェアに付属しているヘルプを使って解決方法を閲覧することもできます。

さらに、「困ったときはどうすればいいの？」（90ページ）や関連する項目をご覧ください。

「バイオ電子マニュアル」を見る

「バイオ電子マニュアル」はバイオの使いかた、楽しみかた、困ったときの解決方法をディスプレイ画面上で説明するソフトウェアです。
「バイオ電子マニュアル」を起動するには、（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［バイオ電子マニュアル］の順にクリックします。

画面の見かた

① 「バイオ電子マニュアル」の最初の画面に戻ったり、画面を進めたり、戻したり、印刷や文字の大きさを変えることができます。
また、コンピュータ用語の説明を見ることができます。

② 「バイオ電子マニュアル」の目次や索引、キーワード検索を選んで表示させることができます。

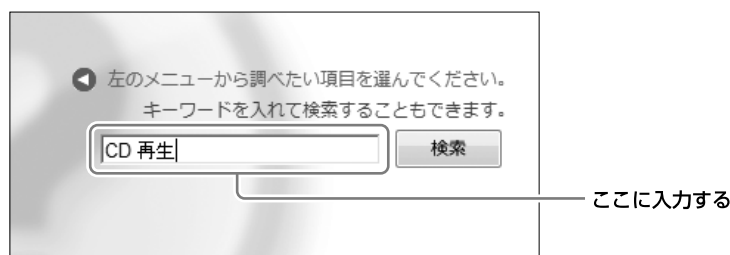
③ ご覧になりたい内容に応じてボタンをクリックすると、それぞれの説明が表示されます。

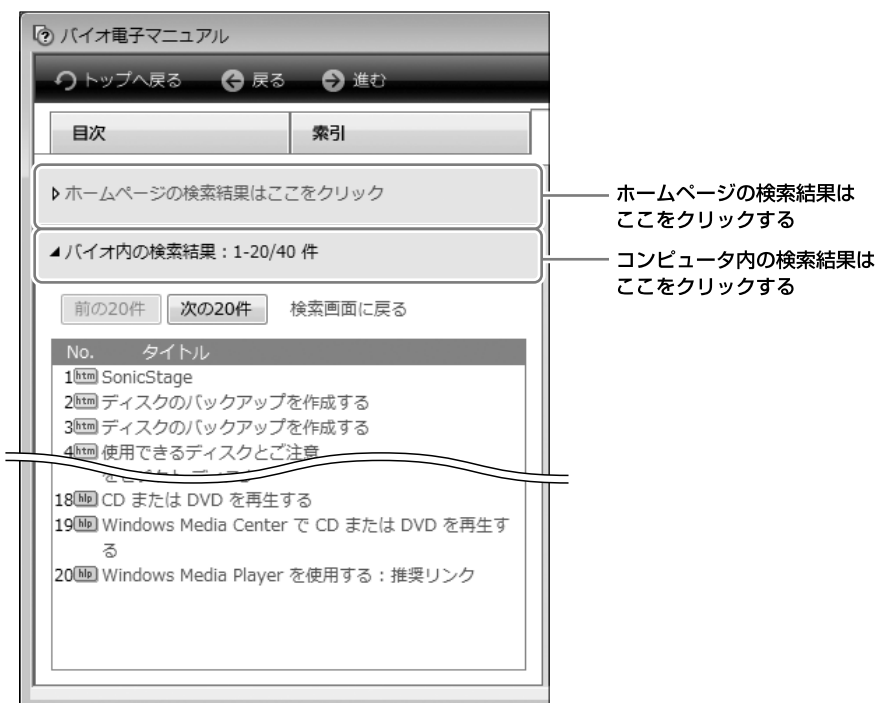
④ 単語や質問文を入力して情報を検索することができます。

「バイオ電子マニュアル」で検索する

検索機能を使用すると、バイオの使いかたについてわからないことや知りたいことを調べることができます。
調べたい内容を入力することで、コンピュータ内にある「バイオ電子マニュアル」やソフトウェアのヘルプ、Windowsのヘルプ、さらにインターネットに接続している場合はVAIOカスタマーリンクのホームページから最適な解説がすばやく検索できます。

1 検索したい内容をキーワード（単語）や質問文で入力する。

「バイオ電子マニュアル」内の情報を検索する場合は、質問文を入力するとより適切な検索結果が得られます。
また、入力欄に複数のキーワード（単語）をスペースで区切って入力することで、期待する回答が表示されやすくなります。
例：「CD 再生」

2 [検索]をクリックする。

画面左側に検索結果が質問の内容に近い（類似度が高い）ものから順に表示されます。

[次の20件]をクリックすると、次の検索結果の一覧が表示されます。
[前の20件]をクリックすると、前に表示されていた検索結果の一覧が表示されます。

3 検索結果の一覧からタイトルをクリックする。

画面右側に選んだ文書の内容が表示されます。

VAIOカスタマーリンク ホームページの文書は別画面で表示されます。

Windows ヘルプとサポートを見る

（スタート）ボタン－［ヘルプとサポート］をクリックすると「Windows ヘルプとサポート」が表示されます。
Windows ヘルプとサポートでは、Windowsに関するヘルプの参照と検索や各種サポートツールの実行を行うことができます。

各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアにもヘルプが添付されています。
また、「バイオ電子マニュアル」の［ソフトウェアの使いかた］－［ソフト紹介／問い合わせ先］－［本機に付属されているソフトウェア］の表にあるソフトウェア名をクリックして表示される画面には、ソフトウェアの使いかたがわからなくなったときのために、各ソフトウェアごとに「操作がわからなくなったときは」の項目があります。あわせてご覧ください。

ヒント

ヘルプとは、ソフトウェアの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する

VAIOカスタマーリンクホームページでできること

本機をインターネットに接続し、VAIOカスタマーリンク ホームページをご覧ください。
VAIOカスタマーリンク ホームページでは、バイオに関するお客様の疑問や質問を解決するための各種サービスと、サービス・サポート体制についての最新情報を提供しております。定期的にご覧ください。

VAIOカスタマーリンク ホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

！ご注意
本マニュアル内の「サービス・サポート」の内容は、2007年2月現在のものです。
サービス・サポートの内容は随時更新されますので、最新の内容はVAIOカスタマーリンク ホームページでご確認ください。

VAIOカスタマーリンク ホームページを見るには

VAIOカスタマーリンク ホームページを見るには、次の2通りの方法があります。

❑「Windows Internet Explorer」ソフトウェアを使用する

1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Internet Explorer］をクリックする。

2 画面上部の（お気に入り）をクリックして［2.VAIOサポートページ］にポインタを合わせ、［1サポート（サービス・サポート情報）］をクリックする。

VAIOカスタマーリンク ホームページが表示されます。

❑「VAIOナビ」ソフトウェアを使用する

1 デスクトップ画面の（VAIOナビ）をダブルクリックして、［VAIOナビ］ソフトウェアを起動する。

2 画面左側の［トラブル解決］をクリックして表示された画面で［VAIO サポートページを見る］ボタンをクリックする。

VAIOカスタマーリンク ホームページが表示されます。

VAIOカスタマーリンク ホームページを活用する

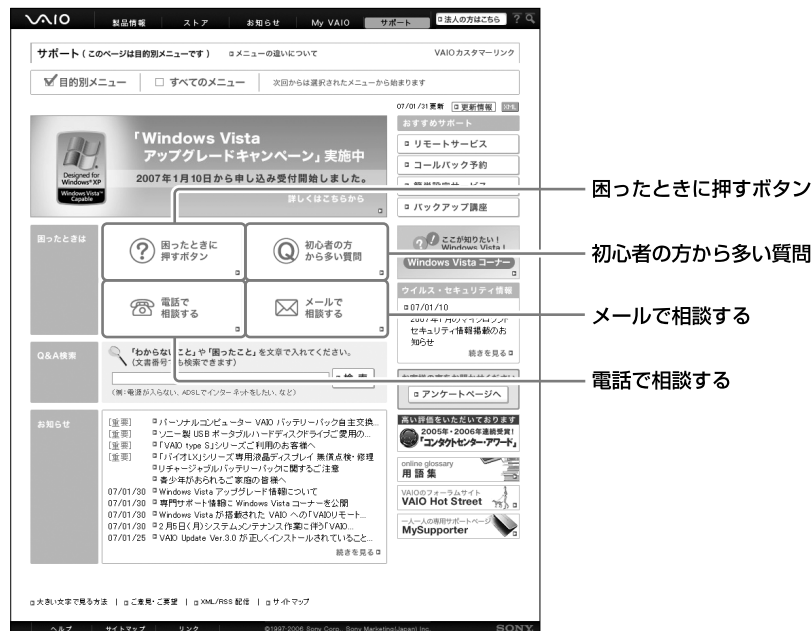
VAIOカスタマーリンクホームページでは、お客様がお好きな方法で必要な情報や解決策を入手できるよう、「目的別メニュー」と「すべてのメニュー」の2つの入り口をご用意しています。

* 次回からは選択されたメニューで始まります。

目的別メニュー

「目的別メニュー」は4つの大きなメニューで、お客様を目的のサポートメニューへご案内します。
困ったときに、どのメニューから探していいのかわからない方、パソコン初心者の方などにおすすめです。

（2007年2月現在）

❑ 困ったときに押すボタン

http://vcl.vaio.sony.co.jp/beginner/guide/
トラブル解決をしたい、アップデートプログラムをダウンロードしたいなど、困ったときの9つの対処方法をご案内しています。

❑ 初心者の方から多い質問

http://vcl.vaio.sony.co.jp/beginner/hotissue/
初心者の方からのお問い合わせの内容をわかりやすくご紹介している「初心者コーナー」へご案内しています。

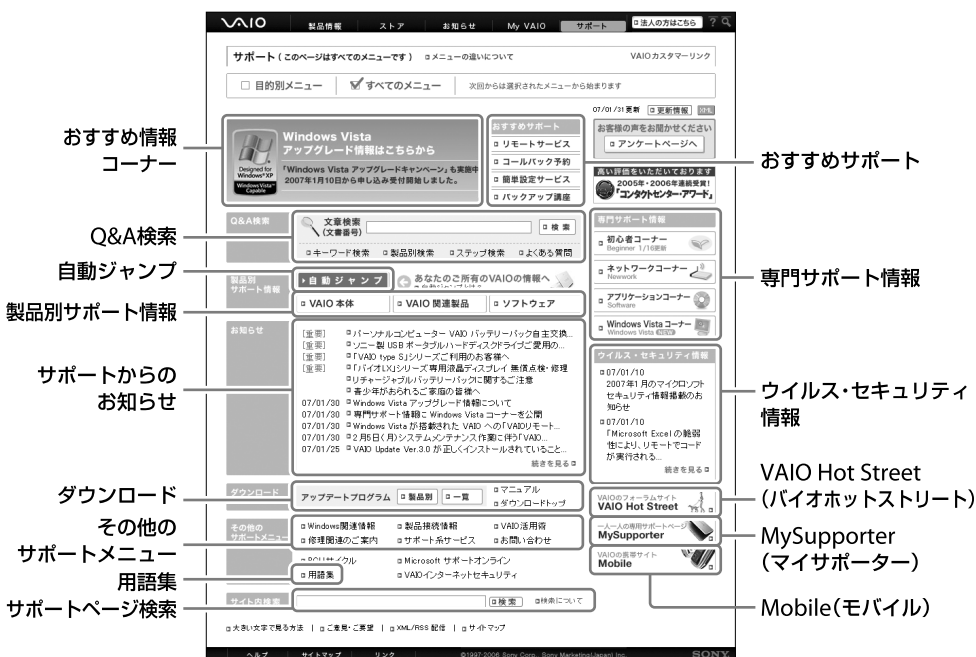
❑ 電話で相談する

http://vcl.vaio.sony.co.jp/beginner/telephone/
電話でのお問い合わせ方法をわかりやすくご紹介しています。

❑ メールで相談する

http://vcl.vaio.sony.co.jp/beginner/mail/
メールでのお問い合わせ方法をわかりやすくご紹介しています。
メールでお問い合わせをなさる場合は、こちらからご利用ください。

すべてのメニュー

「すべてのメニュー」はサポートに関するすべてのメニューをわかりやすいように整理しています。
使いたいメニューにダイレクトにいきたい方におすすめです。

（2007年2月現在）

❑ おすすめ情報コーナー

VAIOカスタマーリンクよりホットなサポート情報をお知らせいたします。

❑ Q&A検索

http://search.vaio.sony.co.jp/cb/
Q&A検索では、文章などを入力してQ&A（VAIOカスタマーリンクに寄せられた質問とその回答）を検索することができます。
そのほか複数の検索方法（キーワード検索、製品別検索、ステップ検索、よくある質問）をご用意しています。

❑ 自動ジャンプ

「自動ジャンプ」ボタンをクリックするだけで、ご所有のバイオの製品別サポート情報ページがご覧になれます。

❑ 製品別サポート情報

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/pc/
機種ごとに、専用のサポート情報ページをご用意しています。
ご所有の機種に関連する「お知らせ」、「アップデートプログラム」、「他社製品接続情報」などの最新サポート情報をご利用いただけます。
ご所有機種の専用ページを「お気に入り」などに追加することをおすすめします。
詳しくは、「製品別サポート情報」（115ページ）をご覧ください。

❑ サポートからのお知らせ

http://vcl.vaio.sony.co.jp/iforu/
お客様への重要なお知らせおよびVAIOカスタマーリンクからの最新のお知らせを掲載しています（すべてのお知らせをクリックすることでその他のお知らせをご覧になれます）。

❑ ダウンロード

http://vcl.vaio.sony.co.jp/download/
お客様のVAIOを最新の状態にするアップデートプログラムなど、最新のダウンロード情報を掲載しています。
また、取扱説明書などのご提供も行っています。

❑ その他のサポートメニュー

「修理関連のご案内」や「Windows関連情報」「製品接続情報」など、さまざまなサービスサポート情報を掲載しております。

❑ 用語集

基礎的な用語や最新のキーワードを、初心者の方にもわかりやすく解説しています。

調べかた
頭文字から探す
① 調べたい用語の頭文字をクリックする。
② 右上のリストから用語をクリックする。
キーワードで探す
調べたい用語を入力して検索します。

❑ サポートページ検索

キーワードによるVAIOカスタマーリンク ホームページのサイト内検索ができます（お客様からいただいたお問い合わせとその回答などについては「Q&A検索」からご利用いただけます）。

❑ おすすめサポート

VAIOカスタマーリンクで特におすすめのサポートやコンテンツをご紹介しています。
リモートサービス
http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/
オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブルの内容確認や使いかたなどをご案内するサービスです。
詳しくは、「VAIOリモートサービス」（119ページ）をご覧ください。
コールバック予約サービス
http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/callback.html
ホームページから電話サポートのご予約をお申し込みいただき、ご指定の日時にVAIOカスタマーリンクからお客様にお電話を差し上げるサービスです。
詳しくは、「VAIOコールバック予約サービス」（117ページ）をご覧ください。
バックアップ講座
http://vcl.vaio.sony.co.jp/howto/backup/
VAIOに保存されたデータのバックアップ方法とその復元方法についてわかりやすく解説しています。

❑ 専門サポート情報

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/
VAIOカスタマーリンクの専門オペレーターと連携し、専門分野に特化したサポート情報をご提供するコーナーです。
「初心者」、「ネットワーク」、「アプリケーション」、「Windows Vista」の4つのコーナーをご用意しています。
詳しくは、「専門サポート情報」（115ページ）をご覧ください。

❑ ウイルス・セキュリティ情報

http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html
バイオをご使用する際におけるセキュリティ関連の最新のお知らせを掲載しています。インターネットの普及に伴い、ソフトウェアの脆弱性を狙った悪意のある第三者の攻撃や、ウイルスによる被害が増えてきています。
バイオを安全にお使いになるために、常にセキュリティ関連の情報をチェックしていただいて必要な対策をとられることを強くおすすめします。

❑ VAIO Hot Street（バイオホットストリート）

http://hotstreet.vaio.sony.co.jp/
バイオをご所有のお客様による情報交換サイトです。
バイオを活用するための情報などをお客様どうしでやりとりしていただけます。
詳しくは、「VAIOユーザーの情報交換サイト」（121ページ）をご覧ください。

❑ MySupporter（マイサポーター）

https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/
お客様ひとりひとりに合わせて、ご所有の機種に対応したサポート情報やご案内を自動的に表示したり、VAIOカスタマーリンクへのコンタクト履歴をご確認いただけるサイトです。

❑ Mobile（モバイル）

http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/
携帯電話用サポートサイトです。
ウイルス、セキュリティ情報など最新サポート情報や修理見積、修理状況のご案内などを掲載しております。
詳しくは、「携帯電話サポート」（122ページ）をご覧ください。

代表的なサポートメニュー

VAIOカスタマーリンクの代表的なサポートメニューを紹介します。

製品別サポート情報

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/pc/

製品別サポート情報ページでは、ご所有の製品に関連した「お知らせ」「アップデートプログラム」「他社製品接続情報」などの最新情報をご紹介しています。

VAIOカスタマーリンクホームページの「すべてのメニュー」からアクセスします。詳しくは、「VAIOカスタマーリンク ホームページを活用する」（111ページ）をご覧ください。

専門サポート情報

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/

VAIOカスタマーリンク電話サポートの各専門オペレーターと連携し、専門分野に特化したサポート情報をご提供するコーナーです。

「初心者」、「ネットワーク」、「アプリケーション」、「Windows Vista」の4つのコーナーをご用意しています。

VAIOカスタマーリンクホームページの「すべてのメニュー」からアクセスします。詳しくは、「VAIOカスタマーリンク ホームページを活用する」（111ページ）をご覧ください。

初心者コーナー

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/beginner/
初心者の方から実際に寄せられているお問い合わせをもとに、初心者の方が「知りたい情報」、「知っていると便利な情報」をわかりやすく丁寧にご紹介しています。

ネットワークコーナー

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/network/
ネットワーク専門のオペレーターに実際に寄せられているお問い合わせをもとに「接続に困ったら」、「ネットワーク構築にチャレンジ」などのネットワーク接続に関するさまざまな情報をわかりやすくご紹介しています。

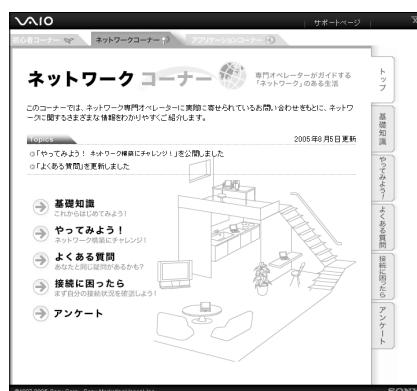
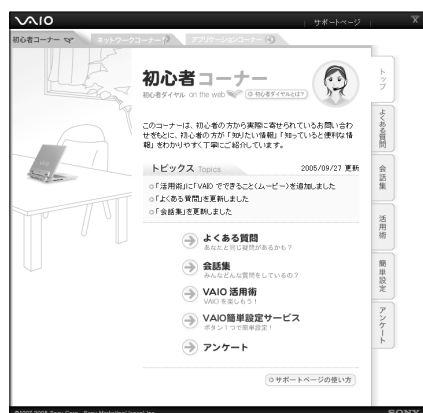
アプリケーションコーナー

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/appl/
アプリケーション専門のオペレーターに実際に寄せられているお問い合わせをもとに、ソニー製ソフトウェアに関する「よくあるお問い合わせ」のご紹介やソニー製ソフトウェアでできることをわかりやすい活用術としてご紹介しています。

Windows Vista コーナー

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/vista/
Windows Vista の基本操作や設定方法、便利な活用方法などをQ&Aや活用集、動画などでわかりやすくご紹介しています。

VAIOコールバック予約サービス

https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/

ホームページから電話サポートのご予約をお申し込みいただき、ご指定の日時にVAIOカスタマーリンク（コールセンター）からお客様にお電話を差し上げるサービスです。

ヒント

VAIOコールバック予約サービスをご利用いただくには、My Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です（コールバック予約サービスのご利用には、お客様がVAIOカスタマー登録を行なわれていることが必要です）。

予約受付時間：

24時間いつでもご予約可能（システムメンテナンス時を除く）

回答時間：

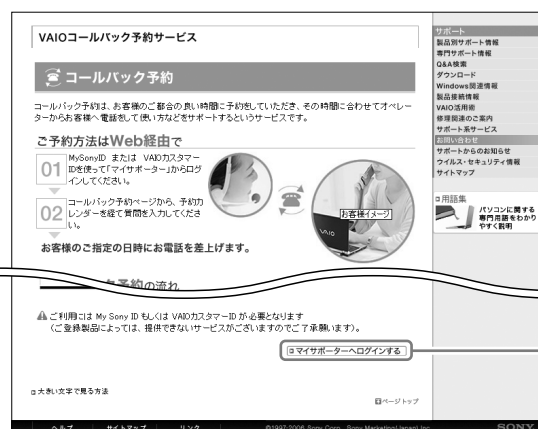
平日 10：00 ～ 21：00

土曜、日曜、祝日 10：00 ～ 17：00

本サービスは、バイオ本体、バイオ関連製品の使いかたに関するお問い合わせに限らせていただきます。

！ご注意

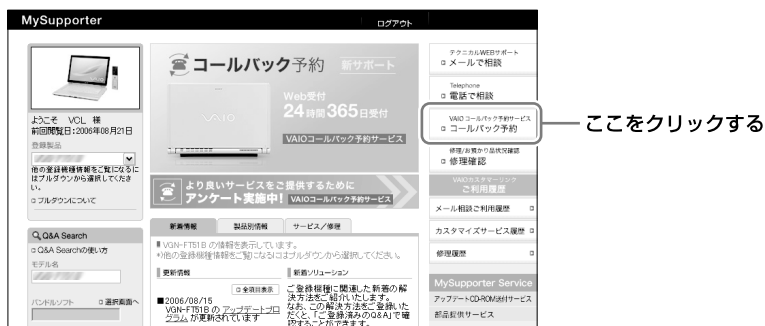
VAIOコールバック予約サービスの内容は予告なしに変更する場合があります。

1 「VAIOコールバック予約サービス」説明ページにアクセスし、「マイサポーターにログインする」ボタンをクリックする。

VAIOカスタマーリンクホームページの「目的別メニュー」または「すべてのメニュー」からアクセスします。

詳しくは、「VAIOカスタマーリンク ホームページを活用する」（111ページ）をご覧ください。

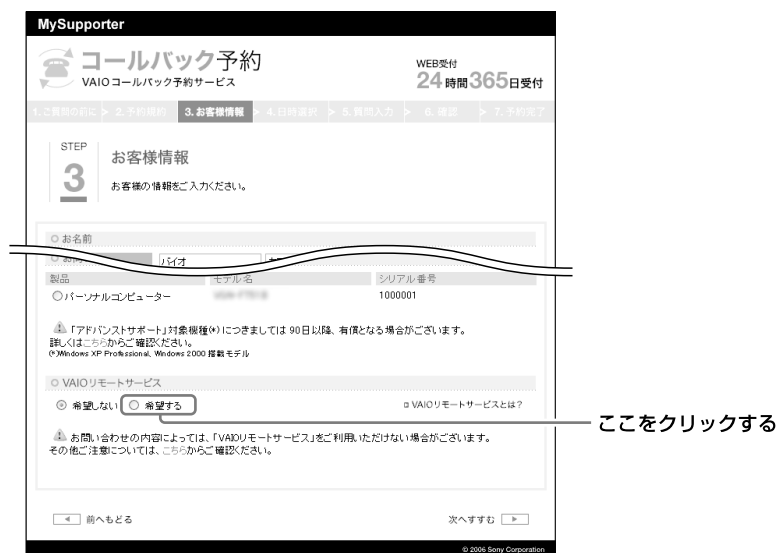
2 「ログイン」ボタンをクリックし、IDとパスワードを入力する。

IDは、My Sony IDまたはVAIOカスタマー IDがご利用いただけます。

3 「コールバック予約」ボタンをクリックする。

4 画面に従って操作する。

ヒント
「VAIOリモートサービス」をご利用になる場合は、STEP3「お客様情報」ページにてご指定ください。

VAIOリモートサービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/

オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブルの内容確認や使いかたなどをご案内させていただくサービスです。
難しいパソコン用語は不要ですので、これまでに「電話の説明だけではわかりにくい」、「直接画面を見て教えてほしい」と思われた方は、ぜひ一度お試しください。

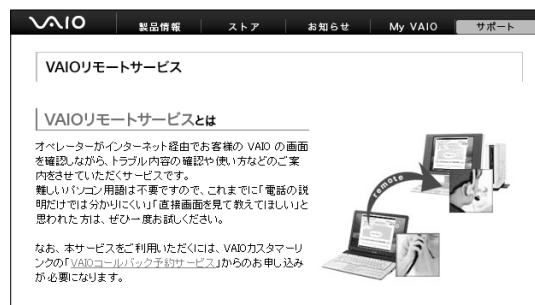
!ご注意

- 本サービスをご利用いただくためには、VAIOカスタマー登録およびインターネット接続の環境が必要です。
- 本サービスは、事前にマイサポーターの「VAIOコールバック予約サービス」(117ページ)からのお申し込みが必要です。
- お問い合わせの内容によっては、本サービスをご利用いただけない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

1 「VAIOコールバック予約サービス」で、ご利用になりたい時間を予約する。

詳しくは、「VAIOコールバック予約サービス」(117ページ)をご覧ください。

2 指定されたお時間にオペレーターからお客様にお電話をさせていただきます。

3 VAIOカスタマーリンク ホームページの「VAIOリモートサービス」のページにアクセスする。

4 ページ内のソフトウェア使用許諾契約書に同意したうえで、専用ソフトウェアをダウンロードする。

5 オペレーターが案内する番号の接続ボタンをクリックする。

6 オペレーターが案内するパスワードを入力し、[OK]をクリックする。

7 オペレーターがお客様のバイオに接続し、対応を開始します。

VAIOユーザーの情報交換サイト

VAIO Hot Street（バイオホットストリート）

http://hotstreet.vaio.sony.co.jp/

VAIO Hot Streetは、バイオをご所有のお客様による情報交換サイトです。
バイオを活用するための「投稿」、「質問」、「回答」などをお客様どうしでやりとりしていただけます。

！ご注意

投稿、質問、回答、コメントの書き込み、マイプロフィールの登録などを行うには、My Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です。

VAIO Hot Street では次の4テーマを展開中です。

- 周辺機器接続情報
- アプリケーションソフト情報
- Windows アップグレード情報
- VAIO 活用情報

携帯電話サポート

VAIOカスタマーリンク モバイル

「VAIOカスタマーリンク モバイル」は、VAIOカスタマーリンクが提供する携帯電話向けサポートサイトです。
「ウイルス・セキュリティ情報」や「よくある質問」といったバイオのサポート情報のほか、「最新製品情報」や「リアルタイムアンケート」などのお楽しみコンテンツも掲載しています。

また、「サポート系コンテンツ」では、VAIOカスタマーリンクへ直接ご依頼いただいた修理に関する修理見積や修理進捗状況などをご確認いただけます。

「VAIOカスタマーリンク モバイル」は、下記のURLに携帯電話からアクセスすることでご利用いただけます。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/
（対応端末：i-mode・EZweb・Yahoo!ケータイ）
また、バーコード（QRコード）の読み取りに対応した携帯電話をお使いの場合は、下記のQRコードを読み取ることで、手軽に「VAIOカスタマーリンク モバイル」にアクセスできます。

* QRコードは、（株）デンソーウェーブの登録商標です。

電話で問い合わせる

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ

お問い合わせ先

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせは

カスタマー専用デスク

電話番号：(0466) 38-1410

(ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ)

受付時間：月曜～金曜日　10時 ～ 18時

(土曜、日曜、祝日、年末年始を除く)

http://www.vaio.sony.co.jp/regist

!ご注意

- 通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- バイオの使いかたについてのお問い合わせや修理の受付については、「VAIOカスタマーリンク」までご連絡ください。

使いかたに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンクでは、バイオに関する技術的な質問や修理の受付を電話で承っております。

電話でのサポートをご利用の前に

❑ お電話の前にお試しください

「バイオ内の情報を調べる」(107ページ)や「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」(110ページ)では、操作方法の調べかたやトラブル解決方法、最新情報の入手方法などをご紹介しております。お電話でのお問い合わせの前に、ぜひお試しください。

❑ 「VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況」について

VAIOカスタマーリンクにおける電話受付の混雑状況を、VAIOカスタマーリンクホームページで公開しています。
VAIOカスタマーリンクホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)にある「電話で相談する」(目的別メニュー)または「お問い合わせ」(すべてのメニュー)の中の[電話で相談]を選択し、電話サポートにある[VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況]をクリックします。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/konzatu.html

ヒント

比較的つながりやすい時間帯は下記となります。
平日：12：00 ～ 18：00
土曜、日曜、祝日：15：00 ～ 17：00
(2007年2月現在)

❑ お電話の前に以下の内容をご用意ください。

① 本機の型名(保証書などに記載されているものです)
② 本機の製造番号(保証書などに記載されている7桁の番号です)
③ カスタマー登録いただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号
(発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。)
④ 本機に接続している**周辺機器名**(メーカー名と型名)
⑤ 表示された**エラーメッセージ**
⑥ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、その**ソフトウェアの名前**とバージョン
⑦ トラブルが発生する前または**直前に行った操作**
⑧ トラブルがどのくらいの**頻度**で再現するか
⑨ その他お気づきの点

❑ お電話でのお問い合わせについて

お電話は音声ガイドでご案内しています。お問い合わせの内容に応じたご希望の番号をお選びください。担当オペレーターが対応いたします。
お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」(http://www.vaio.sony.co.jp/regist)をご覧ください。

お問い合わせ先

使いかたのお問い合わせは

VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

受付時間　平日：10：00 ～ 21：00

土曜、日曜、祝日：10：00 ～ 17：00

(365日年中無休)

http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/technical.html

!ご注意

年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

「インターネットやメール、ネットワーク接続に関するお問い合わせ」や「ソニー製ソフトウェアのお問い合わせ」など、専門のオペレーターをご用意しております。

!ご注意

- 通話料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承のうえ、お問い合わせください。
- 自動音声応答により、担当のオペレーターにおつなぎいたします。
  自動音声に応答できない場合は、そのままお待ちいただきますとオペレーターにつながります。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していないOS・ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点など、お答えいたしかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

- **VAIOコールバック予約サービス**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/callback.html
  ホームページからお客様のご都合の良い時間を予約していただき、予約時間に合わせてオペレーターがお電話を差し上げるサービスです。
  詳しくは、「VAIOコールバック予約サービス」(117ページ)をご覧ください。
- **VAIOリモートサービス**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/
  オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブル内容の確認や使いかたなどのご案内をするサービスです。
  詳しくは、「VAIOリモートサービス」(119ページ)をご覧ください。

初心者ダイヤル

電話番号:(0466) 30-4323

※2008年9月末日まで有効

初心者の方でもご理解いただきやすいよう、専任スタッフがわかりやすい言葉で親身になって対応する窓口です。

また、VAIOカスタマーリンク ホームページの「初心者コーナー」では初心者ダイヤルの専門オペレーターと連携して、初心者の方が「知りたい情報」や「知っていると便利な情報」をわかりやすく紹介したページをご用意しております。(115ページ)

付属ソフトウェアに関するお問い合わせ

付属のソフトウェアについてはソフトウェアごとにお問い合わせ先が異なります。

「バイオ電子マニュアル」の[ソフトウェアの使いかた]－[ソフト紹介/問い合わせ先]－[本機に付属されているソフトウェア]をクリックして表示される内容および「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(134ページ)をご覧ください。

セキュリティに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口は

電話番号:(0466) 30-3016

受付時間:平日　10:00 ～ 21:00

土曜、日曜、祝日　10:00 ～ 17:00

メールで問い合わせる

テクニカルWebサポート

http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/techweb.html
バイオに関する技術的な質問をマイサポーター内の所定フォームから入力すると、電子メールで回答を受け取ることができるサービスです（質問の内容によっては電話での回答になる場合もございます）。

ヒント
このサービスをご利用いただくには、My Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です。
カスタマー登録について詳しくは、「カスタマー登録する」（40ページ）をご覧ください。

「テクニカルWebサポート」で新規にお問い合わせをする場合

1 マイサポーターにログインする。

VAIOカスタマーリンクホームページの「目的別メニュー」または「すべてのメニュー」からアクセスします。
詳しくは、「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」（110ページ）をご覧ください。

2 ［テクニカルWEBサポートメールで相談］をクリックする。

3 ［新規のお問い合わせ］をクリックする。

4 画面の指示に従って操作する。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に

修理を依頼される前に「バイオ電子マニュアル」で調べたり（107ページ）、「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」（110ページ）の操作を行い、お使いのバイオの症状に合うものがないか確認してください。ハードウェアの故障と思われて修理に出されたものの多くが、仕様の範囲内であったり、ソフトウェアの設定を変更するなどの操作を行うことで直ることがあります。
それでも解決できない場合は、以下の手順に従ってお電話ください。

ヒント

- **VAIOカスタマーリンクホームページ「修理関連のご案内」**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/
  上記のホームページでは、修理に関するさまざまな情報をご案内しています。
- **VAIOカスタマーリンクホームページ「故障かな？と思ったら」**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/part1.html
  故障のような症状でも、VAIO の設定を変更するだけで改善する場合があります。上記のホームページでは、修理を依頼する前の自己診断や解決方法などについてご案内しています。
- **VAIOカスタマーリンクホームページ「概算修理料金」**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/repstd/
  製品別に主な症状と故障箇所別の概算修理料金を確認できます。
  修理に出される前などにお役立てください。
- **点検サービスも行っております**
  バイオの各機能（キーボード、ハードディスクドライブなど）が正常に動作しているか点検するサービスも行っております（有料）。

修理依頼の手順

VAIOカスタマーリンク修理窓口では、お使いのバイオが故障しているかどうかの診断を行います。
修理が必要と診断された場合は、保証期間内かどうかの確認後、引取り修理の受付をいたします。

ヒント

引取り修理とは、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅より集中修理拠点へ直送するサービスです。
（集配および梱包料は、ソニー負担です。）

！ご注意

- 修理時の代替機は用意しておりません。あらかじめご了承ください。
- 保証期間中でも有料になる場合がございます。詳しくは、保証書に記載されている「無料修理規定」をご覧ください。
- 修理対応について
  ご購入後1か月以降のお申し出によるハードウェアに関する不具合の場合には、修理のみの対応になりますのでご了承ください。
- 修理料金のお支払い方法について
  修理料金のお支払いは、現金一括払いのほかに、カードによる分割払いがご利用いただけます。詳しくは付属の「VAIOカルテ」内『修理代金のお支払い方法について』の欄をご覧ください。（なお、このカードによる分割払いは、VAIOカスタマーリンクで修理受付させていただいた場合の適用となります。）
- 修理用補修部品について
  ソニーでは、長期にわたる修理部品のご提供、ならびに環境保護などのため、修理サービスご提供の際に、再生部品または代替品を使用することがあります。
  また交換した部品は、上記の理由によりソニーの所有物として回収させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。
- 海外でのご使用時の修理対応について
  お買い求めいただいたバイオは、製品に必要な各種の安全規格の認証を日本で取得した日本国内専用モデルです。
  また、製品に付属する保証規定は日本国内のみ有効です。
  海外において国内保証規定以外のご使用が起因となり、製品に不具合が発生した場合は、保証（無料修理）の対象外となる場合がありますのであらかじめご了承ください。
  なお、VAIO Overseas Service（海外修理サービス）の用意もございます。
  詳しくは「各種有料サービスのご案内」（131ページ）をご覧ください。

1 保証書やVAIOカルテ、筆記用具をご用意ください。

保証書とVAIOカルテは本機に付属しています。
紛失された場合は、VAIOカスタマーリンク ホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/part2_s1.html）またはFAX情報サービス（132ページ）より入手してください。
筆記用具は、修理をお受けする際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です。

SONY

VAIOカルテ

このVAIOカルテは、バイオ修理受付の際にご記入いただくものです。

1. VAIOカスタマーリンクに修理依頼される場合

2. 販売店様に修理品をお持ちになる場合

修理に関するご相談およびお申込みは

VAIOカスタマーリンク修理窓口　電話番号 0466-30-3030

お電話いただく前にお読みください

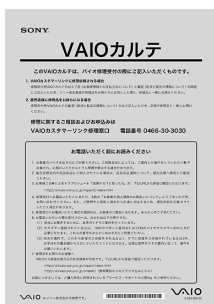
http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/index.html

http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair/index.html

http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/（携帯電話からのアクセス先はこちら）

VAIO はソニー株式会社の商標です。

VAIO

2-050-929-05

ヒント

弊社の保証以外に、販売店などの独自の保証にご加入されている場合は、そちらの保証内容もご確認されることをおすすめいたします。

2 VAIOカスタマーリンク修理窓口にお電話ください。

VAIOカスタマーリンク修理窓口
電話番号：（0466）30-3030
受付時間：平日：10：00 ～ 21：00
土曜、日曜、祝日：10：00 ～ 17：00
（365日年中無休）

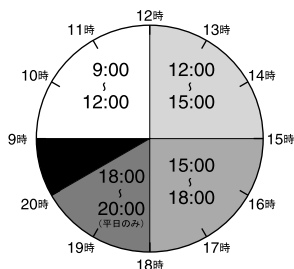
ヒント

- 年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。
- 通常、修理受付の場合、平日は17：00まで、土曜、日曜、祝日では15：00までにお電話をいただければ、翌日にお引取りさせていただきます。
（一部機種・地域を除く。2007年2月現在）

不具合症状などの確認のため操作をお願いする場合がありますので、ご使用のバイオをできるだけお手元にご用意の上、お電話ください。電話がつながりましたら、自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/regist）をご覧ください。

3 修理が必要と判断させていただいた場合は、引取り修理の受付をさせていただきます。

修理受付の際に修理受付番号を申し上げますので、お手持ちのVAIOカルテにご記入ください。また、修理品のお引き取り時間を翌日以降で以下の時間帯よりお選びください（一部機種、一部地域を除く）。

- 9：00 ～ 12：00
- 12：00 ～ 15：00
- 15：00 ～ 18：00
- 18：00 ～ 20：00（平日のみ）

！ご注意

上記は2007年2月現在での選択可能な時間帯です。
一部地域ではご利用いただけない時間帯があります。

ヒント

受付時に修理品の引き取り日時、場所などを調整させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

4 データのバックアップをおとりください。

データのコピーが可能な場合は、修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様ご自身でバックアップをおとりくださるようお願いいたします。弊社の修理により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
データのバックアップをとるには次のような方法があります。

- “メモリースティック”にコピーする。
- 書き込み可能なCDやDVDなどのディスクにコピーする。
- 外付けの記憶装置（HDDなど）にコピーする。

それぞれの操作方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」の［パソコン本体の使いかた］や「周辺機器のつなぎかた」をクリックして表示される情報をご覧ください。

!ご注意

- お使いの機種により、フロッピーディスクドライブやDVD-RW ／ CD-RWドライブが搭載されておらず、別売りの場合があります。バックアップなどで別売りのドライブが必要な場合、お客様にてご用意をお願いします。
- OSが起動しないなど、バックアップを行うことができない状態の場合でも、弊社にてバックアップを行うサービスは行っておりません。

5 ご連絡いただいた翌日以降に、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお引取りにうかがいます。

以下をあらかじめご用意ください。

- 修理品本体
- VAIOカルテ（本機に付属しています。あらかじめご記入ください。）
- 保証書（保証期間中のみご用意ください。）
- 必要な付属品類

ヒント

梱包材の用意および梱包作業は、ソニー指定の配送業者が行います。修理品本体は玄関にて手渡しできるよう配線をはずしてご用意ください。

6 修理完了後、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお届けいたします。

修理料金のお支払い方法を「現金払い」で希望された方は、お届けした際に配達業者に修理費用をお支払いください。

!ご注意

修理品お届け後の本機の設置、設定は、お客様にて行っていただけますようあらかじめご了承ください。

「修理／お預かり品状況確認」について

VVAIOカスタマーリンク ホームページおよびVAIOカスタマーリンク モバイル(携帯電話用サポートサイト)では、VAIOカスタマーリンクへ直接修理のご依頼をいただいた方に、修理の進み具合に応じて「修理品お預かり予定日」、「修理完了予定日」、「修理完了日」の日程をご案内しております。

修理／お預かり品状況確認を見るには、以下の手順に従って操作します。

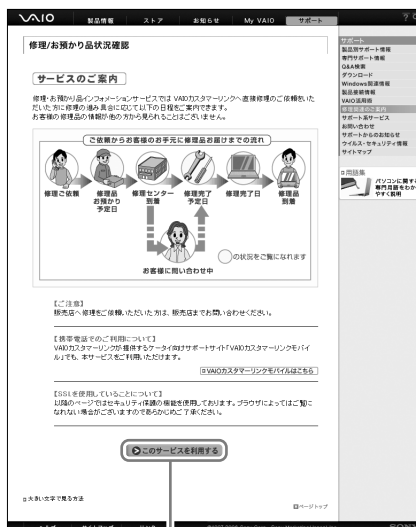
!ご注意

- 販売店経由で点検や修理依頼された場合の修理完了日は、販売店にご確認ください。
- 一部の機種では提供されません。

❑ VAIOカスタマーリンク ホームページで確認する

1 VAIOカスタマーリンクホームページの「すべてのメニュー」から「修理関連のご案内」にある［修理／お預かり品状況確認］をクリックする。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair/

2 ページ下の画面下の［このサービスを利用する］をクリックする。

ここをクリックする

3 画面に従って操作する。

❑ VAIOカスタマーリンクモバイルで確認する

1 携帯電話でVAIOカスタマーリンクモバイルにアクセスする。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

ヒント
バーコード(QRコード)の読み取りに対応した携帯電話では、下記のQRコードを読み取ることで、手軽にアクセスできます。

2 「サポート系コンテンツ」から[修理品状況確認]を選択し、ページ内の"確認のページはこちら"をクリックする。

3 画面に従って操作する。

その他のサービスとサポート

バイオオーナーの皆さまのポータルページ「My VAIO」

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

（2007年2月現在）

❑ My VAIO

自分にぴったりのサービス・サポートが見つかります。ウェブ検索、ニュース、天気予報などに加え、ログインすると、お客さまの登録製品情報やソニーポイント残高など、バイオでお楽しみいただくための最新情報を確認できます。
各種サービスは、My VAIOからご覧いただけます（一部サービスを除く）。

❑ My VAIO Pass

VAIOカスタマー登録（40ページ）をしていただくと、「My VAIO Pass」がご利用いただけます。
対象サービスを利用するたびにソニーポイントをためられます。たまったポイントは、別のサービスや、ショッピングに利用できます。
http://www.vaio.sony.co.jp/Pass/
*　ソニーポイントの獲得および利用は、対象サービスをインターネット経由で購入された場合に限ります。

❑ My VAIO Passプレミアム

「My VAIO Passプレミアム(有償)」なら、サービス利用ごとに加算されるソニーポイントが「My VAIO Pass」よりもアップ。たまったポイントを使ってさらにおトクにサービスを受けられます。
http://www.vaio.sony.co.jp/Pass/
*　ソニーポイントの獲得および利用は、対象サービスをインターネット経由で購入された場合に限ります。

対象サービスやサービスごとに加算されるソニーポイントなどの詳細については、ホームページをご覧ください。
ソニーポイント：ソニーグループの商品・サービスの購入・利用に使える共通のポイントシステム。獲得したポイントは、ソニーグループの多彩な商品・サービスに利用できます。

各種有料サービスのご案内

お客様の「スキル」や「目的」、「状況」に合わせた各種有料サービスメニューを豊富にご用意しました。
必要なときに必要なものを、お客様にご自由に選んでいただけます。
各種サービスは、バイオオーナー向けサイト My VAIOからご覧いただけます（一部サービスを除く）。
My VAIO
http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

!ご注意

2007年2月現在の情報になります。

❑ VAIO延長保証サービス

バイオを安心してお使いいただくための3年間保証サービスです。

ベーシック

1年間のメーカー保証を3年間に延長します。

ワイド

ベーシックに加え、落下や水濡れ等のお客様の過失による損害や、火災・水災等の事故にも対応します。

!ご注意

- ご購入にはカスタマー登録が必要になります。
- ソニースタイルでご購入いただいたバイオは既に保証に加入済みのため、サービス対象外となります。

VAIO延長保証の特徴

- 修理回数無制限 *1
- 故障に関する自己負担金ゼロ *2
- お引取り・お届けの無料サービス
- 修理保証金額はずっと100% *2
- 書類の手続きは不要
- お申込期間が長い

*1　代替品提供の場合を除きます。
*2　代替品提供および偶然な破損事故等は、自己負担金額が生じます。

対象機種や料金等、詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/VP2/

❑ VAIO Overseas Service（海外修理サービス）

海外で安心してお使いいただくための修理サポートサービスです。海外の対象地域で故障した場合、1年間無料でお客様のノートブック型バイオの現地修理を行います。
また、その際お電話でのサポートも行います。

!ご注意

- 一部の機種はサービス対象外となります。ご了承ください。
- ご購入にはカスタマー登録が必要になります。

対象機種や料金等、詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/VOS/

❑ VAIO設置設定サービス

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、設置設定のサポートを行うサービスです。

メニュー例

VAIOはじめてパック【スタンダード】
VAIOの基本的な設置・設定、プリンターの接続・設定を行い、さらに基本操作を説明します。
インターネット設定パック
インターネットの接続・設定（有線・無線）、メール設定を行います。
VAIOはじめてパック【インターネット設定付き】
上記の2つがセットになったメニューです。バイオの設置・設定からインターネット、メールの接続・設定、基本操作の説明をします。
データお引越しパック
お持ちのPCから新しいバイオへ画像、文書ファイル、住所録などのオリジナルデータを移行します。
パソコンリカバリーパック
トラブルによるリカバリーとOSの再インストールを行います。
OSアップグレード
新しいOSにアップグレード作業を行います。
ロケーションフリー設定パック
ロケーションフリーの設置・設定を行います。

各種メニュー、お申し込みなどの詳細は、ホームページをご覧いただくか、デジホームサポートデスクまでお問い合わせください。
ホームページ
http://www.vaio.sony.co.jp/Setting/

デジホームサポートデスク
電話番号　：（0570）073-111（一般及び携帯電話）
電話番号　：（03）5789-3474（PHS・IP電話）
受付時間　10：00 ～ 18：00

❑ VAIOインターネットセキュリティ

「Norton Internet Security online」
ウイルス対策だけではなく、ブロードバンド環境に不可欠なファイアウォール機能やプライバシー制御、迷惑メール防止などの機能を兼ね備えた総合セキュリティ対策ソフトウェアです。
「Norton AntiVirus online」
インターネットや電子メールから不正進入してくるウイルスやワームを自動的にチェックし駆除するウイルス対策ソフトウェアです。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Vis/

❑ VAIOメール

バイオをお持ちの方に、「お好きな名前@vaio.ne.jp」のメールアドレスをご提供します。プロバイダを変更しても、同じメールアドレスをご使用いただけます。ネットワークライフを快適にする豊富な機能（Webメール、データ保管など）も充実しています。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Mail/

❑ VAIOソフトウェアセレクション

VAIOカスタマー登録をいただいたお客様へのソフトウェアのダウンロード販売サイトです。バイオおすすめのアプリケーション、ゲーム、また本サイト限定のソフトウェアも多数取りそろえています。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Soft/

❑ セミナー・個人レッスン

セミナー
バイオの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制でお客様の「実現したい」を応援する講座を多数ご用意しております。
個人レッスン
バイオの基本的な使いかたから、デジタル写真の加工、ビデオ編集、WordやExeclなどといったソフトウェアのレッスンをお客様のご自宅でマンツーマンで行います。

お申し込み、講座内容や料金等詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Lesson/

❑ 部品の販売について

バイオをより快適にお使いいただくために、一部の部品や付属品を有料で提供いたします。
購入可能な部品例
キーボードやマウスなど簡単に交換できる部品、取扱説明書などの付属品、商品として販売終了したACアダプターやバッテリーなど。
提供窓口
- ソニーサービスステーション（SS）で、部品をご注文いただく方法（SS窓口でのお受け取りは、部品代のみのお支払いになります。）
- マイサポーター（114ページ）でWebより部品をご注文いただく方法（対象機種のみ）
（部品代＋送料・代引き手数料1,155円（税込）がかかります。）

詳しくは、下記ホームページよりご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Parts/

！ご注意
ご登録製品によっては、提供できないサービスがあります。

❑ VAIOカスタマイズサービス

バイオをより快適にお使いいただくために、バイオ本体をお預かりし、各種カスタマイズを行うサービスをご用意しております。1年間の保証がついたソニー純正のサービスです。（対象機種に限ります。）
HDDアップグレードサービス
ハードディスクドライブを大容量のものに交換します。動画を存分に楽しむためにも活用できます。
メモリアップグレードサービス
メモリの増設を行います。メモリーを多く搭載すると動作が安定し処理速度が向上します。
キーボード交換サービス
標準キーボードから、かな文字印刷のない、シンプルですっきりとしたデザインの英語配列キーボードに交換します。

各サービスについて詳しくは、下記ホームページよりご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Customize/

❑ アップデートCD-ROM 送付サービス

ご所有機種に応じた各種サポートCD-ROMを有料で送付させていただくサービスをご用意しております。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/

❑ 訪問修理サービス

お客様のご使用環境などによる訪問修理のご要望にお答えするサービスです。（対象は一部機種を除いたデスクトップ型バイオのみとさせていただきます。）
ソニーのサービスエンジニアがお客様のご自宅へ直接お伺いして、修理を行ないます。
技術料・部品代以外に保証期間の内外に関わらず、別途、訪問料金がかかります。
サービスメニュー、料金、訪問可能な地域などは随時更新されますので、お申し込みの前に「VAIOカスタマーリンクホームページ内」の訪問修理サービスをご確認ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/onsite/

FAXで情報を取り寄せる

「FAX情報サービス」では、バイオに関する各種情報や修理の際に必要な「VAIOカルテ」などをFAXで入手できます。 以下のFAX番号におかけになり、応答する音声ガイダンスに従って操作してください。 なお、各情報の資料番号については、資料番号「0001」で入手できます。
FAX情報サービス
FAX番号：（0466）30-3040
http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/fax.html

！ご注意
一部の機種では提供されません。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、保証期間内であっても、有料修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピュータの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは、「修理を依頼されるときは」(126ページ)をご覧ください。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピューターの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。
なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の手順で「バイオ電子マニュアル」を表示させてご覧ください。

ヒント
本機に付属のソフトウェアは、選択したモデルにより異なります。付属のソフトウェアを確認するには、「本機に付属されているソフトウェア」(150ページ)をご覧になるか、または (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]にポインタをあわせて表示されたメニューをご確認ください。

1 **(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[バイオ電子マニュアル]の順にクリックする。**

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

2 **「バイオ電子マニュアル」の[ソフトウェアの使いかた]－[ソフト紹介／問い合わせ先]－[本機に付属されているソフトウェア]をクリックし、表示されたソフトウェア名をクリックする。**

!ご注意

- Windows Vistaは、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。
本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。
インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。
その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。
なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。
- 付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

AVエンターテインメント

❑ Windows(R) Media Center（ウィンドウズ メディア センター）

VAIOカスタマーリンク

❑ Image Converter 3（イメージ コンバーター）

VAIOカスタマーリンク

ビデオ編集・再生

❑ VAIO Video & Photo ユーティリティ（バイオ ビデオ アンド フォト）

VAIOカスタマーリンク

❑ Windows Media(R) Player（ウィンドウズ メディア プレーヤー）

VAIOカスタマーリンク

❑ WinDVD for VAIO（ドルビーバーチャルスピーカー /ドルビーヘッドホン対応）（ウィンディーブイディー フォー バイオ）

VAIOカスタマーリンク

DVD作成

❑ Click to DVD（クリック トゥ ディーブイディー）

VAIOカスタマーリンク

音楽

❑ SonicStage CP（ソニックステージ シーピー）

VAIOカスタマーリンク

❑ SonicStage Mastering Studio（ソニックステージ マスタリング スタジオ）

VAIOカスタマーリンク

❑ DSD Direct Player（ディーエスディー ダイレクト プレイヤー）

VAIOカスタマーリンク

❑ SoundFLOW（サウンドフロー）

VAIOカスタマーリンク

静止画・写真

❑ Windows(R) フォトギャラリー

VAIOカスタマーリンク

❑ Adobe(R) Photoshop(R) Elements(R) 日本語版

アドビ システムズ　テクニカルサポート
電話番号：（0570）023623（ナビダイヤル）
または（03）5304-2400
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 17時30分
（年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く）
ホームページ：
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html

ホームネットワーク

❑ VAIO Media

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Media Integrated Server

VAIOカスタマーリンク

コミュニケーション

❑ VAIO カメラユーティリティ

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO カメラキャプチャーユーティリティ

VAIOカスタマーリンク

❑ Skype

http://www.skype.com/intl/ja/

インターネット・メール

❑ Windows(R) メール

VAIOカスタマーリンク

❑ Windows(R) Internet Explorer

VAIOカスタマーリンク

❑ Yahoo!ツールバー

ヤフー株式会社　Yahoo!ツールバーカスタマーサービス
電子メール：
https://ms.yahoo.co.jp/bin/toolbar-ms/feedback
※上記ホームページから送信いただけます。
ホームページ：http://www.yahoo.co.jp/
http://help.yahoo.co.jp/help/jp/toolbar/index.html
（Yahoo!ツールバーヘルプページ）

❑ i-フィルター 4（体験版）

デジタルアーツ株式会社　i-フィルター・サポートセンター
電話番号：（03）3580-5678
受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時、
土曜、日曜、祝日：10時～ 20時
電子メール：p-support@daj.co.jp
ホームページ：http://www.daj.co.jp/
ユーザーサポートお問い合わせフォーム
https://sec2.daj.co.jp/userform/ask/form.htm

ISPサインアップ

❑ So-netサービス紹介

ソネットエンタテインメント株式会社
So-netインフォメーションデスク
電話番号：
（一般固定電話から）（0570）00-1414
（携帯PHS・IP電話から）　札幌（011）711-3765
（携帯PHS・IP電話から）　仙台（022）256-2221
（携帯PHS・IP電話から）　東京（03）3446-7555
（携帯PHS・IP電話から）　名古屋（052）819-1300
（携帯PHS・IP電話から）　大阪（06）6577-4000
（携帯PHS・IP電話から）　広島（082）286-1286
（携帯PHS・IP電話から）　福岡（092）624-3910
受付時間：9時～ 21時（年中無休）
ファックス番号：（03）3446-7557
電子メール：info@so-net.ne.jp
ホームページ：http://www.so-net.ne.jp/support/

❑ BIGLOBEで光ブロードバンド

BIGLOBEカスタマーサポート　インフォメーションデスク
電話番号：（0120）86-0962（通話料無料）
（03）3947-0962（携帯電話、PHS、CATV電話の場合）
受付時間：9時～ 21時（365日受付）
ホームページ：https://my.sso.biglobe.ne.jp/support/

ワープロ・表計算

❑ Microsoft(R) Office Personal 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：
東京（03）5354-4500 ／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜、日曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2007 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

❑ Microsoft(R) Office Professional 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：
東京（03）5354-4500 ／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Professional 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜、日曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Professional 2007プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は付属の「Office Professional 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Professional 2007 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

❑ Microsoft(R) Office Personal 2007 with Microsoft(R) Office PowerPoint(R) 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：
東京（03）5354-4500 ／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
Office Personal 2007は4インシデント（4件のご質問）、Office PowerPoint 2007は2インシデント（2件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜、日曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

!ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2007およびOffice PowerPoint 2007関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

実用ツール

❑ Roxio Easy Media Creator

ソニックサポートセンター
電話番号：（03）5232-6400
受付時間：10時～ 12時、13時～ 17時
（土曜、日曜、祝祭日、年末年始を除く）
電子メール：下記のURLのメールサポートフォームよりお問い合わせください。
ホームページ：http://www.sonicjapan.co.jp/support/

❑ 乗換案内 時刻表対応版

乗換案内ユーザサポート
電話番号：（03）5369-4055
受付時間：月曜～金曜：10時～ 12時、13時～ 17時
（年末年始、祝日を除く）
ファックス番号：（03）5369-4064
電子メール：norikae@jorudan.co.jp
ホームページ：http://norikae.jorudan.co.jp/

❑ デジタル全国地図

ゼンリンお客様相談室
電子メール：itsmo_navi@zenrin-datacom.net
ホームページ：http://www.zmap.net/

❑ Adobe(R) Reader(R)

Adobe Reader（無償配布ソフトウェア）に関するテクニカルサポートは、有償サポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。
ホームページ：http://www.adobe.com/jp/support/

❑ ATLAS 翻訳パーソナル LE

ATLASサポートセンター
電話番号：（03）5462-1934
受付時間：月曜～金曜：9時～ 12時、13時～ 17時
（祝日を除く）
ファックス番号：（03）5462-2344
電子メール：atlas-qa@css.fujitsu.com
ホームページ：http://software.fujitsu.com/jp/atlas/

❑ Norton Internet Security(TM)

Sonyユーザ様向けサービスページです。サポート登録や更新キー購入に関してはこちらから！
ホームページ：http://www.symss.jp/jpo-sony-reg/

❑ 一太郎ビューア

一太郎ビューアのサポートサービスは行っておりません。
一太郎ビューアの最新情報につきましては、下記URLをご確認ください。
ホームページ：
https://www.ichitaro.com/viewer/download.html

❑ 大富豪 Plus 体験版

株式会社アンバランス　ユーザーサポート
電話番号：（03）5283-3625
受付時間：月曜～金曜：13時～ 18時（祝日を除く）
ファックス番号：（03）5283-3665
電子メール：support@unbalance.co.jp
ホームページ：http://www.unbalance.co.jp/

❑ AI(エーアイ)囲碁 for(フォー) Windows(ウィンドウズ) 体験版

株式会社アイフォー
電話番号：（03）3347-1126
受付時間：月曜～金曜：11時～ 13時、14時～ 17時
（年末年始、夏期休暇、祝日を除く）
ファックス番号：（03）3345-1127

❑ AI(エーアイ)将棋 for(フォー) Windows(ウィンドウズ) 体験版

株式会社アイフォー
電話番号：（03）3347-1126
受付時間：月曜～金曜：11時～ 13時、14時～ 17時
（年末年始、夏期休暇、祝日を除く）
ファックス番号：（03）3345-1127

❑ AI(エーアイ)麻雀 for(フォー) Windows(ウィンドウズ) 体験版

株式会社アイフォー
電話番号：（03）3347-1126
受付時間：月曜～金曜：11時～ 13時、14時～ 17時
（年末年始、夏期休暇、祝日を除く）
ファックス番号：（03）3345-1127

❑ AQUAZONE(アクアゾーン) Open(オープン) Water(ウォーター) 体験版

ユーザーサポートセンター
電話番号：（03）5339-3610
受付時間：月曜～金曜：10時～ 17時
（年末年始、祝日を除く）
電子メール：support@e-frontier.co.jp
ホームページhttp://www.aztv.gr.jp/

❑ タイピング競馬 体験版

株式会社アンバランス　ユーザーサポート
電話番号：（03）5283-3625
受付時間：月曜～金曜：13時～ 18時（祝日を除く）
ファックス番号：（03）5283-3665
電子メール：support@unbalance.co.jp
ホームページ：http://www.unbalance.co.jp/

❑ ドラネットキッズ入学準備体験版

小学館　ドラネット事務局
電話番号：（0120）745-330
受付時間：火曜～金曜：10時～ 19時、土曜：10時～ 18時
（日曜、月曜、祝日は休み）
電子メール：info@doranet.ne.jp
ホームページ：http://www.doranet.ne.jp/

❑ ドラネット小学一年生体験版

小学館　ドラネット事務局
電話番号：（0120）745-330
受付時間：火曜～金曜：10時～ 19時、土曜：10時～ 18時
（日曜、月曜、祝日は休み）
電子メール：info@doranet.ne.jp
ホームページ：http://www.doranet.ne.jp/

❑ IBM(アイ・ビー・エム) ホームページ・ビルダー 11 体験版

ダイヤルIBM
電話番号：
フリーダイヤル（0120）04-1992
※フリーダイヤル（0120）をご利用いただけないお客さまは、（03）6220-8002をご利用ください。
（通話料金はお客さまのご負担となります。）
受付時間：
9時～ 18時（土曜、日曜、祝日、12月30日～ 1月3日を除く）
ホームページ：
http://www-06.ibm.com/jp/contact/info/dialibm/

❑ えいご漬け 改訂版（体験版）

プラト株式会社
電話番号：（03）3456-3803
受付時間：月曜～金曜：10時～ 19時
（年末年始、祝日を除く）
ファックス番号：（03）3456-3804
電子メール：support@plato-web.com
ホームページ：http://www.plato-web.com/

❑ 筆王 vs(ブイエス) for(フォー) Windows(ウィンドウズ)

株式会社アイフォー
電話番号：（03）3347-1126
（ご購入前の製品に関するご質問等をお受けします。ご購入後の製品に関するご質問は、（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[筆王]－[ユーザー登録・サポート]－[ユーザーサポートについて]をご覧ください。）
受付時間：月曜～金曜：11時～ 13時、14時～ 17時
（年末年始、夏期休暇、祝日を除く）
ファックス番号：（03）3345-1127
（ご購入前の製品に関するご質問等をお受けします。ご購入後の製品に関するご質問は、（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[筆王]－[ユーザー登録・サポート]－[ユーザーサポートについて]をご覧ください。）
ホームページ：http://www.fudeoh.com

❑ てきぱき家計簿マム

テクニカルソフト株式会社　サポートセンター
電話番号：（050）3085-3410（KDDI-IP電話）
受付時間：月曜～金曜：10時～ 17時
（祝日、テクニカルソフト株式会社休業日を除く）
ファックス番号：（050）3033-5041
電子メール：support@softnet.co.jp
ホームページ：http://www.softnet.co.jp/

❑ 時事通信社「家庭の医学」PC版

株式会社時事通信出版局
デジタルコンテンツお問い合わせ担当
電話番号：(03) 3591-8690
受付時間：月曜～金曜：10時～ 17時
(年末年始、祝日を除く)
電子メール：igaku@book.jiji.com
ホームページ：http://book.jiji.com/igaku2006/

❑ 医師に聞ける家庭の医学【AskDoctors】

ソネット・エムスリー株式会社　AskDoctors事務局
電子メール：info@askdoctors.jp
ホームページ：
http://www.askdoctors.jp/public/addInquiryForm.do

❑ サンリオBBご案内

サンリオBB　サポート窓口
電子メール：regi@sanriobb.com

FeliCa関連アプリケーション

❑ かざそうFeliCa

VAIOカスタマーリンク

❑ Edy Viewer

Edy救急ダイヤル
電話番号：(0570) 081-999
(0570) 085-001(ナビダイヤル)
受付時間：9時30分～ 21時
ホームページ：http://www.edy.jp/

❑ SFCard Viewer

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：(03) 5412-3980 ／大阪：(06) 6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)

!ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
(スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[FeliCaポート]ー[JSユーザー登録・確認(プリインストール製品用)]で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ スクリーンセーバーロック2

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：(03) 5412-3980 ／大阪：(06) 6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)

!ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
(スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[FeliCaポート]ー[JSユーザー登録・確認(プリインストール製品用)]で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ かんたん登録2

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：(03) 5412-3980 ／大阪：(06) 6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)

!ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
(スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[FeliCaポート]ー[JSユーザー登録・確認(プリインストール製品用)]で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ FeliCaブラウザエクステンション

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：(03) 5412-3980 ／大阪：(06) 6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)

!ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
(スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[FeliCaポート]ー[JSユーザー登録・確認(プリインストール製品用)]で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ かざしてログオン

VAIOカスタマーリンク

❑ かざポン for VAIO

VAIOカスタマーリンク

❑ パーソナルシェルター

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：
月曜〜金曜：10時〜 19時、土曜、日曜、祝日：10時〜 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール製品用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

設定・ユーティリティ

❑ VAIOナビ

VAIOカスタマーリンク

❑ バイオの設定

VAIOカスタマーリンク

サポート・ヘルプ

❑ バイオ電子マニュアル

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO ハードウェア診断ツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO データリストアツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO データレスキューツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO データ消去ツール

VAIOカスタマーリンク

❑ できるWindows Vista for VAIO

インプレスカスタマーセンター
電話番号：（03）5213-9295

❑ VAIO リカバリユーティリティ

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Update

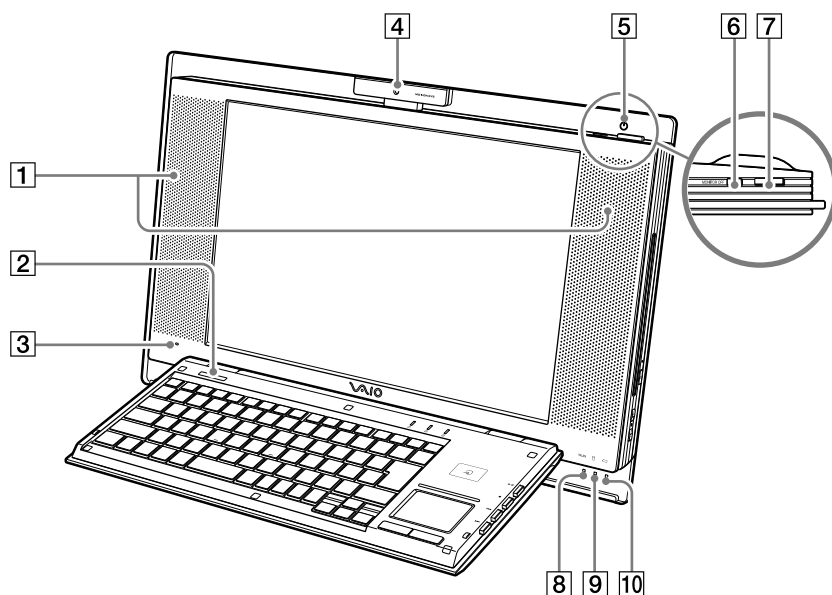
VAIOカスタマーリンク

その他

❑ VAIOオンラインカスタマー登録

ソニーマーケティング株式会社　カスタマー専用デスク
電話番号：（0466）38-1410
（ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ）
受付時間：月曜〜金曜：10時〜 18時
（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

各部の説明

本体前面

1 **スピーカー**

音楽CDやDVD再生時に音が出ます。

2 **IDラベル**

型名が記載されています。

3 **内蔵マイク**

テレビ電話を楽しむときに利用します。

4 **内蔵カメラ**

テレビ電話を楽しむときに利用します。

5 **電源ランプ（29ページ）**

本機の電源が入っている間は、緑色に点灯します。
スリープモード時には、オレンジ色に点滅します。

6 **MONITOR OFF（モニター OFF）ボタン／ランプ**

ディスプレイのバックライトを消したいときに押します。MONITOR OFF（モニター OFF）ボタンを押すと、MONITOR OFF（モニター OFF）ランプがオレンジ色に点灯します。
バッテリ消費を抑えながら音楽を聞くときなどに使用します。

!ご注意

- MONITOR OFF（モニター OFF）ボタンを押した状態にするとディスプレイのバックライトは消えますが、画面表示自体は消えないので、明るいところではうっすらと画面が見えます。
- 「Monitor offボタン設定」画面で「Monitor offを有効にしたとき、同時に音を消す。」にチェックを入れた状態で、MONITOR OFF（モニター OFF）を有効にすると、SoundFLOWのウェイクアップタイマーで設定した時間になっても音は聞こえません。

7 **電源ボタン（29ページ）**

本機の電源を入／切するときに押します。
本機の動作中にこのボタンを押すとスリープモードになります。

8 **WLAN（ワイヤレスLAN）ランプ**

ワイヤレスLANが使える状態のとき、緑色に点灯します。

9 **（ハードディスク）アクセスランプ**

ハードディスクにアクセスしてデータを読み込んだり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

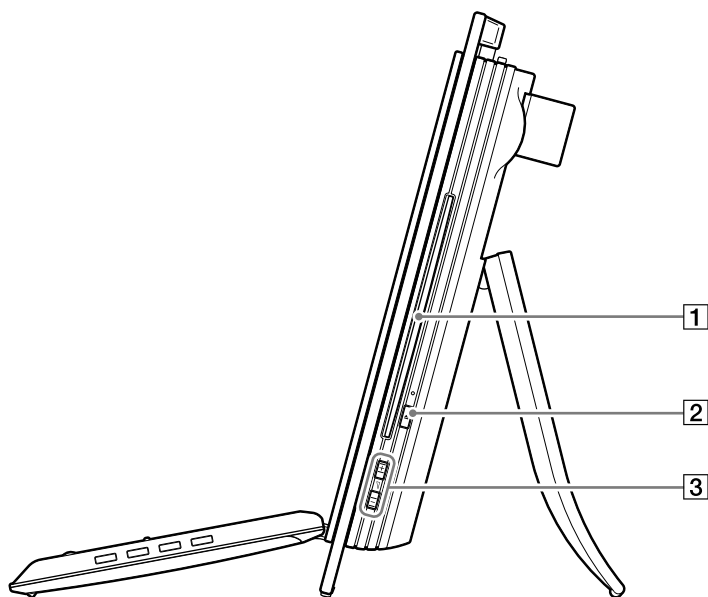
10 **（バッテリ）ランプ**

バッテリの動作状態を知らせます。

!ご注意

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります（液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006%未満です）。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- 電源ランプ、（バッテリ）ランプ、（ハードディスク）アクセスランプ、WLAN（ワイヤレスLAN）ランプの明るさは以下の場合に自動的に制御されます。
  - 特定のソフトウェアが最大化もしくは全画面表示した場合。
  - MONITOR OFF（モニター OFF）ボタンを有効にした場合。

  自動制御の方法は、（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［バイオの設定］をクリックすると表示される「バイオの設定」画面の「ランプ明るさ設定」で変更できます。

本体右側面

1 **DVDスーパーマルチドライブ（DVD±R 2層記録対応）**

CDやDVDのデータを読み込んだり、書き込んだりします（158ページ）。

以降、ドライブと略します。

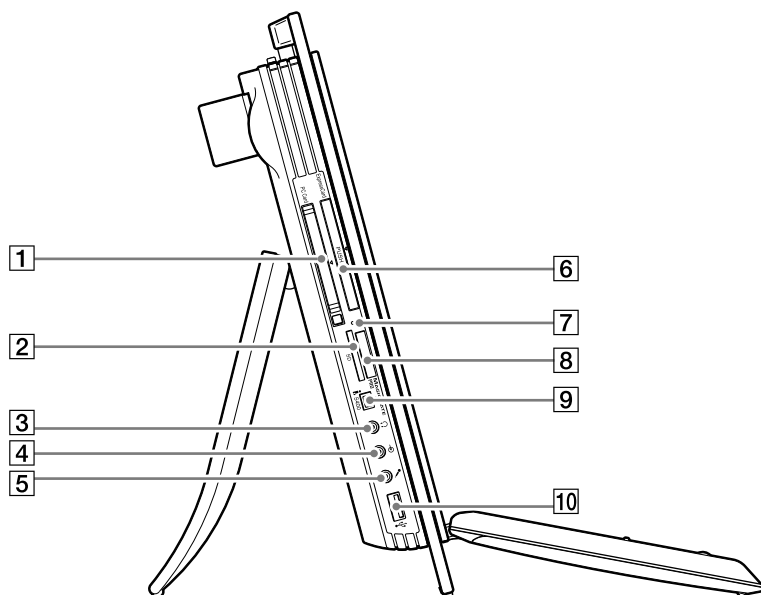
ドライブには、ディスクアクセスランプがあります。

2 **⏏（イジェクト）ボタン**

ドライブからディスクを取り出すときに押します。

3 **音量調節ボタン**

音量を調節するときに押します。

本体左側面

1 **PC Card（PCカード）スロット**

PCカードを取り付けます。

2 **SD（SDメモリーカード）スロット**

SDメモリーカードのデータを読み込んだり、書き込んだりします。

3 **☊（ヘッドホン）コネクタ**

市販のヘッドホンをつなぎます。

4 **⊸（ライン入力）コネクタ**

オーディオ機器の出力コネクタとつなぎます。

5 **（マイクロホン）コネクタ**

市販のステレオマイクをつなぎます。

6 **ExpressCard（エクスプレスカード）スロット**

ExpressCardを取り付けます。

7 **メモリーカードアクセスランプ**

“メモリースティック” やSDメモリーカードのデータを読み出したり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

！ご注意

データ読み出し中やデータ書き込み中に “メモリースティック” やSDメモリーカードを取り出さないでください。

8 **メモリースティックスロット**

“メモリースティック” のデータを読み込んだり、書き込んだりします。

ヒント

本機のメモリースティックスロットは、メモリースティック デュオ アダプターを使用せずに、“メモリースティック デュオ” をそのまま使えます。

9 **i.LINK S400コネクタ（4ピン）**

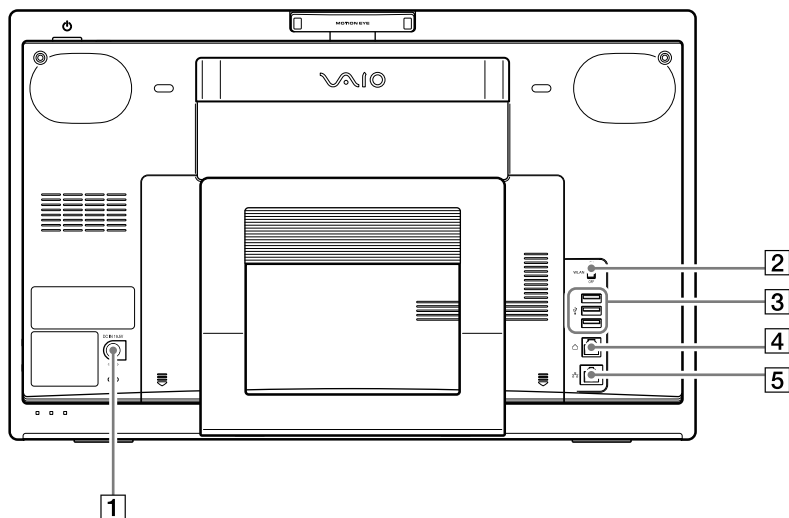
i.LINK対応機器をつなぎます。

10 **USBコネクタ**

USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント

本機のUSBコネクタは、USB2.0規格（High-speed/Full-speed/Low-speed）に対応しています。
USB2.0規格は、USB（Universal Serial Bus）の新しい規格で、USB1.1規格（Full-speed/Low-speed）より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

本体後面

1 DC IN 19.5 Vコネクタ

ACアダプタをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

2 WLANスイッチ

ワイヤレスLANのオン／オフを切り換えます。

3 USBコネクタ

USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント

本機のUSBコネクタは、USB2.0規格（High-speed/Full-speed/Low-speed）に対応しています。
USB2.0規格は、USB（Universal Serial Bus）の新しい規格で、USB1.1規格（Full-speed/Low-speed）より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

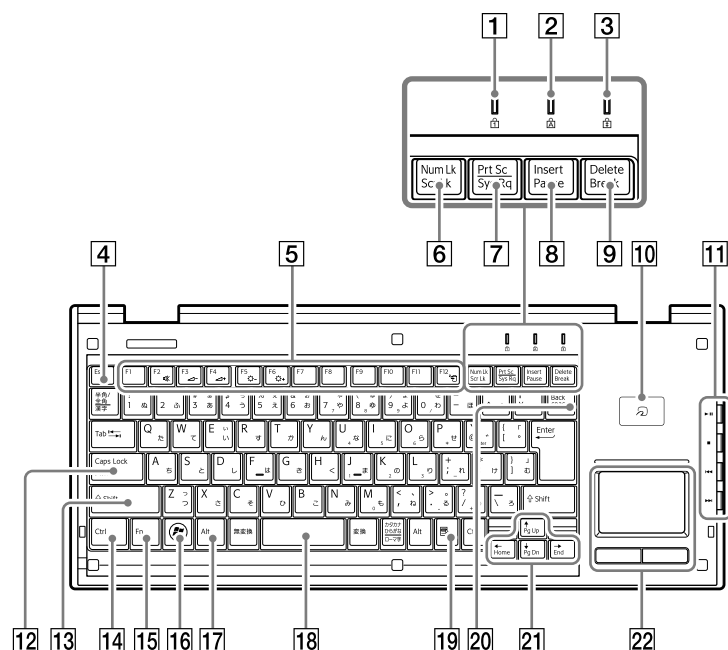
4 （電話回線）ジャック（25ページ）

壁の電話回線とつなぎます。

5 LANコネクタ（25ページ）

ネットワーク（LAN）とつなぎます。

キーボードの各部名称

キーボードを開いた状態

1 **Num Lock(ナム・ロック)ランプ**
Num Lock(ナム・ロック)が有効になっている場合に点灯します。

2 **Caps Lock(キャプス・ロック)ランプ**
Caps Lock(キャプス・ロック)が有効になっている場合に点灯します。

3 **Scroll Lock(スクロール・ロック)ランプ**
Scroll Lock(スクロール・ロック)が有効になっている場合に点灯します。

4 **Esc(エスケープ)キー**
設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。

5 **ファンクションキー**
使用するソフトウェアによって働きが異なります。

6 **NumLk ／ ScrLk(ナム・ロック／スクロール・ロック)キー**
テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます(146ページ)。Num Lk(ナム・ロック)キーを押すと、キーボードの右上にあるNum Lock(ナム・ロック)ランプが点灯し有効になります。もう1度Num Lkキーを押すと無効になります。

7 **Prt Sc ／ Sys Rq(プリントスクリーン／システムリクエスト)キー**
デスクトップ画面全体を画像として本機に取り込みます。

8 **Insert ／ Pause(インサート／ポーズ)キー**
文字を挿入するか、上書きするかを切り換えます。

9 **Delete ／ Break(デリート／ブレイク)キー**
画面のカーソル上の文字を消すときに押します。

10 **FeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)**
FeliCa対応のカードなどを読み取ります。

11 **AVボタン**

- **再生／一時停止ボタン：**
  音楽の再生／一時停止をします。
- **停止ボタン：**
  再生を停止します。
- **前ボタン：**
  再生中の曲の頭出しをしたり、前の曲に戻ります。
- **次ボタン：**
  次の曲に進みます。

12 **Caps Lock(キャプス・ロック)キー**
Shift(シフト)キーを押しながらこのキーを押してCaps Lock(キャプス・ロック)が有効になっているときはアルファベットの大文字が入力できます。

13 **Shift(シフト)キー**
文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。

14 **Ctrl(コントロール)キー**
文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

15 **Fn(エフエヌ)キー**
キーボード上で青字で表示されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。

16 **Windows(ウィンドウズ)キー**
Windowsのスタートメニューが表示されます。

⑰ **Alt(オルト)キー**

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

⑱ **スペースキー**

文字を入力しているとき、このキーを押すと、スペースを挿入できます。

⑲ **アプリケーションキー**

タッチパッドの右ボタンを押したときと同じ働きをします。

⑳ **Backspace(バックスペース)キー**

画面上のカーソルの左の文字を消すときに押します。

㉑ **矢印キー**

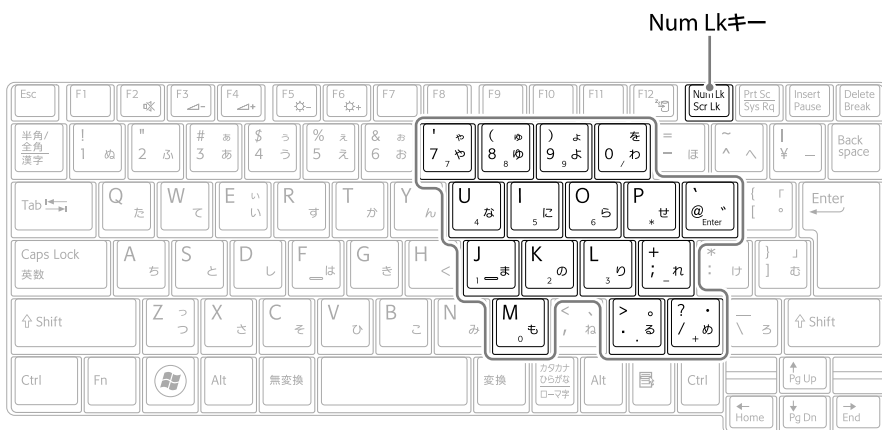
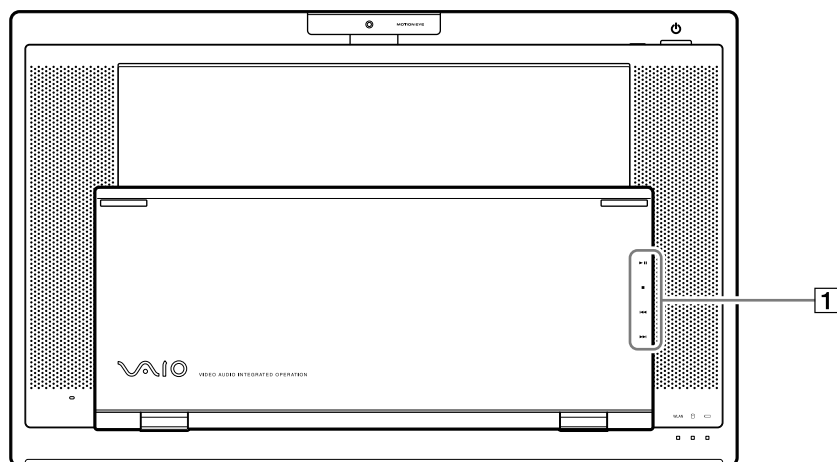
画面上のカーソルを動かします。

㉒ **タッチパッド**

マウスの代わりに画面上のポインタを動かしたり、クリックしたり、ドラッグしたりすることができます。

テンキー

Num Lk(ナム・ロック)キーを押し、キーボードの上部にあるNum Lock(ナム・ロック)ランプが点灯しているときにこれらのキーを押すと、黄色で印字されている数字を入力できます。

例) Uキーを押すと「4」が入力されます。

キーボードを閉じた状態

1 AVボタン

- **再生／一時停止ボタン**：
  音楽の再生／一時停止をします。
- **停止ボタン**：
  再生を停止します。
- **前ボタン**：
  再生中の曲の頭出しをしたり、前の曲に戻ります。
- **次ボタン**：
  次の曲に進みます。

ヒント
これらのボタンは、SoundFLOWを操作することができます。SoundFLOWで設定することにより、キーボードを閉じた状態でも、バックグラウンドで起動中の、マルチメディアキーに対応したソフトウェアを操作することができます。詳しくはSoundFLOWのヘルプを参照してください。

主な仕様

シリーズ			type L［15.4型］	type L［15.4型］	type L［15.4型］
モデル			VGC-LB63B/W・P・L	VGC-LB53B	VGC-LB53HB
OS			Windows Vista™ Home Premium 正規版		Windows Vista™ Home Basic 正規版
プロセッサー[*1*2]	名称		インテル® Celeron® M プロセッサー 440		
	動作周波数		1.86 GHz		
	2次キャッシュメモリー(CPU内蔵)		1MB		
	システムバス		533MHz		
チップセット			インテル® 943GML Express チップセット		
メインメモリー	標準/最大		1GB(512MB×2)/2GB[*3](ビデオメモリー共有)		512MB(512MB×1)/2GB[*3] (ビデオメモリー共有)
	メモリーバス		DDR2 SDRAM、DDR2 533対応(533MHz動作) デュアルチャンネル転送対応[*4]		DDR2 SDRAM、DDR2 533対応 (533MHz動作)
	スロット数(空き)		SO-DIMMスロット×2 (0)		SO-DIMMスロット×2 (1)
表示機能	グラフィックアクセラレーター		インテル® グラフィックス・メディア・アクセラレーター 950(チップセットに内蔵)		
	利用可能な全グラフィックスメモリー[*5]		最大224MB		最大64MB
	液晶表示装置 (本体/専用ディスプレイ)		15.4型ワイドTFTカラー液晶［クリアブラックLE液晶］ 最大傾斜角度:+30度〜+12度(垂直からの可動範囲) 解像度:WXGA 1280×800ドット		
	表示モード	本体/専用 ディスプレイ[*6]	最大約1619万色[*7] (1280x800, 1024x768, 800x600)		
記憶装置	ハードディスクドライブ[*8]		約100GB(Serial ATA、5400回転/分) (HDDリカバリー領域最大約11GB(出荷時)/C:残り)		約100GB(Serial ATA、5400回転/分) (HDDリカバリー領域最大約8GB(出荷時)/C:残り)
	BD/DVD/CD ドライブ[*9*10]	ドライブ	DVDスーパーマルチドライブ(DVD±R 2層記録対応)[*11]		
		対応メディア (読みだし)	DVD、CD		
		対応メディア (書きこみ)	DVD+R(2層、1層)、DVD+RW、DVD-R(2層、1層)、DVD-RW、DVD-RAM、CD-R、CD-RW		
主な外部接続端子	本体	USB	Hi-Speed USB(USB 2.0)×4		
		i.LINK(IEEE1394)	4ピン(S400)×1		
		ネットワーク(LAN)	100BASE-TX/10BASE-T×1		
		オーディオ入力	ステレオ、ミニジャック×1		
		ヘッドホン出力	ステレオ、ミニジャック×1		
		マイク入力	ステレオ、ミニジャック×1		
		モデム用モジュラージャック[*12]	LINE×1(最大56kbps[*13] (V.92およびV.90対応)/最大14.4kbps(FAX時))		
		その他	DC IN(電源供給)×1		
ワイヤレス通信[*14]			ワイヤレスLAN(内蔵)(IEEE 802.11b/g準拠、WPA2対応、Wi-Fi適合)[*15*16]		
FeliCaポート(非接触ICカードリーダー/ライター)			搭載(キーボードに内蔵)		
メモリースティックスロット[*17]			メモリースティック(標準/Duoサイズ対応、メモリースティック PRO対応、高速データ転送対応、マジックゲート対応)×1		
その他対応メモリーカードスロット[*18]			SDメモリーカード[*19]/マルチメディアカード(MMC)×1		
PCカードスロット			ExpressCard/54(ExpressCard/34対応)×1、Type II×1		
オーディオ機能			DSD対応高音質サウンドチップ「Sound Reality™」 (インテル® High Definition Audio準拠)、内蔵モノラルマイク		
スピーカー/アンプ			ステレオ:最大3W+3W(JEITA)		
内蔵カメラ			Webカメラ《MOTION EYE》(有効画素数31万画素)		
キーボード			FeliCaポート/タッチパッド付きキーボード		
マウス/ポインティングデバイス			インテリジェントタッチパッド(キーボードに搭載)		
主な付属品			取扱説明書、ACアダプター、リチャージャブルバッテリーパック、 8cmディスクアダプター VGP-VDA1、 Microsoft® Office Personal 2007 プレインストールパッケージ		
電源[*20]			リチウムイオンバッテリーまたはACアダプター(AC100〜240V、50/60Hz) (付属電源コードはAC100V用)		
消費電力	通常時		約48W		
	スタンバイ時		約1.6W		
バッテリー駆動時間[*21]			約1.5時間		
バッテリー充電時間[*22]			約4時間		
温湿度条件			動作時:5〜35℃、20〜80%、保存時:−20〜60℃(ただし結露しないこと)		
外形寸法			本体最小傾斜時・キーボード収納時:約 幅470.2mm×高さ289.9mm×奥行141.7mm 本体最大傾斜時・キーボード使用時:約 幅470.2mm×高さ257.9mm×奥行363.5mm		
質量			約4.5kg(バッテリーパック装着時)		
対応増設メモリーモジュール(別売)			VGP-MM512M、VGP-MM1GA		

*1　プロセッサーの処理能力は、使用状況により変化します。
*2　VAIOは、インテル® バーチャライゼーション・テクノロジーには対応していません。
*3　メモリーを最大に増設するには出荷時に装着済のメモリーモジュールを取り外す必要があります。
*4　シングルチャンネル(2枚1組でない)転送はパフォーマンスが不足する場合があります。デュアルチャンネル(2枚1組)転送でお使いください。
*5　利用可能な全グラフィックスメモリーとは、新たにWindows Vistaで分類されたグラフィックスメモリーを意味いたします。グラフィックスメモリーには専用ビデオメモリー、システムビデオメモリー及び共有システムメモリーすべてを含みます。共有システムメモリーは使用動作環境とシステムメモリーサイズにより変化します。
*6　本体から出力可能な表示モードです。
*7　グラフィックアクセラレーターのディザリング機能により実現しています。
*8　1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。Windowsのシステムでは、1GBを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は、若干小さい数値になります。ファイルシステムはNTFSです。
*9　本機のドライブは8cmディスクの書きこみには対応しておりません。
*10 使用するディスクによっては一部の記録/再生に対応していない場合があります。
*11 本機のドライブは8cmディスクには対応していません。付属の8cmディスクアダプターで読みだしにのみ対応します。
*12 一般電話回線のみに対応しています。交換機(PBXやホームテレホンなど)を経由する回線には対応していません。
*13 56kbpsはデータ受信時の理想値です。データ送信時は規格上33.6kbpsが最大速度になります。
*14 通信速度(IEEE 802.11b：規格値11Mbps、IEEE 802.11a/g：規格値54Mbps、Bluetooth 2.0+EDR：規格値2.1Mbps)は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波状況により通信が切断される場合があります。通信速度の規格値は、無線規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
*15 IEEE 802.11gは、IEEE 802.11bとの混在環境では相互に干渉の恐れがあり、通信速度が低下する場合があります。
*16 IEEE 802.11b/gについては、1 ～ 13チャンネルに対応しています。
*17 機器により使用できるメモリースティックの容量に制限があります。
使用する機器の取扱説明書、あるいはソニードライブの「メモリースティック対応表 www.sony.co.jp/mstaiou」をご確認ください。
*18 SDメモリーカードの著作権保護機能には対応していません。
*19 SDHCメモリーカードに対応しています。
*20 その他の仕様については、ACアダプタのラベルをご覧ください。
*21 JEITAバッテリー動作測定法(Ver.1.0)にもとづく駆動時間です。駆動時間は使用状況および設定等により変動します。
*22 充電時間は使用状況により、記載時間と異なる場合があります。

本機に付属されているソフトウェア

ご使用いただいている機種によって、付属されているソフトウェアが異なります。
次の表をご覧いただき、ご使用いただいている機種に付属されているソフトウェアをご確認ください。

表の見かた

○：ご使用の機種に付属されています。
□：ご使用の機種にインストーラーが付属されておりますので、ソフトウェアをお使いいただくときに個別にインストールしてください。
－：ご使用の機種には付属されておりません。

	VGC-LB93S	VGC-LB93HS	VGC-LB63B・LB53B	VGC-LB53HB
AVエンターテインメント				
Windows(R) Media Center	○	－	○	－
Image Converter 3	○	○	○	○
ビデオ編集・再生				
VAIO Video & Photo ユーティリティ Ver.1.1	○	○	○	○
Windows Media(R) Player 11	○	○	○	○
WinDVD for VAIO（ドルビーバーチャルスピーカー/ドルビーヘッドホン対応）	○	○	○	○
DVD作成				
Click to DVD Ver.2.6	○	○	○	○
音楽				
SonicStage CP Ver.4.3	○	○	○	○
SonicStage Mastering Studio Ver.2.3	○	○	○	○
DSD Direct Player	○／－*	○／－*	－	－
SoundFLOW	○	○	○	○
静止画・写真				
Windows(R) フォトギャラリー	○	○	○	○
Adobe(R) Photoshop(R) Elements(R) 5.0 日本語版	□／－*	□／－*	－	－
ホームネットワーク				
VAIO Media Ver.6.0	○	○	○	○
VAIO Media Integrated Server Ver.6.0	○	○	○	○
コミュニケーション				
VAIO カメラユーティリティ	○	○	○	○
VAIO カメラキャプチャーユーティリティ	○	○	○	○
Skype	○	○	○	○
インターネット・メール				
Windows(R) メール	○	○	○	○
Windows（R）Internet Explorer 7	○	○	○	○
Yahoo!ツールバー	○	○	○	○
i-フィルター 4（体験版）	○	○	○	○
ISPサインアップ				
So-netサービス紹介	○	○	○	○
BIGLOBEで光ブロードバンド	○	○	○	○
ワープロ・表計算				
Microsoft(R) Office Personal 2007	○／－*	○／－*	○	○
Microsoft(R) Office Professional 2007	○／－*	○／－*	－	－
Microsoft(R) Office Personal 2007 with Microsoft(R) Office PowerPoint(R) 2007	○／－*	○／－*	－	－

	VGC-LB93S	VGC-LB93HS	VGC-LB63B・LB53B	VGC-LB53HB
実用ツール				
Roxio Easy Media Creator	□	□	□	□
乗換案内 時刻表対応版	○	○	○	○
デジタル全国地図	○	○	○	○
Adobe(R) Reader(R) 8.0	○	○	○	○
ATLAS 翻訳パーソナル 2007 LE	○	○	○	○
Norton Internet Security(TM) 2007	○	○	○	○
一太郎ビューア 5.0	○	○	○	○
大富豪 Plus5 体験版	○	○	○	○
AI囲碁 Version 15.5 for Windows 体験版	○	○	○	○
AI将棋 Version 13.5 for Windows 体験版	○	○	○	○
AI麻雀 Version 9.5 for Windows 体験版	○	○	○	○
AQUAZONE Open Water 体験版	○	○	○	○
タイピング競馬 体験版	○	○	○	○
ドラネットキッズ入学準備体験版	○	○	○	○
ドラネット小学一年生体験版	○	○	○	○
IBM ホームページ・ビルダー 11 体験版	□	□	□	□
えいご漬け 改訂版(体験版)	○	○	○	○
筆王vs for Windows	○	○	○	○
てきぱき家計簿マム5	○	○	○	○
時事通信社「家庭の医学」PC版	○	○	○	○
医師に聞ける家庭の医学【AskDoctors】	○	○	○	○
サンリオBBご案内	○	○	○	○
FeliCa関連アプリケーション				
かざそうFeliCa	○	○	○	○
Edy Viewer V2.0	○	○	○	○
SFCard Viewer	○	○	○	○
スクリーンセーバーロック2	○	○	○	○
かんたん登録2	○	○	○	○
FeliCaブラウザエクステンション	□	□	□	□
かざしてログオン	○	○	○	○
かざポン for VAIO	○	○	○	○
パーソナルシェルター	○	○	○	○
設定・ユーティリティ				
VAIOナビ	○	○	○	○
バイオの設定	○	○	○	○
サポート・ヘルプ				
バイオ電子マニュアル	○	○	○	○
VAIO ハードウェア診断ツール	○	○	○	○
VAIO データリストアツール	○	○	○	○
VAIO データレスキューツール	○	○	○	○
VAIO データ消去ツール	○	○	○	○
できるWindows Vista for VAIO	○	○	○	○
VAIO リカバリユーティリティ	○	○	○	○
VAIO Update Ver.3.0	○	○	○	○
その他				
VAIOオンラインカスタマー登録	○	○	○	○

* ご購入時に選択されたモデルによって、付属されるソフトウェアは異なります。

注意事項

使用上のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

ここに記載されているご注意の他に、本機の画面に表示される「重要なお知らせ」の内容をご確認ください。
「重要なお知らせ」は、本機をはじめてお使いになる際、画面に表示されます。
まだ「重要なお知らせ」をご覧になっていない場合は、(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[重要なお知らせ]をクリックして表示される画面をご覧ください。

本機の取り扱いについて

- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど、異常な高温になる場所には置かないでください。故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 本機は精密機器であるため、ほこりが多い場所では使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- 風通しが悪い場所では使用しないでください。
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近くに置かないでください。故障の原因となることがあります。

有寿命部品について

本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品とは、ご使用による磨耗・劣化が進行する可能性のある部品をさします。各有寿命部品の寿命は、ご使用の環境やご使用頻度などの条件により異なります。著しい劣化・磨耗がある場合は、機能が低下し、製品の性能維持のため交換が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

液晶ディスプレイについて

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006%未満です)。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。そのままご使用になると故障の原因となります。
結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。
管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。全体が室温に暖まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

ハードディスクの取り扱いについて

本機には、ハードディスク(アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置)が内蔵されています。
何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- 衝撃を与えないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- お買い上げ時に搭載されているハードディスクは取りはずさないでください。

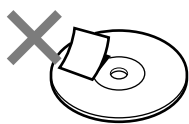
ハードディスクのバックアップについて

ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクに保存している文書などのデータは定期的にバックアップをとることをおすすめします。ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。データの損失については、一切責任を負いかねます。

ディスクの取り扱いについて

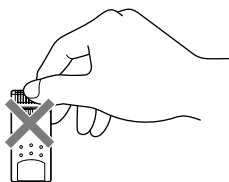
ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 下図のようにディスクの外縁を支えるようにして持ち、記録面(再生面)に触れないようにしてください。

- ラベルの貼付に起因する不具合やメディアの損失については、弊社では責任を負いかねます。ご使用になるラベル作成ソフトウェアやラベル用紙の注意書きをよくお読みになり、お客様の責任においてご使用ください。
- ラベルを貼付したディスクをお使いの場合、正しく貼られていることを確認してください。ラベルの端が浮いていたり、粘着力が弱いと本体内部でラベルが剥がれて本機の故障の原因となります。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど鋭利なもので文字を書くと記録面を傷つける原因となります。

“メモリースティック”の取り扱いについて

“メモリースティック”に記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

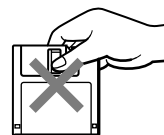
- 端子部には手や金属で触れないでください。

- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック”に付属の収納ケースに入れてください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所

“メモリースティック デュオ”使用上のご注意

- メモリースティック デュオ アダプターは、“メモリースティック デュオ”が装着されていない状態で本機に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。
- “メモリースティック デュオ”のメモエリアに書き込むときは、内部を破損するおそれがあるため、先の尖ったペンは使用せず、あまり強い圧力がかからないようご注意ください。
- 挿入するときは、“メモリースティック”の向きにご注意ください。無理に逆向きに入れようとすると本機のメモリースティックスロットや“メモリースティック”本体を破損するおそれがあります。
- “メモリースティック”と“メモリースティック デュオ”は同時に差し込まないでください。本機のメモリースティックスロットや“メモリースティック”、“メモリースティック デュオ”本体が破損するおそれがあります。

フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。

- 液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、必ずケースなどに入れて保管してください。

- ラベルが正しく貼られているか確認してください。ラベルがめくれていたり、浮いていると本体内部にディスクが貼り付いて本機の故障の原因となったり、大切なディスクにダメージを与えることがあります。

ワイヤレス機能の取り扱いについて

- 本機のワイヤレス機能は、日本国内のみでお使いください。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ワイヤレス対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。
  そのためワイヤレス対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波環境により通信が切断される場合があります。
- 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。
- IEEE802.11a準拠のワイヤレスLAN機能とIEEE802.11b/g準拠のワイヤレスLAN機能とでは、周波数帯域が異なるため接続することはできません。
- 緊急でワイヤレスLAN機能を停止させる必要がある場合は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([インターネット／ネットワーク] – [LAN ／ワイヤレスLAN] – [ワイヤレスLANで通信する]の順にクリックする。)

PCカードの取り扱いについて

- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でカードの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部には手や金属で触れないでください。
- カード内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- カードを水でぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
  - ほこりの多い場所

ExpressCard モジュールの取り扱いについて

- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でExpressCard モジュールの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部には手や金属で触れないでください。
- ExpressCard モジュール内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- ExpressCard モジュールを水でぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
  - ほこりの多い場所
- ExpressCard スロットからはみ出すExpressCard モジュールを挿入してお使いの場合は、次の点にご注意ください。
  - ExpressCard モジュールを挿入した状態で、本機を移動しないでください。
    移動時にExpressCard モジュールに強い衝撃を与えると、本機が破損するおそれがあります。
  - ExpressCard モジュール部分を持って本機を持ち上げるなど、ExpressCard モジュールに力を加えると、本機が破損するおそれがあります。
  - ExpressCard モジュールを挿入した状態で、本機をカバンやキャリングケースなどの中へ入れないでください。
    ExpressCard モジュールに予期せぬ力が加わり、本機が破損するおそれがあります。

内蔵カメラ(MOTION EYE)についてのご注意

- カメラのレンズ前面のプレートに触らないでください。
- プレートが汚れている場合は、やわらかい布などで汚れを拭き取ってください。汚れたままだと、取り込む画像が劣化します。
- 電源の入／切にかかわらず、カメラを太陽に向けないでください。カメラの故障の原因となります。
- i.S400(i.LINK)コネクタにi.LINK対応機器をつなぎ、動画や静止画を撮影するときは、内蔵カメラ(MOTION EYE)から撮影することはできません。

ACアダプタについてのご注意

- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスリープモードのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのACアダプタをご使用ください。

- ACアダプタを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプタは危険ですので、そのまま使用しないでください。

バッテリについてのご注意

バッテリについて

- 付属のバッテリは本機専用です。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのバッテリをご使用ください。
- AC電源につないでいるときは、バッテリを装着しているときでも、AC電源から電源が供給されます。
- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスリープモードのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。必ず、本機の電源を切ってから取りはずしてください。
- バッテリは消耗品です。バッテリ駆動時間が短くなってきた場合には、弊社指定の新しいバッテリと交換をしてください。バッテリの交換に関しご不明な点などがございましたら、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

はじめてバッテリをお使いになるときは

付属のバッテリは完全には充電されていないため、はじめてお使いになるときからバッテリが消耗している状態になっていることがあります。

バッテリの充電について

バッテリは充電後、使用していない場合でも、少量ずつ自然に放電するため、長時間放置した場合、使用可能時間が短くなる場合があります。
使用前には、再度、充電することをおすすめします。
また、充電回数、使用時間、保存期間に伴い少しずつ性能が劣化していきます。このため、充分に充電を行っても使用可能時間が短くなったり、寿命で使えなくなることがあります。
この場合には、新しいバッテリをお買い求めください。

省電力動作モードでお使いのときは

スリープ時にバッテリが消耗すると、スリープモードに移行する前の作業状態や保存していないデータが失われてしまい、元の状態に復帰できなくなります。スリープモードに移行させる前には、必ず作業中のデータを保存してください。
なお休止状態では、作業状態や作業中のデータをハードディスクに保存しますので、バッテリが消耗してもデータがなくなることはありません。
長時間ACアダプタを使わない場合は、休止状態へ移行させるようにしてください。

バッテリの残量が少ないときは

本機は、通常モード時にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になるようお買い上げ時に設定されていますが、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。
長時間席をはずすときなどにバッテリが消耗した場合、自動的に休止状態にならないと、本機の電源が切れて作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。
バッテリでご使用のときは、こまめにデータを保存したり、手動で休止状態にしてください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows Vista用、DOS/V用、PC/AT互換機用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。
市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作の保証はいたしかねます。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。
また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾契約書をよくお読みの上、お使いください。

ドライブの地域番号書き換えについて

お買い上げ時、本機のドライブの地域番号は「2」(日本)に設定されています。一部のソフトウェアにはこの地域番号を書き換える機能がありますが、お使いにならないでください。この機能をお使いになった結果生じた不具合につきましては、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

8cmディスクを使用するときのご注意

8cmディスクをお使いになるときは

本機で8cmディスクを使うときは、必ず8cmディスクを付属の8cmディスクアダプターに取り付けてから、本機のドライブに入れてください。

!ご注意

- アダプターを装着しないで使用したり、正しく装着されていない状態で使用すると、8cmディスクが認識されなかったり、取り出せなくなったり、ディスクの破損、または本機の故障の原因になることがあります。
- ディスクに指紋等の汚れが付いたときは、やわらかい布などでディスクの中心から外へ向かって放射状に軽くふき取ってからご使用ください。
- このアダプターは本機のみで使用できます。
- 使用できるのは8cmディスクのみです。
- ディスクの種類によっては使用できない場合があります。
- 8cmディスクの書き込みには対応していません。
- お使いにならないときは、ディスクをアダプターからはずしてください。ディスクをアダプターに取り付けたまま長時間放置すると、ディスクが変形する場合があります。

CD再生／録音についてのご注意

- 本機は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。
- 高速読み書き対応のドライブを搭載しているため、ディスクの状態によっては回転音が気になる場合がありますが、機能に問題はありません。

DualDiscをお使いになるときのご注意

DualDiscとは、DVD規格に準拠した面と音楽専用の面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。
ただし、この音楽専用の面は、コンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証できません。

録画／録音についてのご注意

- 著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組は、録画できません。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

お手入れ

本機のお手入れ

- 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてからお手入れをしてください。
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
  汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

!ご注意

ゴミや汚れを拭き取る際、強く拭くとキズがつく恐れがあります。

液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイは、特殊な表面処理がされていますので、なるべく表面に触れないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 化学ぞうきんや市販のOAクリーナー、ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。

キーボードのお手入れ

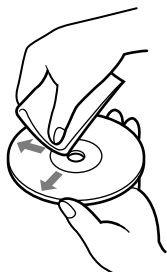
キーボードは長く使っていると、キーが汚れたり、キーの間にゴミやほこりがたまります。キーの間にゴミやほこりがたまると、キーを押しても目的の文字を入力できなくなったり、押したキーがへこんだまま元に戻らなくなることがあります。この場合は、キーボードを掃除します。

- 表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- キーの側面は、綿棒でこすり取ってください。
- キーボード(キートップ)の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。
  キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

!ご注意

- 本機の電源を切ってからキーボードを掃除してください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

ディスクのお手入れについて

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーや書き込みエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 普段のお手入れは、柔らかい布で下図のようにディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で湿らせた布で拭いたあと、更に乾いた布で水気をふき取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

レンズ前面のプレートのお手入れ

内蔵カメラ（MOTION EYE）のレンズ前面のプレートのほこりは、ブロワーブラシか、柔らかい刷毛でとります。
汚れがひどいときは、市販のレンズクリーニングクロスなどで拭き取ってください。傷がつきやすいので、強くこすらないでください。

廃棄時などのデータ消去について

コンピュータを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。
データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスク内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。
廃棄時などにハードディスク上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスク上に記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。

データを消去するためには、以下の方法があります。

- 本機に搭載されているVAIO データ消去ツールを使って、ハードディスクのデータを完全に消去する
  VAIO データ消去ツールについて詳しくは、88ページをご覧ください。
- 有償サービスを利用する
  消去に関する詳しい情報がVAIOカスタマーリンク ホームページに掲載されています。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/hddformat.htmlをご覧ください。
- ハードディスクを破壊する
  ハードディスク上のデータを物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れないようにします。

使用できるディスクとご注意

使用できるディスク

◎：再生、記録可能

○：再生のみ可能、記録不可

×：再生、記録不可

DVDスーパーマルチドライブ（DVD±R 2層記録対応）

ディスクの種類	使用の可・不可
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL（Double Layer）	◎ *1
DVD-R DL（Dual Layer）	◎ *2
DVD+R ／ RW	◎
DVD-R ／ RW	◎ *3 *4
DVD-RAM	◎ *5 *6
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R ／ RW	◎
Video CD	○

*1　DVD+R Double Layerの書き込みは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクのみで可能です。

*2　DVD-R Dual Layerの書き込みは、「DVD-R Dual Layer」に対応したDVD-Rディスクのみで可能です。

*3　DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0 ／ 2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*4　DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1 ／ 1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*5　DVD-RAMは、カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。

*6　DVD-RAMは、Ver.1（片面 2.6Gバイト）の書き込みには対応していません。
DVD-RAM Version 2.2/12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0ディスクには対応しておりません。

ご注意

- 使用するディスクによっては、一部の記録／再生に対応していない場合があります。
- 本機のドライブは8cmディスクの書き込みには対応していません。
- 付属の8cmディスクアダプターでの読み出しにのみ対応します。
- 本機では、円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状のディスク（星型、ハート型、カード型など）や破損したディスクを使用すると本機の故障の原因となります。
- DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RWにはDVDビデオ形式、DVD-RW ／ DVD-RAMにはDVDビデオレコーディング規格での記録が可能です。
- DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RW ／ CD-R ／ CD-RWはソニー製のディスクをお使いになることをおすすめします。
- 6倍速記録DVD-RWは、DVD-RW 6倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 8倍速記録DVD+RWは、DVD+RW 8倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 複製不可の設定がされたDVD-ROMやDVDビデオは、バックアップを作成することはできません。
- 本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。
- Dual Discとは、DVD規格に準拠した面と音楽再生専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。この音楽専用面は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠していないため、再生を保証できません。
- CPRMに対応したDVD-RW ／ DVD-RAMを再生するには、インターネットに接続している必要があります。
  * CPRM：Content Protection for Recordable Mediaとは、「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術です。

書き込んだディスクを他のプレーヤーで読み込むときのご注意

- CD-R ／ CD-RWを使用して作成した音楽CDは、ご使用のCDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- DVD+R DL ／ DVD-R DL ／ DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RW ／ DVD-RAMを使用して作成したDVDは、ご使用のDVDプレーヤーによっては再生できない場合があります。

ディスク書き込みに失敗しないためには

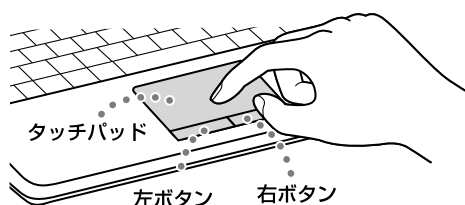
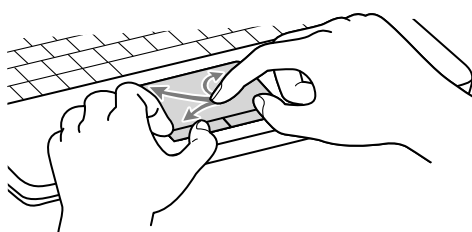
ディスクに書き込みの際は、下記のようなことにご注意ください。書き込みに失敗することがあります。
書き込みに失敗したディスクについては、その原因がいかなるものであっても、弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

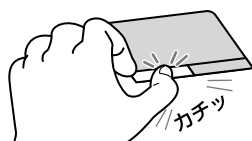
- コンピュータのCPUやハードディスクに負荷がかかる動作を避けてください。
- 常駐型のディスクユーティリティや、ディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、不安定な動作の原因となりますので使用をお控えください。
- キーボードやマウスの操作をすると振動で失敗する場合があります。
- ユーザーの簡易切り替えを行わないでください。
- 本機に振動や衝撃などを加えないでください。
- 本機につないだi.LINKケーブルおよび他のi.LINK対応機器につないだi.LINKケーブルを抜き差ししたり、本機やi.LINK対応機器の電源を入／切しないでください。
- 本機につないだUSBケーブルおよび他のUSB対応機器につないだUSBケーブルを抜き差ししたり、本機やUSB対応機器の電源を入／切しないでください。
- インターネットに接続したり電子メールを送受信するなど、他のコンピュータやネットワークにアクセスしないでください。

タッチパッドの使いかた

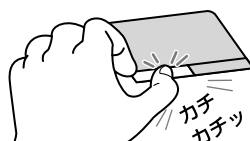
タッチパッドは、画面上のポインタを動かしてパソコンに指示を送るためのものです。
ポインタは や など、場所や作業状態で形が変わります。

タッチパッドの動きにあわせて、ポインタも同じ動きをします。
タッチパッドは、指でなぞって使います。

!ご注意
ポインタを移動させる場合は、タッチパッドから指が離れないように動かしてください。タッチパッドを軽くたたいてしまうと、ポインタに異なる指示を与えることになります。

ヒント
タッチパッドの端まで指がきてしまい、これ以上動かすことができない...
という場合は、いったん指をタッチパッドから離し、操作しやすい場所に指を置き直してください。

クリックする

左ボタンをゆっくり1回「カチッ」と押して、指を離します。

ヒント
タッチパッドを軽く指で1回たたいても同じ働きをします。

ダブルクリックする

左ボタンを2回続けて「カチカチッ」と押して、指を離します。

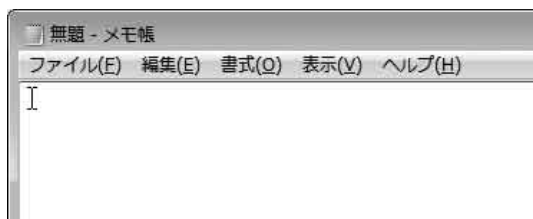
ヒント
タッチパッドを軽く2回続けてたたいても同じ働きをします。

ドラッグアンドドロップする

左ボタンを押したままタッチパッド上の指を動かしたい方向に動かし、目的の場所で左ボタンを離します。

文字入力のしかた

1 文字を入力する場所をクリックする。

無題 - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

2 ひらがな入力など、入力モードを選択する。

デスクトップ画面上の言語バーの枠の部分をクリックして、メニューから入力モードを選択します。

表示	入力モード
あ（あ）	ひらがな
カ（カ）	全角カタカナ
A（A）	全角英数
_ｶ（_ｶ）	半角カタカナ
A（A）	半角英数

ヒント
漢字を入力する場合は、ひらがなを選択してください。

3 文字を入力する。

キーボードの文字キーで文字を入力します。
ローマ字の入力については、163ページをご覧ください。

ヒント
- 文字を入力する場合は、単語ごとに入力することをおすすめします。
- **押したキーの右下に印字されているひらがなが入力されてしまう場合は...**
  かな入力になっていますので、言語バーの右側にある［KANA］をクリックしてください。

4 文字を変換する。（ひらがな入力している場合のみ）

スペースキーを押して、文字を変換します。
スペースキーを押すたびに文字は変換されるので、入力したい文字が表示されるまでスペースキーを数回押してください。

5 文字を確定する。

Enterキーを押して、入力する文字を確定します。

空白(スペース)を入力するには

スペースキーを押します。

VAIO| ⇨ VAIO |

ヒント
前の文字を確定してからスペースキーを押してください。

文字を削除するには

文字を削除するには、BackspaceキーまたはDeleteキーを押します。

- **Backspaceキー**：
  カーソルの左にある文字が削除されます。

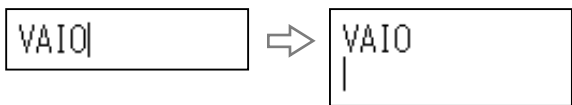
文字の|さくじょ ⇨ 文字|さくじょ

- **Deleteキー**：
  カーソルの右にある文字が削除されます。

文字の|さくじょ ⇨ 文字の|くじょ

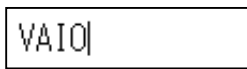
改行するには

Enterキーを押します。

VAIO| ⇨ VAIO
|

ヒント
前の文字を確定してからEnterキーを押してください。

アルファベットの大文字を入力するには

Shiftキーを押したまま、アルファベットキーを押します。

VAIO|

ヒント
常に大文字を入力する場合などは、Shiftキーを押したままCaps Lockキーを押して、Caps Lockランプを点灯させた状態で入力してください。Shiftキーを押さなくても、そのままアルファベットキーを押して大文字を入力することができます。

特殊な文字を入力するには

読みを入力することで変換できる記号があります。

入力したい文字	読み
○ ● ◎	まる
△ ▲ ▽ ▼	さんかく
□ ■ ◇ ◆	しかく
☆ ★	ほし
↑ ↓ ← →	やじるし

入力したい文字	読み
「」 () 【】	かっこ
～	から
…	てん
〒	ゆうびん
♪	おんぷ

ローマ字早見表

❏ 清音

あ	い	う	え	お
A	I	U	E	O
か	き	く	け	こ
KA	KI	KU	KE	KO
さ	し	す	せ	そ
SA	SI(SHI)	SU	SE	SO
た	ち	つ	て	と
TA	TI(CHI)	TU(TSU)	TE	TO
な	に	ぬ	ね	の
NA	NI	NU	NE	NO
は	ひ	ふ	へ	ほ
HA	HI	HU(FU)	HE	HO
ま	み	む	め	も
MA	MI	MU	ME	MO
や		ゆ		よ
YA		YU		YO
ら	り	る	れ	ろ
RA	RI	RU	RE	RO
わ		を		ん
WA		WO		NN(XN)

❏ 濁音、拗音

が	ぎ	ぐ	げ	ご
GA	GI	GU	GE	GO
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
ZA	ZI(JI)	ZU	ZE	ZO
だ	ぢ	づ	で	ど
DA	DI	DU	DE	DO
ば	び	ぶ	べ	ぼ
BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
PA	PI	PU	PE	PO

❏ 小さい文字

ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
LA(XA)	LI(XI)	LU(XU)	LE(XE)	LO(XO)
		っ		
		LTU(XTU)		
ゃ		ゅ		ょ
LYA(XYA)		LYU(XYU)		LYO(LYO)

ホームページの見かた

ボタンの説明

1 **進む／戻るボタン**

	前のページに戻ります。
	次のページに進みます。

2 **アドレスバー**

見たいWebサイトのアドレス(URL)を入力します。
アドレスを入力してWebサイトを見るには、以下の手順で行います。
❶ アドレスバーに見たいWebサイトのアドレスを入力する。
❷ Enterキーを押す。

3 **お気に入り**

	「お気に入り」に登録しているWebページの一覧を表示します。
	表示しているWebページを「お気に入り」に登録します。

4 **ページタブ**

タブを切り替えることで、1つのウィンドウで異なるWebサイトを表示できます。

5 **操作ボタン**

(ホーム)	ホームページに指定したWebサイトを表示します。
(フィード)	登録したRSSサイトからの情報を更新します。
(印刷)	表示しているWebページを印刷します。
ページ(P)	メニューを表示します。新規ウィンドウを表示したり、文字サイズを変更したりすることができます。
ツール(O)	メニューを表示します。Windows Updateを行ったり、インターネットオプションを設定したりすることができます。

ウィンドウ操作のしかた

ウィンドウサイズを変えるには

ウィンドウの枠にポインタをあわせ、ポインタの形が変わったらドラッグします。

縦のサイズを変える

横のサイズを変える

縦横のサイズを同時に変える

ヒント

ドラッグとは、左ボタンを押したままポインタを動かすことです。

ボタンでウィンドウを操作するには

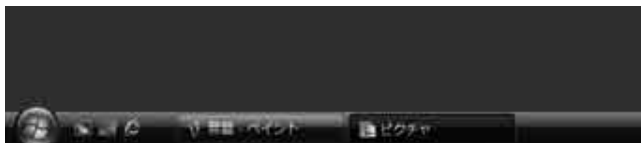
ウィンドウ右上のボタンをクリックします。

[最小化ボタン]	最小化します。(タスクバーにのみ表示します。)
[最大化ボタン]	最大化します。(デスクトップ画面全体に表示します。)
[閉じるボタン]	ウィンドウを閉じます。

ヒント

ウィンドウを閉じるときにメッセージが表示された場合は、内容を確認してからいずれかのボタンをクリックしてください。

タスクバーでウィンドウを操作するには

デスクトップ画面下側にあるタスクバーには、現在起動しているソフトウェアやウィンドウなどの名前が表示されます。

ソフトウェア名やウィンドウ名などをクリックすると、選択したソフトウェアやウィンドウが最前面に表示されます。

データのバックアップのしかた

保存したデータをそのままにしておくと、バイオのハードディスクの容量を使い切ってしまったり、なんらかのトラブルやコンピュータウイルスの感染などでデータが壊れてしまう可能性があります。
このようなことを防ぐためにも、CDやDVDなどにデータのバックアップをすることをおすすめします。

例えばこんなデータ
- 大切なデータや作成したデータ（友人とのメール、アドレス帳、家計簿など）
  →万一のトラブルに備えておきます。
- デジタルスチルカメラで撮影した写真
  →アルバム代わりとしたり、友人に送ったりするのに便利です。
- ハードディスクに撮りためたテレビ番組など
  →バックアップしたデータを削除することでハードディスク容量を確保できます。

ヒント
バックアップとは、バイオ内に保存してあるデータを別の記録メディア（CDやDVD、"メモリースティック"など）に同じ内容のデータを保存することです。

CDやDVDにバックアップするには

- お手持ちのバイオには「Roxio Easy Media Creator」ソフトウェアなどのディスク作成のためのソフトウェアが付属されています。
  ディスク作成方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[ソフトウェアの使いかた]－[Roxio Easy Media Creator]－[ディスクにデータを保存する]をクリックする。）
- バックアップについては、VAIOカスタマーリンク ホームページ内「バックアップ講座」（http://vcl.vaio.sony.co.jp/howto/backup/）でも紹介しています。

"メモリースティック"にバックアップするには

"メモリースティック"へのデータ保存方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[周辺機器のつなぎかた]－["メモリースティック"]－["メモリースティック"にデータを保存する]をクリックする。）

Windowsの機能を使ってバックアップするには

「バックアップについて」（69ページ）をご覧ください。
バックアップの必要性やバックアップしたデータの復元方法なども紹介しています。

ヒント
リカバリ（ハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すこと）を行う前には、データのバックアップを行ってください。
リカバリ前のバックアップについては、「バックアップについて」（69ページ）をご覧ください。

！ご注意
バックアップや保存するデータには、著作権保護などの注意が必要なものがあります。
「著作権について」（9ページ）や「使用できるディスクとご注意」（158ページ）をご確認ください。

ディスクの種類と使い分け

店頭で売られているディスクには、さまざまな種類があります。目的にあったディスクを使用するようにしてください。

!ご注意
お使いの機種により、使用できるCD ／ DVDが異なる場合があります。

CDについて

CDには、「CD-R」と「CD-RW」があります。どちらも見た目には違いがありませんが、以下のような違いがあります。

■ CD-R

保存したデータの変更や削除はできません。

例えば...大事なデータを保存する場合に使用します。
- デジタルスチルカメラで撮影した写真
- 仕事で使用するデータ　など

ヒント
容量が残っている場合は追加保存することもできます。

■ CD-RW

保存したデータの変更／削除が可能です。

例えば...何度もデータを変更する場合に使用します。
- 定期的にバックアップするデータ　など

DVDについて

DVDには、さまざまな種類があります。

ヒント
お手持ちのバイオのドライブが、どのDVDに対応しているのかをチェックしておく必要があります。

■ DVD-RとDVD+R

保存したデータの変更や削除はできません。

例えば...大事なデータを保存する場合に使用します。
- デジタルスチルカメラで撮影した写真
- 仕事で使用するデータ　など

他のDVDに比べて、再生できる機器が多く、低価格という特徴があります。

ヒント
- 容量が残っている場合は追加保存することもできます。
- 記録層を2つ持っている「DVD-R DL」や「DVD+R DL」は、一般的なDVDのおよそ2倍のデータを保存することができます。ただし、新しいフォーマットのため再生できない機器もあります。

■ DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM

保存したデータの変更／削除が可能です。

例えば...何度もデータを変更する場合に使用します。
- 定期的にバックアップするデータ　など

ヒント
- DVD-RW ／ DVD+RWは、再生できない機器があります。
- DVD-RAMは、対応した機器でのみ再生や保存ができます。

「＋」と「－」の違いについて

「DVD+」も「DVD-」も基本的な仕組みはほぼ同じです。この2つの異なる点は、「DVD-」ではDVDプレーヤーなどで再生可能にするために、ファイナライズという処理を行わなくてはいけないという点です。

索引

商標について

- VAIOはソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate Memory Stick”（“マジックゲート メモリースティック”）および“Memory Stick”（“メモリースティック”）、“Memory Stick Duo”（“メモリースティック デュオ”）、MEMORY STICK、、、MEMORY STICK PRO、MEMORY STICK DUO、MEMORY STICK PRO DUO、“MagicGate”（“マジックゲート”）、MAGICGATE、OpenMG、OpenMGはソニー株式会社の商標です。
- i.LINKは、IEEE 1394-1995とIEEE 1394a-2000を示す呼称です。
  i.LINKとi.LINKロゴ“”はソニー株式会社の商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- eLIOは、株式会社ソニーファイナンスインターナショナルが開発したネット決済用のクレジットサービスで、同社の登録商標です。
- 「Edy（エディ）」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- Suicaは、JR東日本の登録商標です。
- ICOCAは、JR西日本の登録商標です。
- 「PiTaPa」は株式会社スルッとKANSAIの登録商標です。
- 「iモード」「おサイフケータイ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「かざしてポン！」および「かざポン」はフェリカネットワークスの商標です。
- Intel、Pentium、Celeron、Intel SpeedStepはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Windows Media、Officeロゴ、PowerPoint、Outlook、Excel、InfoPath、WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- SDロゴは商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- MultiMediaCard（TM）はMultiMediaCard Associationの商標です。
- ExpressCard（TM）ワードマークとロゴは、Personal Computer Memory Card International Association（PCMCIA）の所有であり、ソニーへライセンスされています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- 「EZweb」は、KDDI株式会社の登録商標または商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Premiere、Adobe Photoshop Elements、Photoshop、Adobe Reader、およびAdobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- "Direct Stream Digital", DSD and their logos are trademarks of Sony Corporation.
- "SBM/Super Bit Mapping" is a trademark of Sony Corporation.
- Equaliser for VAIO, Multichannel Inflator for VAIO, Multichannel 5 Band EQ + Filters for VAIO and Restorer for VAIO from Sony Oxford. Copyright (C) 2003-2005 Sony Business Europe.
- L1 Ultramaximizer, S1 Stereo Imager, Renaissance Bass, S360 Surround Imager plug-ins by Waves Audio Ltd.
- QStream Technology, QSound QSurround 5.1 Plug-In for VAIO, QSound QSurround Virtualizer Plug-In for VAIO and QSound QMSS Plug-In for VAIO by QSound Labs, Inc.
  Copyright (C) QSound Labs, Inc. 1998-2005. All rights reserved.
  QSound, QSurround, QMSS, QMAX II, iQms2, QDVD and the QLogo are trademarks of QSound Labs, Inc.
- ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- VST is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- AI囲碁、AI将棋、AI麻雀は、株式会社アイフォーの登録商標です。
- 「脳力トレーナー」はセガトイズの登録商標です。
- Powered by CyberSupport.
  「ConceptBase」「ConceptBase Search」「CBSearch」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
  Portion Copyright 2000 株式会社ジャストシステム
  Portion Copyright 1981-1988 Microsoft Corporation
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

ソニーが提供する情報一覧

インターネット

インターネットに接続すれば、バイオを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

困ったときは

VAIOカスタマーリンク
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

困ったときにご覧ください。
状況に合った解決方法を提供しています。

VAIOユーザーのポータルサイト

My VAIO
http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

ウェブ検索やニュースなどのポータル機能と
バイオの各種サービスをご覧いただけます。

バイオの製品情報が満載

VAIOホームページ
http://www.vaio.sony.co.jp/

バイオのカタログ情報をはじめとした、
総合情報サイトです。

※画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

電話でのお問い合わせ

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク
（0466）30-3000

受付時間
平日：10時～ 21時
土、日、祝日：10時～ 17時

初心者ダイヤル
（0466）30-4323※2008年9月末日まで有効

初心者の方でもご理解いただきやすいよう、専任のオペレータがわかりやすい言葉で親身になって対応する窓口です（カスタマー登録でご登録いただいている電話番号の発信者番号通知を有効に設定された状態でダイヤルしていただくと、直接オペレータにつながります）。

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

カスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク
ゼロヨンロクロク サンハチ イチヨンイチゼロ
（0466）38-1410

受付時間
平日：10時～ 18時（年末年始は除く）

有料サービス

My VAIO（http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/）では、VAIOユーザーのみなさまにさまざまな有料サービスをご提供しています。

■ VAIO延長保証サービス

1年間のメーカー保証を3年間に延長する「ベーシック」。さらに「ワイド」なら、落下や水濡れ等のお客様の過失による損害や、火災・水災等の事故にも対応します。

■ VAIO設置設定サービス

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、VAIOの設置・設定サポート（初期設定／インターネット設置／無線LAN設定／データ移行など）を行うサービスです。

■ VAIO Overseas Service（海外修理サポートサービス）

海外で安心してお使いいただくための修理サポートサービスです。海外の対象地域で故障した場合、1年間無料で現地修理を行います。また、その際お電話でのサポートも行います。

■ VAIOインターネットセキュリティ

インターネットライフをより安心・快適に。あなたのVAIOをウイルス対策やファイアウォール機能などで守ります。

■ VAIOソフトウェアセレクション

おすすめのアプリケーションから楽しいゲームまで、ここだけでしか手にはいらない限定品が手に入るソフトウェアダウンロードショップ。

※詳細は、My VAIOメニューの各種サービスからご確認いただけます。

VAIOカスタマーリンク

使いかたのお問い合わせ　電話番号（0466）30-3000

※詳しくは、前ページをご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページ
VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://www.vaio.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

3-210-851-**01** (1)